

Osaka University Intensive Japanese Language and Culture Program for Exchange Students

Maple Program

大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム

メイプル・プログラム

Fall Semester

2014-2015

平成26年度秋学期



Center for Japanese Language and Culture
Osaka University

大阪大学日本語日本文化教育センター

MAPLE PROGRAM



Fall Semester

2014-2015

目次

がくねんれき 学年暦	iii
へいせい ねんど あきがつき がくねんれき 平成26年度秋学期学年暦	iii
そうごうあんない 総合案内	1
じゅ ぎょう 授業	1
しけん せいせき 試験・成績	3
しゅうりょうにんてい 修了認定	5
じゅぎょうかもく りしゅう 授業科目の履修	7
じむしつ じむとりあつかい CJLC 事務室の事務取扱	9
としよしつ CJLC 図書室・コンピュータラウンジ	11
にほんごのうりよくしゅうめいしょ ほうこう 日本語能力証明書の発行について	13
しゅうこうつうきかんうんきゅうおよ ぼうふうけいほうはつれいじ ばあい じゅぎょう とりあつか 主要交通機関運休及び暴風警報発令時の場合の授業の取扱いについて	19
あんない メイプルプログラム案内	22
1. カリキュラム	23
りしゅうしどう 2. 履修指導	25
にほんご はんてい 3. プレースメント (日本語レベルの判定)	25
4. コース	27
ちゅうきゅう 4. 1 中級コース [MM]	27
じょうきゅう 4. 2 上級コース [MA]	29
じゅぎょうあんない 授業案内	32
じかんわり 時間割	143
かもく 科目コード	149
りやくごう 略号	150
みのお 箕面キャンパスマップ	151
にほんごにほんぶんがきょういく どう 日本語日本文化教育センター棟	154
りしゅうとどけ ぶ ていしゅうつよう ほんにんひかえ 履修届 (2部) 提出用、本人控	巻末

へいせい ねん ど あきがっ き がくねんれき
平成26年度秋学期学年暦

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
⑳	㉑	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	㉓	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	⑪	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	㉒
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

しゅくじつ
祝日

オリエンテーション	9月25日	—	9月30日
プレースメントテスト (日本語既習者 対象)	9月22日	—	9月24日
秋学期開始	10月1日		
授業開始	10月1日		
履修登録期間	10月1日	—	10月21日
履修登録締切日	10月21日		
履修登録確認期間	10月24日	—	10月30日
補講期間	12月16日	—	12月18日
冬季休業	12月23日	—	1月4日
授業再開	1月5日		
補講期間	1月29日	—	1月30日
必修 / 選択科目試験期間	1月28日、2月3日	—	2月16日
秋学期終了	3月31日		

がくねんれき へんこう
学年暦は変更されることがあります。

総 合 案 内

1. 授業

(1) 学期

1年を春学期(4月1日から9月30日まで)と秋学期(10月1日から翌年3月31日)に分けます。
 授業は春学期に15週、秋学期に15週、年間30週にわたって開講しています。

(2) 授業時間

授業は1時限当たり90分で行い、月曜日から金曜日まで、1日5時限開講しています。

時 限	授 業 時 間
1 時限	午前 8:50 — 10:20
2 時限	午前 10:30 — 12:00
3 時限	午後 1:00 — 2:30
4 時限	午後 2:40 — 4:10
5 時限	午後 4:20 — 5:50

(3) 学修時間

授業の方法に応じて学修時間を次のように定めています。

種 別	講義 ・ 演習	種 別	実 習
学修時間	授業15時間 自習30時間	学修時間	授業30時間 自習15時間

(4) 休講

休講はCJLC事務室前の掲示板によって通知しますので、授業前に必ず確認してください。

休講の掲示がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当講師が出講しない場合は、

CJLC事務室に連絡して、その指示を受けてください。

交通機関の運休や暴風警報の発令によって授業が休講になる場合があります。「主要交通機関

運休及び暴風警報・特別警報発令時の場合の授業の取り扱いについて」(17ページ参照)に従って、休講になるかどうかを判断してください。

(5) 補講

授業の進度または休講を補う授業として補講が行われる場合があります。直接担当講師が指示するほか、掲示によっても通知します。

(6) 出席

本センターの短期集中日本語プログラムでは、20%以上授業を欠席すると、プログラム修了が認められなくなりますので注意してください。やむをえない理由での欠席の場合、欠席前、または欠席後1週間以内に、「欠席届」をCJLC事務室まで届け出なければなりません。その際、欠席理由を証明する書類を添付しなければなりません。「欠席届」の用紙はCJLC事務室にあります。

2. 試験・成績

(1) 試験

試験は、筆記試験、口頭試験、レポート、論文、実技等の方法によって行われます。出席回数、定期試験外に行われる試験の成績などが加味されることもあります。また、平常の成績をもって試験の成績に代える場合もあります。各授業がどのような評価方法を用いるかは、後掲「授業案内」を参照してください。

● 試験に関する注意事項

- ① 試験に関する通知は掲示により行います。ただし、定期試験以外の試験については、授業担当講師から口頭で通知されます。なお、発表後も変更になる場合がありますので、掲示に注意してください。
- ② 定期試験を実施する授業科目名は、原則として試験期間の2週間前に通知します。試験の日程や内容に関する通知は、試験期間の1週間前に行います。
- ③ 試験開始時間から30分以上遅れて来た場合は、試験を受けられませんので、遅れないように注意してください。試験開始後45分以降は、試験会場から退室することができます。
- ④ 試験中にカンニングなどの不正行為が発覚した場合は、即時受験を停止し、当該科目の無効を命じられます。不正行為を行った場合、学則により懲戒処分を受けます。
- ⑤ やむをえない理由で試験が受けられない場合は、「欠席届」によりCJLC事務室に届け出てください。「欠席届」の用紙はCJLC事務室にあります。
- ⑥ 履修登録をしていない科目を受験しても無効です。

(2) 成績の評価

履修した授業科目の成績は、次表のとおり「S・A・B・C・F」のランクで評価されます。

判定	合格				不合格
評価	S	A	B	C	F
成績 (100点満点)	100 - 90点	89 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	59 - 0点

(3) 成績の通知

履修した授業科目の成績は、当該学期の修了式以降に「成績通知表」として各自に配布します。

3. 修了認定

(1) 修了要件

プログラムにおいて所定の授業科目を修得することが必要です。具体的な授業科目名、科目数、必修・選択科目などの内訳は、後掲のプログラム案内を参照してください。

修了の可否は、8月に掲示によって発表します。

(2) 修了証書

プログラムの所定の修了要件を、定められた履修方法によって修めた者には、「修了証書」が授与されます。

4. 授業科目の履修

(1) プレースメント — 日本語レベルの判定

本センターで開講されている授業科目を履修するためには、日本語レベルの判定を受けなければなりません。日本語レベルの判定は、プレースメントアンケートとプレースメントテストによって行われます。プレースメントテストの日程や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

① プレースメントアンケート

大学での専攻や外国語(日本語を含む)学習歴などを尋ねるアンケートです。全員必ずアンケートに回答し、CJLC 事務室に提出してください。

② プレースメントテスト(文法、漢字、作文、面接)

日本語を勉強したことがある人は、必ず学期毎にプレースメントテストを受験してください。

(2) 履修説明会(プログラム別履修オリエンテーション)

学期開始時に授業科目の履修方法に関する説明会を行います。指定クラスの必修科目の教材なども配布されますので、全員必ず出席してください。プログラム別履修オリエンテーションの日時や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

(3) 履修登録

学期毎に履修登録を行います。履修登録は「履修届」によって行ってください。「履修届」はこの冊子の末尾にあります。

履修登録をしていない科目は、授業に出席していても修得したとは認められず、成績を受け取ることはできません。履修登録ミスがあっても、履修登録期間以降の訂正は認められませんので、くれぐれも登録ミスがないよう細心の注意を払って手続きをしてください。

履修登録期間は、授業開始から約2週間です。提出期限を過ぎての「履修届」提出は認められませんので、必ず履修登録期間中に CJLC 事務室窓口で登録を完了するようにしてください。(郵送、電送での提出は受け付けません。)

● 履修登録に関する注意事項

- ① 指定された授業科目以外の科目を履修登録することはできません。
- ② 指定されたクラスの授業以外に登録できない授業科目があります。上記(2)のプログラム別履修オリエンテーションでの「履修上の注意」に留意し、その指示に従って履修してください。
- ③ 履修登録締切後、「履修登録確認表」を CJLC 事務室で受け取り、誤りがないかどうかチェックし、誤りの有無にかかわらず、署名のうえ必ず CJLC 事務室に提出してください。

5. CJLC事務室の事務取扱

(1) 事務取扱時間

CJLC事務室の事務取扱は次のとおりです。

場所	日本語日本文化教育センター棟1階	
窓口事務取扱時間	午前	10:00 - 11:15
	午後	0:15 - 4:30

(注) 臨時の休業や窓口取扱時間を変更する場合は、掲示で通知します。

(2) 教務関係事項の通知方法

授業や試験に関する連絡など教務関係の通知は、すべて掲示で行います。CJLC事務室前の掲示版を、授業前に必ず確認してください。

(3) 電話による照会

休講、行事予定、その他授業や試験に関する連絡は、すべて掲示によって行っています。電話等で照会しても一切受け付けません。講師の住所や電話番号の問い合わせにも応じません。

(4) 証明書

教務関係の証明書類は、CJLC事務室窓口で「証明書交付願」により申請してください。原則として、申請日から7日後に受け取ることができます。ただし、年度末(3月)など混み合う時期は、10日程度の余裕を見ておいてください。

CJLC事務室窓口で発行される教務関係の証明書は以下のとおりです。

- ① 成績証明書
- ② 修了証明書
- ③ 日本語能力証明書

6. CJLC^{としよしつ}図書室・コンピュータラウンジ

センター棟2階には、^{とう かい}図書室と^{としよしつ}コンピュータラウンジがあります。

^{としよしつ}図書室には^{いっばん としよ}一般図書のほか、^{にほんご がくしゅう}日本語学習の^{かくしゅ}各種テキストや^{もんだいしゅう}問題集などを^{はいか}配架しており、CDやカセットテープなどの^{ふぞくきょうざい}付属教材を^き聴きながら^{がくしゅう}学習できる^{じしゅう}自習コーナーもあります。

^{にほんぶんがくしりょう}日本文学資料として、^{げいのう}芸能、^{えいが}映画、^{しりょう}ドラマやアニメなどのAV資料や、それを^{しちょう}視聴するための^{せつび}設備も^{そな}備えています。^{つか}使いたい資料はCJLCのホームページの「^{しりょう}日本文学資料データベース」で^{けんさく}検索して下さい。コンピュータラウンジでは、コンピュータと^{りょう}プリンターが利用できます。オリエンテーション時に^じ配布される^{はいふ}利用者カードをお持ちください。

^{かいしつじかん}開室時間 ^{げつようび}月曜日～^{きんようび}金曜日 10:00 - 18:30 (^{しゅくじつ}祝日を除く)

^{ちゅう}(注) ^{ほかひつよう}その他必要に応じ、^{おう}臨時に^{りんじ}閉室することがあります。

日本語能力証明書の発行について

次の要件を満たした場合には、＜会話＞＜読解＞＜文法・作文＞の項目について、日本語能力を証明します。この3項目に基づいて＜総合評価＞を判定します。

＜会話＞

会話 Level 4

専門的なことについても研究発表や議論ができる。

要件：選択科目の「上級聴解」「上級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 3

一般的なことについて議論ができる。講義を聞いて理解できる。

要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中級聴解」「中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 2

日常生活に不自由しない程度の会話ができる。自分の研究について簡単な質疑応答ができる。

要件：必修科目の「初中級文法」を合格しており、かつ、選択科目の「初中級聴解」「初中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

会話 Level 1

ごく簡単な日常会話ができる。自分の研究について簡単な説明ができる。

要件：必修科目の「初級文法」及び「初級聴解」を合格しており、かつ、選択科目の「初級聴解」「初級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

＜読解＞

読解 Level 4

高度な学術論文が理解できる。約2,000字の漢字、約8,000語の語彙を習得している。

要件：プレースメントテストで「文法」問題A・Bがともに70点以上、かつ、「漢字」問題B・Cがともに60点以上の成績の場合、または、選択科目の「上級文法」「漢字研究」「上級読解」「上級漢字」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい
読解 Level 3

せんもんようご ぶく こうど ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
専門用語を含むやや高度な文章が理解できる。約1,000字の漢字、約5,000語の語彙を習得し
ている。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの ごうかく せんたくかもく ちゅう
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中
きゅうぶんぼう ちゅうきゅうかんじ ちゅうきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく
級文法」「中級漢字」「中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい
読解 Level 2

せんもんようご ぶく いっぱんてき ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
専門用語を含まない一般的な文章が理解できる。約500字の漢字、約3,000語の語彙を習得し
ている。

ようけん ひっしゅうかも しょちゅうきゅうぶんぼう およ しょちゅうきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくか
要件：必修科目の「初中級文法」及び「初中級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科
もく しょちゅうきゅうぶんぼう しょちゅうきゅうかんじ しょちゅうきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく
目の「初中級文法」「初中級漢字」「初中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格
していること。

どっかい
読解 Level 1

やさい ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく
ごく易しい文章が理解できる。約300字の漢字、約1,800語の語彙を習得している。

ようけん ひっしゅうかも しょきゅうぶんぼう およ しょきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくかもく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科目の
しょきゅうぶんぼう しょきゅうかんじ しょきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく
「初級文法」「初級漢字」「初級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格しているこ
と。

ぶんぼう さくぶん
<文法・作文>

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 4

せんれん にほんご けんきゅうろんぶん さくせい
洗練された日本語で研究論文を作成することができる。

ようけん ぶんぼう もんだい てんいじょう かんじ もんだい
要件：プレースメントテストで、「文法」問題A・Bがともに70点以上、かつ、「漢字」問題
B・Cがともに60点以上の成績の場合。または、選択科目の「上級作文」「上級文法」の少
なくとも1科目（「上級作文」の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 3

きほんてき ぶんけい じゆう つか せいかく にほんご さくせい
基本的な文型（約250）を自由に使ってほぼ正確な日本語でレポートを作成することができ
る。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの てんいじょう ごうかく せんたく
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを70点以上で合格しており、かつ、選択
かもく ちゅうきゅうさくぶん ちゅうきゅうぶんぼう すく かもく ちゅうきゅうさくぶん ほう のぞ てん
科目の「中級作文」「中級文法」の少なくとも1科目（「中級作文」の方が望ましい）を70点
いじょう ごうかく
以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 2

きほんてき ぶんけい やく つか かんたん さくせい
基本的な文型 (約200) を使って簡単なレポートを作成することができる。

ようけん ひっしゅうかも しよちゅうきゅうぶんぼう およ しよちゅうきゅうどっかい かんじ てんいじょう ごうかく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格して
おり、かつ、せんたくかもく しよちゅうきゅうさくぶん しよちゅうきゅうぶんぼう すく かもく しよちゅうきゅうさくぶん
選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」
ほう のぞ
の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん
文法・作文 Level 1

しよきゅう きほんてき ぶんけい やく つか みじか ぶん つく
初級レベルの基本的な文型 (約150) を使って短い文を作ることができる。

ようけん ひっしゅうかも しよきゅうぶんぼう およ しよきゅうどっかい かんじ てんいじょう ごうかく
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格して
おり、かつ、せんたくかもく しよきゅうさくぶん しよきゅうぶんぼう すく かもく しよきゅうさくぶん ほう のぞ
選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」の方が望
ましい）を70点以上で合格していること。

様 式



しゅようこうつうきかんうんきゅうおよ ぼうふうけいほう とくべつけいほうはつれいじ ばあい
主要交通機関運休及び暴風警報・特別警報発令時の場合の

じゅぎょう とりあつか
授業の取扱いについて

へいせい ねん がつ かきょうじゅがいてつてい
 平成25年11月14日教授会決定

こうつうきかんうんきゅう ばあい とりあつか
1. 交通機関運休の場合の取扱い

さいがいなど はんきゅうでんでつ うめだ きたせんりかん ちかてつ きたおおさかきゅうこうでんでつ うめだ
 ストライキ、災害等により、阪急電鉄（梅田－北千里間）、地下鉄・北大阪急行電鉄（梅田－
 せんりちゅうおうかん はんきゅう せんりちゅうおう またにじゅうたく はんだいがいこく ごかくぶまえ うんきゅう
 千里中央間）、阪急バス（千里中央－間谷住宅・阪大外国語学部前）のいずれかが運休となっ
 た場合は、全日授業休講とする。ただし、運休が解除された場合は、次のとおり取扱う。

うんきゅうかいじよじこく 運休解除時刻	じゅぎょうとりあつか 授業の取扱い
ごぜん じいぜん かいじよ ばあい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じいぜん かいじよ ばあい 午前9時以前に解除された場合	だい じげん だい じげんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ぼうふうけいほう とくべつけいほうはつれいじ とりあつか
2. 暴風警報・特別警報発令時の取扱い

おおさか ふ とよなかし すいたし みのおし また し ふく ちいき ぼうふうけいほう また
 大阪府豊中市・吹田市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報」又は
 「特別警報」が発令された場合は、全日授業休講とする。ただし、警報が解除された場合は、
 次のとおり取扱う。

けいほうかいじよじこく 警報解除時刻	じゅぎょうとりあつか 授業の取扱い
ごぜん じいぜん かいじよ ばあい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ごぜん じいぜん かいじよ ばあい 午前9時以前に解除された場合	だい じげん だい じげんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ちゅうい かいじよ かくにん など ほうどう
 (注意) 解除の確認は、ラジオ、テレビ・インターネット等の報道によるものとする。

ほそく じゅぎょうじかんたいちゅう ぼうふうけいほうまた とくべつけいほう はつれい ばあい どうがいじゅぎょうしゅうりよういご きゅうこう
 (補足) 授業時間中に暴風警報又は特別警報が発令された場合は、当該授業終了以後は休講と
 する。

ふ き
附記

とりあつか へいせい ねん がついつち じっし
 この取扱いは、平成25年12月1日から実施する。

メイプル・プログラム案内

Maple Program Guide

メイプル・プログラム案内

メイプル・プログラム（大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム）は、文部科学省および日本学生支援機構（JASSO）が推進する、大阪大学短期留学特別プログラムの一つで、日本語日本文化教育センターが教育デザインした日本語日本文化特別プログラムです。このプログラムは、学生がそれぞれの自分の目標に合わせて、日本語能力を高めること、日本の文化や社会についての知識を得ること、自国の言語・文化・社会と比較対照させながら、日本をいろんな角度から理解できる人材を養成することを目標としています。

1. カリキュラム

メイプル・プログラムは1年間のプログラムで、秋学期（9月から3月まで）と春学期（4月から8月まで）があります。

修了するためには1年間で30単位以上取得しなければなりません。

日本語日本文化専門演習、日本研究科目、自主研究科目、日本語実習科目の4つのカテゴリーがあります。

a) 日本語日本文化専門演習科目では総合的に日本語・日本文化を学ぶことができます。この授業では文化の新旧を問わずさまざまなテーマについて議論したり、映像を取り入れたりしたさまざまな教室活動や調査活動、日本の衣食住に関わる近隣の施設への実地見学（社会・文化体験学習）、日本人のチューター（学部生および大学院生）との異文化理解活動を通して、総合的に日本の言語・文化・社会を自国のそれと比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養うことを目指しています。この授業は必修です。

b) 日本研究科目には、英語で教授される講義科目の他に日本語で教授される講義科目が開講されます。英語で教授される講義では、日本人の学部生も参加しますので、比較対照的な環境で、講師が学生各自の文化基盤に留意しながら、日本に関する断片的な知識が統合できるように、日本の言語、歴史、社会、政治に関して比較対照的な視座から授業が行われます。日本語で教授される講義では、日本の言語、歴史、社会、政治の諸現象について議論ができ、さらに自立的に情報収集できる能力の涵養を目指しています。この科目は選択科目です。

c) 自主研究科目は在籍大学で研究課題に従事していた学生のための科目です。専門の担当教員の指導のもとで、日本で一次資料を蒐集したり、それを講読したりして、調査研究を継続できます。一年後にはその成果を研究レポートにまとめていきます。

d) 日本語実習科目は、参加学生の日本語技能の習熟度にあわせて幅広く選択履修できるよう多くの授業が開講されています。日本語能力試験N4レベル合格（およびそれに準じる）以上の学生が短期間に技能別能力別に学べるよう授業が構成されています。中級コースと上級コースが開設されています。中級コースでは一週間に日本語の表現を学習する必修日本語の授業を1授業90分の6つの授業で学びます。

種別	授業科目	単位数	修了要件
必修	日本語日本文化専門演習	MDR	つうねん たんに 30単位 いじょう 以上
選択	日本研究科目	MR/R	
	自主研究科目	MIS	
必修/選択	日本語実習科目	各1単位	

2. 履修指導

このプログラムの全ての学生に対して、日本語日本文化教育センターの指導教員が、履修指導などの学習指導を行います。

3. プレースメント（日本語レベルの判定）

日本語科目の授業は、中級・上級の2つのレベルに分かれています。全ての学生は、日本語能力に応じたレベル分けを行うため、各学期の初めにプレースメントテストを受けなければなりません。

4. コース

メイプル・プログラムは中級コースと上級コースを開講します。

4.1 中級コース[MM]

開講科目は次のとおりです。

種別		授業科目		単位数	
必修	演習	日本語日本文化専門演習	MDR	各2単位	
選択	講義/演習	日本研究科目	MR/R		
	演習	自主研究科目	MIS		
必修 ^{*A}	実習	現代日本語3A: 中級文法 a	MSPa	4単位	6単位
		現代日本語3A: 中級文法 b	MSPb	2単位	
選択 ^{*B}	実習	日本語実習3A: 中級文法	SP	各1単位	
		日本語実習3B: 中級漢字	K		
		日本語実習3C: 中級読解	RDG		
		日本語実習3D: 中級作文	COMP		
		日本語実習3E: 中級聴解	LIS		
		日本語実習3F: 中級会話	CONV		
		日本語実習3G: 中級CAI	CAI		

* A 必修科目は、指導教員の許可があれば、選択科目に代えることができます。

* B 選択科目は、プレースメント試験（科目別試験）結果に基づき、中級レベル科目以外に、上級レベル選択科目から履修することができます。詳しくは指導教員から履修指導を受けてください。

授業内容については「授業案内」を見てください。

4.2 上級コース[MA]

開講科目は次のとおりです。

種別		授業科目		単位数
必修	演習	日本語日本文化専門演習	MDR	各2単位
選択	講義/演習	日本研究科目	MR/R	
	演習	自主研究科目	MIS	
選択 *A	実習	日本語実習 4 A: 上級文法	SP	各1単位
		日本語実習 4 B: 上級漢字	K	
		日本語実習 4 C: 上級読解	RDG	
		日本語実習 4 D: 上級作文	COMP	
		日本語実習 4 E: 上級聴解	LIS	
		日本語実習 4 F: 上級会話	CONV	
		日本語実習 4 G: 上級CAI	CAI	

* A 選択科目は、プレースメント試験（科目別試験）結果に基づき、上級レベル科目以外に、中級レベル選択科目から履修することができます。詳しくは指導教員から履修指導を受けてください。

授業内容については「授業案内」を見てください。

じゅぎょうあんない
授業案内

Course Descriptions

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
日本語日本文化専門演習 (MDR)										
MDR 309.82	Tue. 3	MDR	MM1	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		KOMORI	小森万里	36
MDR 309.84	Tue. 3	MDR	MM2	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		IWAI. S	岩井茂樹	37
MDR 409.82	Tue. 3	MDR	MA1	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		SHIMAMOTO	嶋本隆光	38
MDR 409.84	Tue. 3	MDR	MA2	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		NAKATA	中田一志	39
MDR 409.86	Tue. 3	MDR	MA3	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		MIZUTA	水田明男	40
MDR 409.88	Tue. 3	MDR	MA4	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		YAMAKAWA	山川太	41
日本研究科目 (MR/R)										
CUL 352.06	Mon. 5	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究 I	日本文化研究	FUKUMITSU	福光敬子	42
CUL 352.12	Fri. 1	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究 XI	日本文化研究	TAMAS	タマシ・カルメン	43
CUL 356.02	Mon. 3	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本宗教研究 I	日本宗教研究	TONGU	頓宮勝	44
LIN 331.02	Wed. 1	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本語学研究 V	日本語学研究	VAAGE	ヴォーゲ・ヨーラン	45
SOC 362.02	Fri. 3	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本政治思想研究 I	日本政治思想研究	CARMONA	カルモナ・ダニエル・ウイリアム	46
SOC 364.04	Tue. 2	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会研究 I	日本社会研究	WATANABE	渡邊親文	47
CUL 351.02	Fri. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義 IX	民俗学入門	TAMAS	タマシ・カルメン	48
CUL 352.02	Mon. 1	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義 I	日本文化入門	MOTOBAYASHI	本林靖久	49
CUL 352.04	Thu. 4	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義 VII	日本美術史入門	INOMO	井面舞	50
CUL 352.08	Tue. 2	R	J/M	Sem.	演習	日本文化研究 III	地域文化研究	SHIMAMOTO	嶋本隆光	51
CUL 352.10	Wed. 3	R	J/M	Sem.	演習	日本文化研究 V	比較文化研究	IWAI. S	岩井茂樹	52
CUL 352.14	Tue. 2	R	J/M	Sem.	演習	日本文化演習 V	日本文化と茶道	HISAOKA	久岡明穂	53
CUL 353.02	Wed. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本文化講義 V	日本史入門	SANO	佐野方郁	54
CUL 356.04	Wed. 4	R	J/M	Sem.	演習	日本文化研究 VII	宗教文化研究	KATO. H	加藤均	55
LIN 330.02	Mon. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 I	日本語学入門(方言)	MURATA	村田真実	56
LIN 330.04	Mon. 4	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 II	日本語学入門(意味論)	IMAI	今井忍	57
LIN 330.06	Wed. 3	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 IV	日本語学入門(語用論)	NAKATA	中田一志	58
LIN 330.08	Wed. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 V	日本語学入門(形態論・統語論)	SHOJI	荘司育子	59
LIN 333.02	Wed. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 III	日本語教育学概論	KADOWAKI	門脇薫	60
LIN 330.10	Thu. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 VI	日本語学入門(日本語史)	YAMANAKA	山中延之	61
LIN 331.04	Fri. 3	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 VII	日本語学概説	YAMAKAWA	山川太	62
LIN 333.04	Fri. 3	R	J/M	Lec.	講義	日本語学講義 VIII	日本語教育学入門	YAMATO	大和 祐子	63
LIT 340.02	Mon. 4	R	J/M	Lec.	講義	日本文学講義 I	日本文学入門	GONOJI	五之治昌比呂	64
LIT 340.04	Mon. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本文学講義 III	日本文学史入門	SEKIMOTO	関本真乃	65
LIT 340.06	Tue. 1	R	J/M	Lec.	講義	日本文学講義 V	日本文学入門	HISAOKA	久岡明穂	66
LIT 343.02	Fri. 4	R	J/M	Sem.	演習	日本文学演習 III	日本の伝統芸能	SHIBATA	柴田芳成	67
SOC 360.02	Wed. 2	R	J/M	Lec.	講義	日本政治経済講義 I	日本経済入門	ITO. TOSHI	伊藤敏雄	68
SOC 361.02	Wed. 4	R	J/M	Sem.	演習	日本政治経済演習 III	経営学	INOUE	井上千一	69
SOC 364.02	Mon. 5	R	J/M	Lec.	講義	日本社会講義 I	社会学入門	NUKITA	貫田優子	70
自主研究科目 (MIS)										
JPN 219.82	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	KATO. H	加藤均	71
JPN 219.84	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	NAKATA	中田一志	72
JPN 219.86	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	MIZUTA	水田明男	73

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
MM 必修科目 (MSP)										
JPN 300.02	Mon. 2	MSPA	MM1	Rec.	実習	現代日本語 3A-1A	中級文法 α	SHINOHARA	篠原みゆき	74
JPN 300.02	Fri. 2							TANAKA. M	田中真衣	
JPN 300.02	Wed. 2							HIBI	日比伊奈穂	
JPN 300.02	Thu. 2							YOSHIKANE	吉兼奈津子	
JPN 300.12	Thu. 1	MSPB	MM1	Rec.	実習	現代日本語 3A-1B	中級文法 β	HATANO	波多野吉徳	75
JPN 300.12	Tue. 1							FURUKAWA	古川由理子	
JPN 300.04	Mon. 2	MSPA	MM2	Rec.	実習	現代日本語 3A-2A	中級文法 α	HARADA	原田佳代子	76
JPN 300.04	Wed. 2							MURAKAMI	村上由記	
JPN 300.04	Thu. 2							YAMAZAWA	山澤園子	
JPN 300.04	Fri. 2							YAMATO	大和祐子	
JPN 300.14	Thu. 1	MSPB	MM2	Rec.	実習	現代日本語 3A-2B	中級文法 β	OHASHI	大橋晶子	77
JPN 300.14	Tue. 1							HAYASHI	林和子	
MM 選択日本語実習科目										
JPN 310.02	Mon. 3	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3A	中級文法	ISHIBASHI	石橋玲央	78
JPN 310.04	Thu. 4	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3A	中級文法	ATSUTA	熱田万美	79
JPN 310.06	Fri. 3	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3A	中級文法	SHUTO	首藤美香	80
JPN 310.08	Fri. 4	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3A	中級文法	KOMORI	小森万里	81
JPN 313.02	Mon. 1	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3B	中級漢字	KUBOTA	久保田ゆかり	82
JPN 313.04	Mon. 4	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3B	中級漢字	YOSHIMURA	吉村大樹	83
JPN 313.06	Wed. 3	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3B	中級漢字	KUNIKATA	國方栄二	84
JPN 313.08	Wed. 5	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3B	中級漢字	HIROKAWA	廣川直幸	85
JPN 314.02	Wed. 2	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3C	中級読解	VAAGE	ヴォーゲ・ヨーラン	86
JPN 314.04	Wed. 4	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3C	中級読解	HIROKAWA	廣川直幸	87
JPN 314.06	Thu. 3	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3C	中級読解	MASHITA	真下恭子	88
JPN 315.02	Tue. 2	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3D	中級作文	LEE	李裕旋	89
JPN 315.04	Wed. 2	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3D	中級作文	KOMINAMI	小南淳子	90
JPN 315.06	Fri. 3	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3D	中級作文	FUJIE	藤家智子	91
JPN 316.02	Tue. 2	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3E	中級聴解	SOGAWA	十川理絵	92
JPN 316.04	Wed. 3	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3E	中級聴解	NISHIMURA	西村多恵	93
JPN 316.06	Thu. 5	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3E	中級聴解	ATARASHI	新聖子	94
JPN 316.08	Fri. 1	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3E	中級聴解	TANAKA. M	田中真衣	95
JPN 317.02	Wed. 1	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3F	中級会話	HIBI	日比伊奈穂	96
JPN 317.04	Wed. 3	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3F	中級会話	FURUE	古江尚美	97
JPN 317.06	Thu. 2	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習 3F	中級会話	KAN	菅ひろみ	98

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
MA 選択日本語実習科目										
JPN 410.02	Mon. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	HARADA	原田佳代子	99
JPN 410.04	Wed. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	TANAKA. K	田中恵子	100
JPN 410.06	Wed. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	SYOJI	荘司育子	101
JPN 410.08	Wed. 5	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	INAGAKI	稲垣 和也	102
JPN 410.10	Thu. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	KAN	菅ひろみ	103
JPN 410.12	Thu. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	ADACHI	足立幸子	104
JPN 410.14	Thu. 3	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	MITO	三登由利子	105
JPN 410.16	Fri. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	MANDA	茨田通俊	106
JPN 410.18	Fri. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4A	上級文法	ATSUTA	熱田万美	107
JPN 413.04	Tue. 2	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	KITAGAWA	北川美香	108
JPN 413.06	Wed. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	KUNIKATA	國方栄二	109
JPN 413.08	Wed. 2	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	TANAKA. K	田中恵子	110
JPN 413.10	Wed. 4	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	NISHIMURA	西村多恵	111
JPN 413.12	Thu. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	YAMANAKA	山中延之	112
JPN 413.14	Fri. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	ITO. TOMO	伊藤智博	113
JPN 413.16	Fri. 2	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4B	漢字研究	HIGUCHI	樋口尊子	114
JPN 414.02	Mon. 2	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4C	上級読解	KUBOTA	久保田ゆかり	115
JPN 414.04	Tue. 1	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4C	上級読解	TORIYA	取屋淳子	116
JPN 414.06	Tue. 2	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4C	上級読解	INUI	乾由紀子	117
JPN 414.08	Thu. 1	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4C	上級読解	FUJIWARA	藤原敬介	118
JPN 414.10	Fri. 4	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4C	上級読解	CARMONA	カルモナダニエルウイリアム	119
JPN 415.02	Mon. 2	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	SAKATA	坂田達紀	120
JPN 415.04	Mon. 4	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	IDEGUCHI	出口雅也	121
JPN 415.06	Wed. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	KOMINAMI	小南淳子	122
JPN 415.08	Thu. 2	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	FUJIWARA	藤原敬介	123
JPN 415.10	Thu. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	YAMAMOTO	山本一也	124
JPN 415.12	Thu. 5	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	ATSUTA	熱田万美	125
JPN 415.14	Fri. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4D	上級作文	HIGUCHI	樋口尊子	126
JPN 416.02	Mon. 2	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	KAWABUCHI	川淵節子	127
JPN 416.04	Mon. 5	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	IDEGUCHI	出口雅也	128
JPN 416.06	Tue. 1	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	LEE	李裕旋	129
JPN 416.08	Wed. 1	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	TAKATSUKI	高月喜美	130
JPN 416.10	Thu. 2	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	OHASHI	大橋晶子	131
JPN 416.12	Thu. 4	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	OSAKI	大崎紀子	132
JPN 416.14	Fri. 3	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4E	上級聴解	ATSUTA	熱田万美	133
JPN 417.02	Mon. 1	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	SHINOHARA	篠原みゆき	134
JPN 417.04	Mon. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	OGURA. Y	小倉慶郎	135
JPN 417.06	Mon. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	OGURA. Y	小倉慶郎	136
JPN 417.08	Tue. 1	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	YUASA	湯浅章子	137
JPN 417.10	Tue. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	HAYASHI	林和子	138
JPN 417.12	Wed. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	MURAKAMI	村上由記	139
JPN 417.14	Thu. 1	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	YOSHIKANE	吉兼奈津子	140
JPN 417.16	Thu. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	HATANO	波多野吉徳	141
JPN 417.18	Thu. 5	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	OSAKI	大崎紀子	142
JPN 417.20	Fri. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習 4F	上級会話	ITO. TOMO	伊藤智博	143

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	小森 万里			KOMORI	
Course No.	MM1	演習	日本語日本文化専門演習	MM1	日本語日本文化専門演習
MDR 309.82	Sem.	Tue. 3	Directed Research in Japanese Language and Culture	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。			To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
Objective	さまざまな教室活動（リレー講義など）、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。			Through various class activities (including some special lectures), fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors),students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/ social/cultural aspects from various perspectives.	
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (80%)、レポート (20%) Class participation (80%), essays (20%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	岩井 茂樹	IWA.I. S			
Course No.	演習	MM2	日本語日本文化専門演習		
MDR 309.84	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容	さまざまな教室活動（リレー講義など）、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities (including some special lectures), fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/ social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容	Description				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (80%)、レポート (20%) Class participation (80%), essays (20%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	嶋本 隆光	SHIMAMOTO			
Course No.	演習	MA1	日本語日本文化専門演習	日本語日本文化専門演習	
MDR 409.82	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容	さまざまな教室活動（リレー講義など）、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities (including some special lectures), fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/ social/cultural aspects from various perspectives.		
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (80%)、レポート (20%) Class participation (80%), essays (20%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	中田 一志	NAKATA			
Course No. MDR 409.84	演習	MA2	日本語日本文化専門演習		
	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標 Objective	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容 Description	さまざまな教室活動（リレー講義など）、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities (including some special lectures), fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/ social/cultural aspects from various perspectives.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (80%)、レポート (20%) Class participation (80%), essays (20%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	水田 明男	MIZUTA			
Course No. MDR 409.86	演習 Sem.	MA3 MDR	日本語日本文化専門演習	日本語日本文化専門演習	Directed Research in Japanese Language and Culture
目標 Objective	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容 Description	さまざまな教室活動（リレー講義など）、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities (including some special lectures), fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors),students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/ social/cultural aspects from various perspectives.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (80%)、レポート (20%) Class participation (80%), essays (20%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	山川 太	YAMAKAWA			
Course No.	演習	MA4	日本語日本文化専門演習		
MDR 409.88	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな視点から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容	さまざまな教室活動（リレー講義など）、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養う。		Through various class activities (including some special lectures), fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students(tutors),students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/ social/cultural aspects from various perspectives.		
Textbook (s)	参考書		Bibliography		
評価方法	Manner of Assessment		授業参加 (80%)、レポート (20%) Class participation (80%), essays (20%)		

<p>授業題目</p>	<p>書道 SHODO-Japanese Calligraphy</p>		
<p>担当講師名</p>	<p>福光 敬子 FUKUMITSU</p>		
<p>Course No.</p>	<p>CUL 352.06</p>	<p>講義 / 演習 Lec./Sem.</p>	<p>MM/MA MR</p>
<p>目標 Objective</p>	<p>この授業の目標は、日本における書道を実習し、また書道の古典作品、現代作品を鑑賞することによって、日本の文化に多面的に接し、理解を深めることにある。</p>	<p>日本文化研究 I Research on Japanese Culture I : Topics in Japanese Culture</p>	<p>日本文化研究 Japanese calligraphy is not only deeply concerned with primary school, high school education, and our daily lives, but it is also a figurative art in itself that uses both Kanji and Kana. The aim of this class is to help students understand Japanese calligraphy and take great interest in it.</p>
<p>授業内容 Description</p>	<p>(1) 第1～3週・・・漢字の書体（篆書、隸書、楷書、行書、草書）の変遷をたどる。また、日本でのひらがな、カタカナの誕生を理解する。ひらがな、カタカナの美しく正しい形を理解する。 (2) 第4～5週・・・書道の用具の説明。小筆で仮名を実習。変体仮名の起源の解説を聞き、読み方を練習する。またそれらの使用例を臨書する。 (3) 第6～9週・・・漢字が持つ意味の深さ、それを筆で表現する意味、書体の変遷だけでなく、書風の変遷を知り、実作しながら、書表現を考える。 (4) 第10～14週・・・書の古典作品を紹介し、実作における内容を充実させる。 (5) 第15週・・・最終作品を展示し、各自が書道と作品について発表を行う。中国と日本の書道の歴史、漢字の起源、書体の変遷、仮名の成立過程、書道教育、について概説をいくつか、日本の伝統文化にどのようなかわつてきたかを考える。</p>	<p>(1)Week 1～3・・・understanding the birth of Hiragana and Katakana, following the transition of five styles of Kanji and practice of them in beautiful and proper figure with pen or pencil (2)Week 4～5・・・explanation of Shodo tools, practice of Kana with a small brush, practice how to read and write Kana and Hentaigana with the explanation of its origin. (3)Week 6～9・・・practice Kanji or Kana on Hanshi paper with a brush, and make a work on special paper (4)Week 10～14・・・practice and make a scroll work (5)Week 15・・・presentation with own work</p>	<p>Lecture about the history of Shodo in China and Japan, the origin of Kanji, the transition of the five styles of Kanji and Kana, and the education, practicing them in beautiful and proper figure. Learning how to read, remember and write cursive style or Hentaigana Appreciation of Shodo written by the students, also classic works Attendance, maximum 20</p>
<p>テキスト Textbook (s)</p>	<p>CJLC教材叢書『留学生のための書道（入門編）』を配布。 書道用具セット（硯、下敷き、文鎮、ケース、バッグ）は4週目に貸し出し、最終日に返却する。 消耗品（大筆、かな筆、すみ、半紙）は4週目に購入する。（およそ2050円）その後進路に応じて半紙、小画仙紙、色紙、仮巻などを購入する。（およそ1000円） You can get Japanese calligraphy for foreign students -basic guide- written by Fukumitsu Keiko published by CJLC. You can borrow Shodo tool set, ink stone, mat, paper weight, and return at the final class. You should buy the consumption articles, big brush, small brush for Kana, Sumi ink stick, Hanshi paper (about 2050) You will buy more Hanshi paper, special paper, scroll accordingly (about 1000)</p>	<p>参考書 Bibliography</p>	<p>「書法の美」「日本書道史」「中国書道史」「新書道字典」（いずれも二玄社）、 「書道 I」「書道 II」「書道 III」（東京書籍）、ほか古典法帖多数 Bibliography: "Shoho no Bi," "Nihon Shodoshi" "Chugoku Shodoshi" "Shin Shodo Jiten" (Nigensha) "Shodo I II III" (Tokyoshoseki) Various kinds of books of classical masterpieces</p>
<p>評価方法 Manner of Assessment</p>	<p>授業参加 50% 提出課題 50% Be based on class participation 50% Assignments + final work 50%</p>		

授業題目	Title			Introduction to Japanese Ethnology	
担当講師名	Instructor (s)		TAMAS		
Course No.	Fri. 1	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/MA MR	日本文化研究 XI	日本文化研究
CUL 352.12	Research on Japanese Culture XI : Topics in Japanese Culture				
目標 Objective	この授業では、日本の伝統的な信仰、日本の祭りとそれに関わる基本的な専門用語について知識を得る。		This course aims to introduce the students to Japanese traditional beliefs, Japanese festivals and the vocabulary and concepts specific to this field of study.		
授業内容 Description	この授業では、日本の研究者の論文を読み、日本の信仰、宗教や、代表的な祭りを理解する。秋と冬の祭り、つまり花祭り、神楽、ナマハゲなどと伝統的な信仰に関わる儀礼と儀式を中心とする。比較的にデイスカッションしながら独特な語彙都概念を分析し、フィールドワークイベントに参加することもある。		By reading a variety of texts written by Japanese scholars, the students will be introduced to the world of Japanese beliefs, religions and festivals. We shall focus on autumn-winter festivals such as Hana Matsuri, various types of kagura or Namahage, as well as rituals and practices pertaining to Japanese traditional beliefs. Students will also have the chance to participate in one or two fieldwork events.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
授業でハンドアウトを配布する。 Materials will be provided by the instructor.		『祭礼行事』全47巻 おうふう 『日本民族大辞典』吉川弘文館 Ichiro Hori-- Folk Religion in Japan, The University of Chicago Press 1968		授業参加 50%、課題 50% Participation 50%, assignments 50%	

授業題目	日本人の宗教観			Japanese View on Religion	
担当講師名	頓宮 勝 TONGU				
Course No.	Mon. 3	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/MA MR	日本宗教研究 I	日本宗教研究
CUL 356.02	Topics in Japanese Religion I : Topics in Japanese Religion				
目 標	日本人にとって宗教とは何かを明確にするために、				
Objective	(1) 日本列島の自然に育まれた宗教観を概観し、 (2) 神道と仏教に代表される日本人の習合的な傾向に見られる特質について考える。				
授業内容	日本人の宗教について考える場合、神社や寺など現代日本に見られる個別的な要素の理解だけでは不十分で、背景となる歴史的な自然観の理解が不可欠である。そこで、この授業では以下のような形で日本人の宗教観について考察する。				
Description	<ul style="list-style-type: none"> (1) 明暗二分法と名付ける山岳・海洋信仰の背景（縄文時代） (2) 稲作文化導入と山岳・海洋信仰との習合的関わり（弥生時代） (3) 仏教の本質とそのアジア的展開 (4) 漢字・仏教の導入と社信仰の形成 (5) 「道」と「教」の違いとしての神道と仏教 (6) 都市仏教から山岳仏教への移行と神仏習合 				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
1. 授業用に作成した手作り資料 2. 『日本タテヨコ』 学研 (1997) 3. 『神道と仏教』 ひろさちや 新潮選書 (1999)	『日本人の信仰』 梶村昇 中公新書 (1988) Nihonjin no Shinko (Belief of Japanese People), Kajimura Noboru, Chukoshinsho, 1988	授業参加 (40%) 平常点：授業内質疑応答 (20%) 学期末レポート (40%) Grade will be based on class participation (40%), class activities (20%) and final essay (40%)			

授業題目	ことばと言語学の入門			An Introduction to Japanese Language and Linguistics	
担当講師名	ヴォーゲル・ヨーラン		VAAGE		
Course No.	MM/MA	日本語学研究	日本語学研究 V	日本語学研究	
LIN 331.02	MR	Lec./Sem.	Research on Japanese Linguistics V : Topics in Japanese Linguistics		
目標	この授業は、基本的に英語で行うゼロから始めることばと言語学の入門講義だが、トピックによってより深い知識を得て、言葉と社会のフィールドワークを行うためのスキルも身に付ける。				
Objective	This is a general introduction course on Japanese language and Japanese linguistics in English. We will start from the beginning, by investigating why and how humans are talking, and then move on to the development of linguistics, looking at the different branches and what they can tell us about the Japanese language. We will also learn how to do fieldwork on language and society.				
授業内容	この授業で取り上げる主な項目は以下の通りです。				
Description	<p>I. ことばの起源と言語の進化</p> <p>II. 言語学の諸分野</p> <p>III. 書き言葉と話し言葉、さまざまな記号、言語の転写</p> <p>IV. 社会言語学：ジェンダー、若者ことば、方言、言語はどうやって変化するか</p> <p>V. 日本語の特徴</p> <p>VI. 関西弁</p> <p>VII. フィールドワークのやり方</p>				
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
資料配布	Fromkin, V. et al. 2011. An Introduction to Language. Wadsworth. Lyons, J. 1981. Language and Linguistics: An Introduction. Cambridge. 岡本・氏原・真田 2006 『聞いておぼえる関西(大阪)弁入門』 ひつじ書房 Saussure, F. 1986. Course in General Linguistics. Open Court. (Translation by Harris)	授業参加(50%)、試験(50%) Participation in class 50%, final test 50%			

授業題目	日本政治思想入門 Introduction to Japanese Politics		
担当講師名	カルモナ・ダニエル・ウイリアム	CARMONA	
Course No.	講義 / 演習	MM/MA	日本政治思想研究 I 日本政治思想研究
SOC 362.02	Lec./Sem.	MR	Topics in Japanese Political Thought I : Topics in Japanese Political Thought
目標	この授業の目的は日本政治についての理解を深めることである。		
Objective	この授業は、日本語能力は入門程度であるが、日本政治について学ぼうとする学習者向けの授業である。日本語のテキストを通じて、日本政治に関する話題を理解するための用語を習得し、英語での議論を通じて、学習者は様々な時事問題について遠慮なく意見を述べることができる。		
授業内容	This course is designed for students who have an introductory level of Japanese, but who wish to study Japanese politics. Through reading text in Japanese, we will acquire technical terms that will help the student understand news topics; through discussions in English, the student can feel free to express his opinion on various current events.		
Description			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
Handouts and copies from the reference list will be provided.		『留学生のための入門日本政治』 大阪外国語大学 留学生日本語教育センター (2001) Introducing Japanese Politics for Foreign Students, Center for Japanese Language, Osaka University of Foreign Studies (2001)	大阪外国語大学 大坂外国語大学 Class participation 30% Final examination 70%
			評価方法 Manner of Assessment
			授業参加 (30%) 学期末試験 (70%) Class participation 30% Final examination 70%

授業題目	Title			現代日本社会の分析		Analysis of Contemporary Japanese Society	
担当講師名	Instructor (s)	渡邊 親文		WATANABE			
Course No.	Tue. 2	講義 / 演習	MM/MA	日本社会研究 I	日本社会研究		
SOC 364.04		Lec./Sem.	MR	Research on Japanese Society I : Topics in Japanese Religion			
目標	このコースの目的は、時事問題等の考察を通して、日本の文化・思想・歴史などに対する理解を深めることである。		The objective of this course is to deepen the students' understanding of Japanese culture, thought, history, etc., through considerations of the current topics on Japan.				
Objective							
授業内容	授業で扱う項目は以下の通りである：		Topics covered in this course are as follows:				
Description	政治	経済	文化	教育	宗教	国際関係など	Politics Economics Culture Education Religion International Relations, etc.
テキスト	Textbook (s)	朝日新聞論説委員会、『天声人語』、講談社インナーナショナル Asahi Shimbun Editorial Board, Vox Populi, Vox Dei, Kodansha International		参考書	Bibliography	『ジャパンタイムズ社説集』、ジャパンタイムズ The Japan Times, EDITORIALS, the Japan Times	
評価方法	Manner of Assessment	授業参加 (60%)、発表 (40%) の総合評価 Grade will be based on class participation (60%), oral presentation (40%).					

授業題目	Introduction to Japanese Mythology		
担当講師名	日本神話入門	タマシ・カルメン	TAMAS
Course No. CUL 351.02	講義 Lec.	J/M R	日本文化講義 IX 民俗学入門 Lecture Course on Japanese Culture IX : Introduction to Folklore
目標 Objective	この授業は日本神話を紹介し、比較的なアプローチを使って分析することを目指す。		This course will discuss the Japanese myths recorded in the ancient chronicle "Kojiki" from a comparative perspective.
授業内容 Description	この授業では、日本神話の重要なテーマ、つまり他界への旅、シヤーマニズム、イニシエーションの技術や英雄の誕生などへの旅、兄弟結婚、神の業、最初の英雄、太陽崇拜とシヤーマニズムを集中する。比較分析をしながら、日本神話における普遍的なモチーフと思想のパターンを明らかにする。		This course will discuss relevant themes from Japanese mythology, such as the voyage to the underworld, shamanism, initiation practices, or the birth of the hero. Japanese myths will be analyzed from a comparative perspective in an attempt to identify the universal motifs and patterns of thought.
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
教科書を配布する。 Textbooks will be provided by the instructor.		1. 『古事記』 校注・訳者一山口佳紀・神野志隆光 小学館 2003 2. 『日本書紀』 ①校注・訳者一小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・藏中進・毛利正守 小学館 2006 1. The Kojiki-Records of Ancient Matters, translated by B.H. Chamberlain, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1981 2. Nihongi-Chronicles of Japan from the Earliest Times to A.D. 697, translated by W.G. Aston, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1998	評価方法
			Manner of Assessment 授業参加 (50%) 課題 (50%) Participation 50%, assignments 50%

授業題目	日本人の人生儀礼と年中行事			Traditional Life Ceremony & Annual function		
担当講師名	本林 靖久	MOTOBAYASHI				
Course No. CUL 352.02	講義 Lec.	Mon. 1	J/M R	日本文化講義 I 日本文化入門 Lecture Course on Japanese Culture I : Introduction to Japanese Culture		
目標 Objective	授業では日本の伝統的な人生儀礼や年中行事の映像を見ながら、解説し、日本文化に対する幅広く柔軟な見方を養うことを目的としている。		In this class, it sees the image of the Japanese culture and it is explained. This class takes an expansive view of Japanese culture, and aims at developing a flexible point of view.			
授業内容 Description	日本人の伝統的な人生儀礼（出産、産育、成人、結婚、厄年・年祝い、葬送儀礼）と年中行事を学びながらも、一方で、現代社会の中で、このような儀礼がどのようにに変化しているのかを考えてみたい。		These lectures teach about Japanese traditional life ceremony (e.g. Childbirth, Coming-of age ceremony, Marriage, Funeral, and Age celebration,) & annual function. They also look at how their traditional ceremonies have changed due to modern society.			
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
講師作成のテキスト Manuscripts composed by the lecturer			『人生儀礼事典』倉石あつ子他編、小学館、2000年刊 『冠婚葬祭』宮田登著、岩波新書、1999年刊 『死と人生の民俗学』新谷尚紀著、曜社出版、1995年刊 『日本人の一生～初心者のための宗教民俗学入門～（上）・（下）』吉田清著、清文堂、2009年刊 『現代家庭の年中行事』井上忠司+サントリー-不易流行研究所、講談社現代新書、1993年刊		試験 (80%)・平常点 (20%) examination (80%) and participation (20%)	

授業題目	Introduction to Japanese Art History		
担当講師名	井面 舞	INOMO	
Course No. CUL 352.04	講義 Lec.	J/M R	日本文化講義 VII 日本美術史入門 Lecture Course on Japanese Culture VII : Introduction to Art History in Japan
目 標 Objective	<p>伝統的な絵画から現代のマンガまで、さまざまな日本の美術作品を鑑賞することで、日本の芸術文化への理解を深め、また作品の楽しみ方を学ぶ。</p> <p>この授業では絵巻・掛軸・屏風・襖絵など様々な形をした日本の絵画について、それぞれの形独特の鑑賞の仕方、楽しみ方を紹介する。また日本の伝統的な絵画が、実は現代のマンガと通じる要素を持っていることを、作品を見ながら確認していく。</p> <p>The purpose of this class is to understand the art culture of Japan from traditional pictures to present-day Manga, and to learn happiness to appreciate the works.</p> <p>There are various forms, such as a picture scroll (Emaki), a hanging scroll (Kakejiku), a folding screen (Byobu), and fusuma painting (Fusumae), in Japanese pictures.</p> <p>In this class, we learn about those charm and the how to enjoy them.</p> <p>Furthermore, we confirm that traditional Japanese pictures have in fact the elements which leads to Manga, looking at the works.</p>		
授業内容 Description			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		榊原悟、『日本絵画のあそび』（岩波書店、1998） Sakakibara Satoru, "Nihonkaiga no Asobi", Iwanamishoten, 1998	授業参加 (50%)、レポート (50%) Participation (50%), Final report (50%)

授業題目	Title	大阪の勉強しようか Why don't you study Osaka?			
担当講師名	Instructor (s)	嶋本 隆光 SHIMAMOTO			
Course No.	Tue. 2	J/M	R	日本文化研究 III 地域文化研究 Research on Japanese Culture III : Studies in Japanese Local Culture	
Course No.	CUL 352.08	演習	Sem.		
目標	Objective	CJLC で学ぶ留学生が学習の場所として選んだ大阪について、広く浅く学ぶこと。			
授業内容	Description	<p>本講義は2つの部分から構成される。</p> <p>① 教科書、そのほかの資料を用いて大阪の歴史、文化、社会、人々について学ぶ。</p> <p>② ①を行ったうえで、実際に大阪の町を歩いて、頭ではなく「足で」大阪を体験する。</p> <p>秋 semester に2回「大阪の町歩き」を行う予定。</p> <p>予定地：鶴橋国際マーケット、四天王寺、新世界、松屋町、大坂天満宮など</p> <p>(知的能力以上に体力を要する場合があります)</p>			
目 標	Objective	To get to know a little bit of everything about Osaka, which you have chosen as a place where you study Japan.			
授業内容	Description	<p>This class consists of two parts;</p> <p>① To study about history, society, culture (including food), people of Osaka, etc., through reading the textbook,</p> <p>② After having done the above work, we are to go out directly into the city of Osaka. This class may require your physical strength more than mental one as once told by one French student "We have to think in this class by feet instead of head."</p>			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
留学生のための大阪読本	The textbook (Osaka Reading for Foreign students)	必要に応じて授業で配布する	To be distributed when necessary	①出席 50% ②町歩き 30% ③リポート 20%	1. class attendance 50% 2. participation in FW 30% 3. Final paper 20%

授業題目	Title			Introduction to Studies for comparative Culture		
担当講師名	Instructor (s)	IWAI. S				
Course No.	Wed. 3	岩井 茂樹	J/M	日本文化研究 V 比較文化研究	Research on Japanese Culture V : Studies in Japanese Culture	
		演習	R			
目標	Objective					
	比較文化研究を行うにあたって必要な知識と方法を提供する。					
	日本建築や、和食など日本の文化、とりわけ衣・食・住に関するトピックを中心にした授業を行う。					
授業内容	Description					
	The purpose of this class is to provide some essential knowledges and methods for the comparative cultural studies through lectures.					
	As the preparation for the research of the comparative cultural studies, it is necessary to comprehend a culture deeply at first stage. In this semester, the history and features on the Japanese foods, clothes, architectures, and so on are the topics of this class.					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
特になし。 N/A		特になし。 N/A		出席点 : 70%、課題レポート : 30% Attendat: 70%, final report: 30%		

授業題目	Title	茶と茶の文化 Tea and tea culture		
担当講師名	Instructor (s)	久岡 明穂	HISAOKA	
Course No.	Tue. 2	演習	J/M	日本文化演習 V
CUL 352.14	Sem.		R	Seminar Course on Japanese Culture V : The way of tea and Japanese culture
目標 Objective	茶の文化についての知識を身につける Students learn tea and tea culture.			
授業内容 Description	<p>(1) 茶と茶の文化 History of tea, powdered tea ceremony and green tea ceremony, tea leaves, Japanese sweets, setting up a tea ceremony.</p> <p>(2) 点前の意義とお客の心得 (2) Tea ceremony and guest-manners</p> <p>(3) 受講生のスピーチ：世界のお茶の文化 (3) Students speeches; Tea cultures in the world</p> <p>* 受講生の人数により、煎茶道点前の実演または体験を和室で行います。 * If possible, students challenge the performance of green tea ceremony in Japanese room.</p>			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
プリントを配布。 実演・体験の授業日は、茶葉・菓子代自己負担。(1回300～500円) Materials prepared by the instructor. At a performance of green tea ceremony, you should pay the cost of tea leaf and Japanese sweets. (500JPY per a ceremony)				授業参加 80%・レポート (発表) 20% Class participation 80% Speech 20%

授業題目	日本史入門			Introduction to Japanese History	
担当講師名	佐野 方郁	SANO			
Course No.	Wed. 5	J/M	日本文化講義 V	日本史入門	
CUL 353.02	Lec.	R	Lecture Course on Japanese Culture V : Introduction to Japanese History		
目 標 Objective	日本の歴史に関する基本的知識を取得する。		The objective of this class is to learn basic knowledge of Japanese history.		
授業内容 Description	このクラスは、日本の歴史をほとんど勉強したことのない学生が、原始時代から近代までの日本の歴史を勉強するためのクラスです。講義で使うテキストは『留学生のための日本史』です。 授業の内容は次の通りです。 (1) 授業の説明/プレースメント・テスト (2) いつの時代ですか？ (3) ひとつがすむ —石器から土器へ— (4) 米をつくる —農耕と金属器の時代— (5) 統一政権の誕生 —古墳の時代— (6) 古代国家の形成 —律令の時代— (7) 律令国家の変容 —貴族の時代— (8) 武士政権の登場 —貴族と武士の二重政権— (9) 筆記試験 (1) (10) 武士社会の展開 —庶民と戦国大名の台頭— (11) 全国統一の完成 —ヨーロッパ人の来航と日本— (12) 幕藩体制の確立 —身分制と鎖国の時代— (13) 開港と日本の近代化 —明治維新の時代— (14) 帝国憲法体制の展開 —立憲主義から軍国主義へ— (15) 筆記試験 (2)		This class is designed for students who have hardly studied Japanese History in their own countries. In this class we will study Japanese history from the primitive period to the modern period. Topics covered on this class are as below. (1) Introduction to the Class/ Placement test (2) What are periods of Japanese History ? (3) Early Inhabitants in Japan: From stone tools to pottery (4) Growing rice: Introduction of Agriculture and Metal tools (5) Creation of a United State: Age of Great Tombs (6) Formation of Japanese Ancient State: Age of Risturyo Codes (7) Transformation of Ristu-ryo State: Age of Court Nobles (8) Rise of Warrior Rule: Authority Spilt between Court Nobles and Feudal Warlords (9) Paper Test(1) (10) Development of Warrior Society: Rise of Commoners and Warring States' Daimyo (11) Completion of National Unity: Coming of Europeans to Japan (12) Consolidation of Baku-han System: Age of Feudal Class Divisions and National Seclusion (13) Open Ports and Japan's modernization: Meiji Restoration (14) Development of Constitutional Government: From Constitutionalism to Militarism (15) Paper Test(2)		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『留学生のための日本史』（山川出版社、1990年）				出席点(50%) / 参加点(10%) / 筆記試験 × 2回(40%) Class Attendance (50%) / Class Participation (10%) / Paper Test X 2 (40%)	

授業題目	日本のテレビヒーロー Heroes on Television in Japan		
担当講師名	加藤 均	KATO. H	
Course No. CUL 356.04	Wed. 4	演習 Sem.	J/M R 日本文化研究 VII 宗教文化研究 Research on Japanese Culture VII : Topics in Religion Culture
目 標 Objective	<p>本授業では1960年代後半にテレビに登場した2大ヒーロー、ウルトラマンと仮面ライダーを取り上げ、高度経済成長期の日本社会が求めたヒーロー像について分析する。</p> <p>In this course we will treat two popular heroes, Ultraman and Kamen Rider, that appeared on television in the late 1960's, with the aim of understanding a vital aspect of the Japanese society in the rapid-growth period.</p>		
授業内容 Description	<p>his course covers the following topics:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) Typology of the Japanese hero (2) Social conditions in the late 1960's (3) Characteristics of Ultraman (4) Ultraman and national security (5) Social conditions in the early 1970's (6) Characteristics of Kamen Rider (7) Kamen Rider and environmental problems (8) TV heroes and Japanese society in the rapid-growth period 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
コースパックを配布する Course-pack provided			<p>評価方法 Manner of Assessment</p> <p>論述試験 (80%)・平常点 (20%) final essay style examination (80%) participation (20%)</p>

授業題目	Title	日本の方言	Japanese dialects
担当講師名	Instructor (s)	村田 真実	MURATA
Course No. LIN 330.02	Mon. 2	講義 Lec.	J/M R 日本語学講義 I 日本語学入門 (方言) Lecture Course on Japanese Linguistics I : Introduction to Japanese Language/Dialect
目 標 Objective	日本語の伝統的な地域方言に深い関心を持つこと。 大阪方言を通じて、方言研究の基本的な知識・技能を身につけること。		To cultivate deep interests in traditional dialects in Japan To learn (or master) basic knowledge and skills on dialect studies by surveying Osaka dialect
授業内容 Description	前半は既存の言語地図を、後半は談話資料を用いて、大阪方言の特徴を調べる方法を学ぶ。成果はレポートにして報告すること。 ＜スケジュール＞ 1. ガイダンス 2. 概論 (社会言語学における地域言語論の位置づけ、方言研究の意義、日本語のバリエーションを知る) 3-7. 言語地図の分析 8. 中間発表 (プレゼンテーション) 9-14. 談話資料の分析 15. レポート提出		Learn how to find characteristic features of Osaka dialect by using linguistic maps (the first half of the term) and conversation data (the latter half). A term paper will be assigned. <Course Schedule> 1. Orientation 2. Introduction to dialectology: the role of geolinguistics in sociolinguistics; the aims of dialectology; variations in Japanese. 3-7. Analyze the data on linguistic maps 8. Midterm report (including a presentation) 9-14. Analyze conversation data 15. Final paper
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
指定なし		『日本方言大辞典』小学館 『都道府県別 全国方言辞典』三省堂 『全国方言談話データベース 日本のふさふさことば集成』国立国語研究所 『日本語地図』国立国語研究所 『方言文法全国地図』国立国語研究所 『大阪のことば地区』和泉書院	評価方法 Manner of Assessment 中間発表 (50%)、レポート (50%) Presentation (50%), Paper (50%)

授業題目	日本語のデータに基づく意味論概説			An Overview of Linguistic Semantics Based on Japanese Data	
担当講師名	今井 忍	IMAI			
Course No.	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 II	日本語学入門 (意味論)	
LIN 330.04			Lecture Course on Japanese Linguistics II : Introduction to Japanese Language; Semantics		
目 標 Objective	言語学の基本的な分野である意味論について日本語のデータに基づいて概説する。この分野の基本的な概念とそれに関連する研究史を中心に解説する。		In this class, we give an outline of linguistic semantics. We introduce some basic issues of the field and review the research history.		
授業内容 Description	この授業では、以下のような概念を取り上げる予定である。 ● 論理的含意 ● 上位語・下位語 ● 同義語・反義語 ● 成分分析 ● 前提 ● メタファー・メトニミー・シネクドキー ● 意味のプロトタイプ		The concepts to be introduced in the class are as follows: -entailment -hyponymy -synonyms and antonyms -componential analysis -presupposition -metaphor, metonymy and synecdoche -semantic prototype		
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウトを使用する Handouts			金水敏・今仁生美／意味と文脈 (現代言語学入門4) / 岩波書店 / 4000066943 林栄一・小泉保 編／言語学の潮流／勁草書房 / 4326152109 その他、授業中に紹介する Kinsui, S. and I. Imani / Imi to bunmyaku (Meaning and Context) / Iwanami Shoten / 4000066943 Hayashi, E. and T. Koizumi eds. / Gendai Gengogaku no Cho-ryu (Trends in Modern Linguistics) / Keiso Shobo / 4326152109		平常点 (出席、議論への参加、小テスト) : 40% 最終試験 : 60% Attendance, participation in discussion and quizzes: 40% Final examination: 60%

授業題目	Title			Pragmatics and Japanese Grammar		
担当講師名	Instructor (s)		中田 一志	NAKATA		
Course No. LIN 330.06	Wed. 3	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 IV 日本語学入門 (語用論) Lecture Course on Japanese Linguistics IV : Introduction to Japanese Language; Pragmatics		
目標 Objective	語用論を学び、日本語の文法現象について議論する。			Through learning pragmatics, we will discuss controversial issues of the grammar.		
授業内容 Description	主なトピックは次の通り。 1. 直示 2. 推意 3. 前提 4. 言語行為 5. 談話分析 6. 丁寧さ また、ゲストスピーカーによる授業も予定している。			Main topics are: 1. Deixis 2. Implicature 3. Presupposition 4. Speech Act 5. Discourse Analysis 6. Politeness Guest speakers scheduled.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
授業で配布する。 Distributed in Classes		小泉保編『入門語用論研究』 研究社 Koizumi, Tamotsu ed. Nyuumon Goyooron Kenkyu. Kenkyuusha.		授業参加 60%、期末試験 40% Class participation 60%, final examination 40%		

授業題目	日本語における「主語」について			A Study of 'Subject' in Japanese Language	
担当講師名	講師	SHOJI			
Course No.	Wed. 5	J/M	日本語学講義 V 日本語学入門 (形態論・統語論)		
LIN 330.08	Lec.	R	Lecture Course on Japanese Linguistics V : Introduction to Japanese Language: Morphology and Syntax		
目標	日本語の構文を考える際に、「主語」という概念が有効に働かない場合があることを認識し、ひいては多くの日本語学習者が陥る問題、いわゆる助詞「は」と「が」の使い分けについて、さらに理解を深める。				
Objective	授業は大きく次の三つの点について順に取り扱っていく。				
授業内容	1. 日本語の構文について 基本となる日本語の構文の種類をいくつか挙げ、それらを文法的に説明する場合に使用される表現 (文法用語) を学ぶ。				
Description	2. 「主語」とは？ 文法用語として一般に使用される「主語」とは一体何を指すのか、またその機能とは何であるか、日本語の構文には「主語」があるのかについて考察する。				
	3. 助詞「は」と「が」 日本語にある数々の助詞の中で、なぜ「は」と「が」だけが問題になるのか、「は」と「が」それぞれの性質を概観し、関連する文法事象「格助詞」「ウナギ文」「日本語の語順」についても考察すること、で、「は」と「が」の理解をさらに深める。				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
		野田尚史「日本語文法セルフ・マスターシリーズ 1 はとが」くろしお出版 (1985) 寺村秀夫ほか「ケーススタディ日本文法」おうふう (1987)		授業参加 (80% 以上) 及び学期末試験 Class participation (80% and more) besides final examination.	

授業題目	日本語教育学入門 Introduction to Japanese Language Teaching		
担当講師名	門脇 薫 KADOWAKI		
Course No. LIN 333.02	Wed. 5 講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 III 日本語教育学概論 Lecture Course on Japanese Linguistics III : Topics in Japanese Pedagogy
目標 Objective	外国語としての日本語教育の専門知識についての基礎を学ぶ To acquire the fundamental knowledge about 'Teaching Japanese as a Foreign Language'		
授業内容 Description	<p>(1) 日本語学習者</p> <p>(2) 学習目的とコースデザイン</p> <p>(3) 初級教授項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字 ・ 発音 ・ 語彙 ・ 文法 ・ 談話 ・ ことばと文化 <p>(4) 日本語教材</p> <p>(5) 評価</p> <p>(1) Japanese language learners</p> <p>(2) Course design</p> <p>(3) Syllabus of 'Elementary level' Letter/ Pronunciation/Vocabulary/Grammar/Discourse/Culture</p> <p>(4) Text books and teaching materials</p> <p>(5) Evaluation</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
ハンドアウト 『外国人のための日本語教授法』 国際交流基金 本語国際センター (非売品) Handouts	日 国際交流基金	授業時に適宜指示する。 To be informed during lesson, if required	授業参加・課題 (50%)、試験 (50%) Class Participation & Assignments (50%), Examination (50%)

授業題目	日本語史入門 (表記史)			Introduction to the history of Japanese Language, especially the history of notation		
担当講師名	山中 延之	YAMANAKA				
Course No.	Thu. 2	講義	J/M	日本語学講義 VI	日本語学入門 (日本語史)	
LIN 330.10	Lec.	R	Lecture Course on Japanese Linguistics VI : Introduction to Japanese Language			
目標 Objective	現代日本語の表記法を、歴史的な見方から説明できるようにする			The purpose of this course is to acquire the basic knowledge about the notation history of Japanese language, and to explain it from the view of history.		
授業内容 Description	日本語を正しく読み、書くために、漢字・ひらがな・カタカナの使い分けの歴史を学ぶ。その使い分けの方法と歴史を習得することによって、現代日本語の表記法について、より幅広い知識と理解を得ることができ、それによって、適切な表記の文章が書けるようになるだろう。 授業で取り上げるのは、例えば、次のような問題である。 1. 「安」を2種類の筆順で書け。 2. れぽーとのぶんしよがひらがなばかりだと、とてもよみにくい。そのりゆうはなにか？ 漢字許りで書かれて居ても、此れ又頗る読み難い。其れは何故か？ 文字の配列（縦書き・横書きなど）や符号（一（長音符号）・濁点・半濁点など）についても学ぶ。			We learn the history of proper use of kanji, hiragana, and katakana in order to read Japanese correctly and to write it. By mastering the method and history of the proper use, broader knowledge and understanding can be obtained about the notation of present age Japanese. The text of the suitable notation can be written now by it. The topics are below, for example. 1, Write "安" in two kinds of stroke order. 2, When an essay is written only in hiragana, why is it very hard to read? When only in Chinese characters, why is it also very hard to read? We learn also about the arrangement (vertical writing, lateral writing, etc.) and the marks of a character (一 (macron), dakuten --- a voiced consonant mark, han-dakuten --- a p-sound mark, etc.).		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts		三省堂編修所編『新しい国語表記ハンドブック 第六版』(2011年5月、三省堂) 講談社校閲局編『日本語の正しい表記と用語の辞典 第三版』(2013年4月、講談社)	三省堂編修所編『新しい国語表記ハンドブック 第六版』(2011年5月、三省堂) 講談社校閲局編『日本語の正しい表記と用語の辞典 第三版』(2013年4月、講談社)		授業での発言 (30%)、レポート (70%) Works in class 30%, Final Examination 70%	

授業題目	Title		Outline of the Japanese Linguistics		
担当講師名	山川 太	YAMAKAWA			
Course No. LIN 331.04	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 VII 日本語学概説 Lecture Course on Japanese Linguistics VII : Topics in Japanese Linguistics		
目 標 Objective	この授業では、「日本語学」に関する授業のファーストステップとして、現代日本語についての基本的な事項について学びます。基本的知識を身につけることが一番の目標ですが、日本語を科学的に分析・考察していく楽しさも知って頂けたらと願います。		The aim of this class is to acquire fundamental knowledges on the Japanese Linguistics.		
授業内容 Description	以下の内容を扱う予定です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語学とは ・ 世界の中の日本語 ・ 日本語の音声・音韻 ・ 日本語の語彙 ・ 日本語の文法 ・ 日本語の文字、表記 ・ 文章と談話 		Topics covered in this class are as below (Tentative); <ul style="list-style-type: none"> ・ What is Japanese Linguistics ・ Japanese Linguistics as a part of General Linguistics ・ Japanese Phenetics and Phonology ・ Japanese Lexicon ・ Japanese Syntax ・ Japanese Writing System ・ Text and Discourse 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
教材は教授者が配布します。 Materials will be provided by the instructor.		授業中に示します。 To be introduced in class.		出席、小テスト、期末テスト Attendance, Small Quizzes and Final Examination	

授業題目	日本語教授法入門 Introduction to Japanese language pedagogy		
担当講師名	大和 祐子	YAMATO	
Course No. LIN 333.04	講義 Lec.	J/M R	日本語学講義 VIII 日本語教育学入門 Lecture Course on Japanese Linguistics VIII : Introduction to Japanese Pedagogy
目標 Objective	このクラスの目的は、外国語としての日本語教育の理論と実践について学ぶことである。		
授業内容 Description	このクラスでは、主に以下の5点のトピックについて取り上げる。 1) 日本語学習者と日本語教師 2) コースデザインの仕方 3) 授業計画とクラスマネージメント 4) 教材と教具 5) テストと評価 このコースは、将来日本語教育に携わりたい学生であれば、日本語教育学を学んだことがあっても初めて学ぶ人でも受講することができ。このクラスでは、どのようにに外国語としての日本語教育を行えばいいのか、課題やクラスメートとのグループワークなどを通して学ぶ。 なお、春学期に「日本語教育実習」の授業を履修したいと思っいる者は、必ず今学期、この授業を履修すること。(この授業は今学期のみ開講される)		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		細川英雄編 (2002)『ことばと文化を結ぶ日本語教育』凡人社 岡崎眸・岡崎敏雄 (2001)『日本語教育における学習の分析とデザインー言語習得過程の視点から見た日本語教育』凡人社 鎌田修・嶋田和子・迫田久美子編 (2008)『プロフィールエンシーを育てる』凡人社	細川英雄編 (2002)『ことばと文化を結ぶ日本語教育』凡人社 岡崎眸・岡崎敏雄 (2001)『日本語教育における学習の分析とデザインー言語習得過程の視点から見た日本語教育』凡人社 鎌田修・嶋田和子・迫田久美子編 (2008)『プロフィールエンシーを育てる』凡人社
		評価方法	Manner of Assessment
			授業参加、課題、期末テスト Class participation, Assignments, Final examination.

授業題目	日本近現代文学史			History of Modern Japanese Literature	
担当講師名	Instructor (s)	五之治 昌比呂	GONOJI		
Course No. LIT 340.02	Mon. 4	講義 Lec.	J/M R	日本文学講義 I 日本文学入門 Lecture Course on Japanese Literature I : Introduction to Japanese literature	
目標 Objective	<p>1) 明治以降の文学史の知識を身につける 2) 代表的な小説の一部を精読する</p> <p>1) learn about the history of modern Japanese literature since the Meiji period 2) close reading of texts of famous novels in original</p>				
授業内容 Description	<p>1. 明治時代以降に書かれた有名な小説のあらすじを、易しい日本語で読みます。あらすじを読む予定の作品は、 夏目漱石『坊っちゃん』『ころも』 森鷗外『高瀬舟』 泉鏡花『高野聖』 川端康成『伊豆の踊子』 中島敦『名人伝』 などです。</p> <p>2. 小説の一部を原文で読みます。</p> <p>3. 文学史、文学用語の知識を学びます。</p> <p>4. 作品に基づき映画の一部を見ます。</p> <p>1. We read synopses of famous novels or short stories since the Meiji period, for example Natsume Soseki "Botchan," "Kokoro" Mori Ogai "The Boat on the River Takase (Takase-bune)" Izumi Kyoka "The Holy man of Mount Koya (Koya-hijiri)" Kawabata Yasunari "The Izu Dancer" Nakajima Atsushi "The Expert (Meijin-den)"</p> <p>2. We read some part of the novels in original.</p> <p>3. Fundamental explanations are given about literary history and literary terms.</p> <p>4. We see films based on the works we read.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
教科書は使いません。 no textbook	Thomas Rimer, A reader's guide to Japanese literature, Kodansha International, 1991	出席：60% 試験：40%	評価方法 Manner of Assessment participation (60%) examinations (40%)		

授業題目	Introduction to a history of Japanese literature		
担当講師名	関本 真乃	SEKIMOTO	
Course No. LIT 340.04	Mon. 5	J/M R	日本文学講義 III 日本文学史入門 Lecture Course on Japanese Literature III : Introduction to Japanese History of literature
目標 Objective	平安時代から鎌倉時代にかけての物語文学史を理解する。		
授業内容 Description	平安時代から鎌倉時代にかけての「物語」文学について、当時の社会状況・文化を踏まえながら概観する。授業で扱う予定の作品は、『竹取物語』『源氏物語』『狭衣物語』『とりかりばや物語』などである。 We are going to deal with "The Tale of the Bamboo-Cutter", "the Tale of Genji", "Yoru no Nezame" "the Tale of Sagoromo", "the Tale of Torikaebaya", and so forth.		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
プリントを配布する。 handouts		『新編日本古典文学全集 12 竹取物語・大和物語・平中物語』（小学館、片桐洋一他校注、1994年） 『新編日本古典文学全集 20-25 源氏物語』（小学館、阿部秋生他校注、1994-1998年） 『マンガでわかる源氏物語』（池田書店、砂原良著・上原作和監修、2011年） 『新総合図説国語改訂新版』（東京書籍、池内輝雄・三角洋一、2003年） Shimpen Nihon Koten Bungaku Zenshu 12 Taketori Monogatari · Yamato Monogatari · Heichu Monogatari (Shogakkan, 1994) "Shimpen Nihon Koten Bungaku Zenshu 20-25 Genji Monogatari" (Shogakkan, 1994-1998) "Manga de Wakaru Genji Monogatari" (Ikedashioten, 2011) "Shinsougou Zusetsu Kokugo" (TokyoShoseki, 2003)	授業への参加 (50%)、期末試験 (50%) Class participation (50%), Final examination (50%)

授業題目	Title	日本文学講義Ⅴ	日本文学入門	Modern Japanese literature
担当講師名	Instructor (s)	久岡 明穂	HISAOKA	
Course No. LIT 340.06	Tue. 1	講義 Lec.	J/M R	日本文学講義Ⅴ 日本文学入門 Lecture Course on Japanese LiteratureⅤ : Introduction to Japanese literature
目標 Objective	<p>明治時代以降の日本の文学作品を読み、作品を理解する。</p> <p>Reading of some Japanese literature works.</p>			
授業内容 Description	<p>この授業では、芥川龍之介や夏目漱石など明治時代以降の日本文学の作品を読みます。</p> <p>This course is designed to help students understand Japanese literature.</p> <p>Students read some works of modern Japanese literature.</p>			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
プリントを配布。 Materials prepared by the instructor.				<p>平常点 50%・レポート 50%</p> <p>Class participation 50%</p> <p>Essay 50%</p>

授業題目	Title			Introduction to Traditional performing arts of Japan		
担当講師名	Instructor (s)			SHIBATA		
Course No. LIT 343.02	Fri. 4	柴田 芳成	J/M R	演習 Sem.	日本文学演習 III 日本の伝統芸能	Seminar Course on Japanese Literature III : Classical Theaters of Japan
目標 Objective	日本の伝統芸能を理解するために必要な基礎知識を身につける。			The purpose of this class is to learn the basic knowledge of various traditional performing arts of Japan.		
授業内容 Description	能、狂言、歌舞伎、文楽などを中心に、日本の伝統芸能について学ぶ。それぞれの芸能をビデオで鑑賞するとともに、作品本文を読解することによって、理解を深めることをめざす。 また、劇場などに行く機会をもうけて、実演を鑑賞する（平日の夕方以降、土曜日、日曜日など）。			The aim of this class is to learn about traditional performing arts of Japan, for example Noh, Kyogen, Kabuki, Bunraku. We will learn about each performing arts through appreciating video and reading the scripts. We will go to watch the actual performances at the theater once or twice (on after school or weekend).		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
決まったテキストは使用しない。 There is no textbook. Handouts.		授業中に示す。		授業参加 (80%)、課題 (20%) participation (80%), assignments (20%)		

授業題目	戦後の日本経済			Postwar Japanese Economy	
担当講師名	伊藤 敏雄	ITO. TOSHI			
Course No.	Wed. 2	J/M	R	日本政治経済講義 I 日本経済入門	
SOC 360.02	Lec.	Lecture Course on Japanese Politics and Economy I : Introduction to Japanese economics			
目標	この授業の目的は、戦後日本経済の基本的な知識と専門用語を習得することである。				
Objective	The objective of this class is to acquire the basic knowledge and technical terms concerning postwar Japanese economy.				
授業内容	この授業では、第二次世界大戦から現在までの日本経済の歩みについて学習する。また、日本の産業と企業にも焦点を当てる。				
Description	<p>主な項目は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国民所得 (2) 復興 (3) 高度成長のメカニズム (4) 石油ショックと安定成長 (5) バブル経済の崩壊 (6) 平成不況 (7) 産業構造 (8) 日本の経営 (9) 国際経済 (10) 現在の経済問題 				
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography	評価方法
配布資料			<p>三橋規宏 『ゼミナール日本経済入門』 日本経済新聞社、2012年。 中村隆英 『日本経済 その成長と構造』 東京大学出版会、1993年。 岡崎哲二 『工業化の軌跡 経済大國前史』 読売新聞社、1997年。 吉川洋 『高度成長 日本を変えた600日』 読売新聞社、1999年。 Mitsuhashi Norihiro, Seminar nihonkeizai nyuumon, Nihonkeizai-shinbunsha, 2012 Nakamura Takafusa, Nihonkeizai: Sono seiyou to kouzou, Tokyodagaku-syuppankai, 1993. Okazaki Tetsuji, Kougyouka no kiseki: Keizaitaikokuzenshi, Yomiurishinbunsha, 1997. Yoshikawa Hiroshi, Koudoseiyou: Nippon wo kaeta 600michi, Yomiurishinbunsha, 1999.</p>		
Handouts			<p>授業参加 (60%)、課題 (10%)、小テスト (30%) Participation (60%), assignments (10%), quizzes (30%)</p>		

授業題目	日本の企業経営入門 (1)			Introduction of Japanese Business Administration (1)	
担当講師名	井上 千一	INOUE			
Course No.	Wed. 4	演習	J/M	経営学	
SOC 361.02	Sem.	R		Seminar Course on Japanese Politics and Economy III : Japanese Business Administration	
目標	日本の企業経営について基本的かつ全般的な理解、特に労働と雇用および生活に関する問題点の理解を目標とする。				
Objective	The objective of this class is to acquire a fundamental and general understanding of business administration in Japan, especially of the labour, employment management systems and the condition of life in Japan.				
授業内容	この授業では、はじめに映像を見ることによって、第二次世界大戦の日本経済の発展過程 (1945年～1990年) を全般的に理解します。 第2に、日本経済の発展過程と日本企業の成長過程を、授業中のスライドと配布プリントによって詳しく理解する。 第3に、この過程で日本企業の経営システムの特徴および経営手法について理解する。 第4に、日本企業の労働の現場で何が起きているかをみることで、日本経済と日本企業の問題点を明らかにします。 この授業により、今までのとは異なる日本企業の側面を理解できるようになります。				
Description	First, we understand the development process of the Japanese economy after World War II (1945-1990) by the video. Second, we understand deeply the development process of Japanese economy and the growth process of Japanese enterprises by the slides and handouts. Third, we understand it about the way of the management system of the Japanese enterprise and the management technique in this process. Finally, we explain the problems of Japanese economy and enterprises by examining what happens in the conditions of labour in the Japanese enterprises. We learn to understand the aspects of Japanese enterprises which are different from the present by attending this class.				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
資料・レジュメは毎回配布します。Handouts.		林直道『強奪の資本主義―戦後日本資本主義の軌跡』新日本出版、2007年。		平常点 (50%) と期末レポート (50%) Class participation 50%, Final report 50%	

授業題目	Title			現代の日本社会と若者		Contemporary Japanese society and youth	
担当講師名	Instructor (s)		貫田 優子				
Course No.	Mon. 5	講義	J/M	NUKITA			
SOC 364.02	Lec.	R		日本社会講義 I 社会学入門			
目標	Objective			Lecture Course on Japanese Society I : Introduction to Sociology			
授業内容	Description			To get knowledge about social lives and communication of young Japanese and learn how to analyze them from sociological perspective.			
				In this class, we will discuss topics about young Japanese social lives such as schooling, working, family, friendship and media use.			
				Statistical data and basic concepts of sociology concerning each topic will be given and explained.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment	
友枝敏雄・山田真茂留編『Do! ソシオロジー—現代日本を社会学で診る (改訂版)』(有斐閣、2013年)					授業参加 50%、最終レポート 50% Class Participation 50%, Final report 50%		

授業題目	Title	Independent Study	Independent Study	
担当講師名	Instructor (s)	加藤 均	KATO. H	
Course No.	Tue. 4	演習	M	自主研究 自主研究
JPN 219.82	Sem.		MIS	Independent Study : Independent Study
目標	Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。	Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and culture.	
授業内容	Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。	Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)

授業題目	Title	Independent Study		
担当講師名	Instructor (s)	中田 一志	NAKATA	
Course No.	Tue. 4	演習	M	自主研究 自主研究
JPN 219.84	Sem.		MIS	Independent Study : Independent Study
目標 Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。	Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese language and culture.		
授業内容 Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。	Students who have proposed a study topic in the field of Japanese language and culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%) and essays (40%)

授業題目	Title	Independent Study		
担当講師名	Instructor (s)	水田 明男	MIZUTA	
Course No.	Tue. 4	演習	M	自主研究 自主研究
JPN 219.86		Sem.	MIS	Independent Study : Independent Study
目標 Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。	Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese language and culture.		
授業内容 Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。	Students who have proposed a study topic in the field of Japanese language and culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.		Manner of Assessment
				授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%) and essays (40%)

授業題目	日本語中級文法 α Intermediate Japanese: Sentence Patterns α		
担当講師名	篠原 みゆき, 田中 真衣, 日比 伊奈穂, 吉兼 奈津子 SHINOHARA, TANAKA, M, HIBI, YOSHIKANE		
Course No.	MM1	現代日本語 3A	中級文法 α
JPN 300.02	MSPA	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns α	
目標 Objective	<p>中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。</p> <p>To develop vocabulary and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.</p>		
授業内容 Description	<p>日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。</p> <p>Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test.</p> <p>Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
『留学生のための日本語文法中級 1』 (CJLC, 2007) Japanese Grammar for Foreign Students [Intermediate Book 1] (CJLC, 2007)		授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	
		評価方法	Manner of Assessment
		授業参加と試験 Class participation & Examination(s)	

授業題目	日本語中級文法β			Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
担当講師名	波多野 吉徳, 古川 由理子			HATANO, FURUKAWA	
Course No.	実習	MM1	現代日本語 3A	中級文法 β	
JPN 300.12	Rec.	MSPB	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns β		
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。			To develop vocabulary and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.	
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型（約 250）や語彙（約 5,000 語）の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。			Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	授業参加と試験 Class participation & Examination(s)			

授業題目	日本語中級文法 <i>a</i>			Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>	
担当講師名	原田 佳代子, 村上 由記, 山澤 園子, 大和 祐子		HARADA, MURAKAMI, YAMAZAWA, YAMATO		
Course No.	実習	MM2	現代日本語 3A	中級文法 <i>a</i>	
JPN 300.04	Rec.	MSPA	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>		
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。			To develop vocabulary and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.	
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。			Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
『中級文法 (基礎) テキスト』 (CJLC, 2013) Chukyu Bunpo (Kiso) Textbook (CJLC, 2013)	授業中に指示する。 To be announced by the instructors.		授業参加と試験 Class participation & Examination(s)		
			評価方法	Manner of Assessment	

授業題目	日本語中級文法β			Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
担当講師名	大橋 晶子, 林 和子			OHASHI, HAYASHI	
Course No.	Tue. 1, Thu. 1	実習	MM2	現代日本語 3A	中級文法 β
		Rec.	MSPB	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns β	
目標 Objective	中級レベルの学習者の語彙・文法能力および読解能力を高める。			To develop vocabulary and grammatical skills and improve reading skills for intermediate-level students.	
授業内容 Description	日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型（約 250）や語彙（約 5,000 語）の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。各課が終了した後、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。			Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Small tests of grammar and vocabulary will be given after each lesson is finished.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
授業中に指示する。 To be announced by the instructors.		授業中に指示する。 To be announced by the instructors.	授業参加と試験 Class participation & Examination(s)		
			評価方法	Manner of Assessment	

授業題目	Title	Intermediate Japanese Grammar		
担当講師名	Instructor (s)	ISHIBASHI		
Course No.	Mon. 3	実習	J/MM	日本語実習 3A 中級文法
JPN 310.02		Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar
目標	Objective	<p>日本語能力試験 N2 レベルの機能語や文法項目を学ぶ</p> <p>The aim of this class is to learn functional phrases and the knowledge of grammar for the Japanese Language proficiency Test N2.</p>		
授業内容	Description	<p>形や使い方が似ている機能語を中心にさまざまな文型を学習する。</p> <p>You will learn sentence patterns focusing on functional phrases similar in form and usage.</p> <p>学習したことを確認するために、短文作成練習や練習問題も行う予定である。</p> <p>To confirm what you have learned, you will practice composition and do exercises.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
佐々木仁子・松本紀子 / 「日本語能力試験」対策 日本語総まとめ N2 文法 / アスク / 978-4872177299 Sasaki, Hitoko and Noriko Matsumoto / Japanese Language Proficiency Test Level N2 Grammar Practice (Nihongo Sou Matome) / Asuku / 978-4872177299	グループ・ジャマシイ / 『教師と学習者のための日 本語文型辞典』 / くろしお出版 / 978-4874241882 Group Jamashi / A Dictionary of Japanese Sentence Grammar for Teachers and Students (Kyooshi to gakushuusha no tame no Nihongo Bunkei Jiten) / Kuroshio Shuppan / 978-4874241882			平常点 (50%)、試験 (50%) Class participation (50%), Examination (50%)

授業題目	Title			豊かな表現のための動詞		Verbs for expression-rich Japanese	
担当講師名	Instructor (s)		熱田 万美		ATSUTA		
Course No.	Thu. 4	実習	J/MM	日本語実習 3A	中級文法		
JPN 310.04	Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar				
目標	<p>既に日常的に使っている動詞を、形・意味・機能という点から整理・確認し、それらの表現の定着をはかる</p>						
Objective	<p>To review the verbs already used on a daily basis and have a fresh look at their form, meaning and function. These verbs will be studied by practicing how to use them. Students will also familiarize themselves with expressions and phrases in which they are used.</p>						
授業内容	<p>① よく知っている動詞にどんな表現や連語があるのか、辞書を使って主体的に学ぶ</p> <p>② 「する・した・している」の使い分けができているか、受身、使役動詞が含まれる表現をうまく使えているかなど、つまずきやすい文法項目をいくつか取り上げて、効果的に使えるように練習する</p>						
Description	<p>1) Expressions and phrases containing well-known verbs will be actively investigated by means of a dictionary.</p> <p>2) Participants will improve their proficiency in.e.g.</p> <ul style="list-style-type: none"> - the correct usage of the grammatical aspect of verbs - effectively employing expressions containing the passive and causative form of verbs 						
テキスト	Textbook (s)		参考書		Bibliography		
ハンドアウト	<p>砂川有里子『日本語文法セルフ・マスタリーシリーズ2する・した・している』</p> <p>くろしお出版 (1986)</p> <p>庵功雄、清水佳子『時間を表す表現－テンス・アスペクト－』スリーエーネットワーク (2003)</p> <p>秋元美晴・有賀千賀子『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』武蔵野書院 (1996)</p>						
Handouts					<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p> <p>授業参加 (40%)、課題提出 (60%)</p> <p>Participation (40%), Assignments (60%)</p>		

授業題目	Title			Functional Japanese, Intermediate	
担当講師名	Instructor (s)		SHUTO		
Course No.	Fri. 3	実習	J/MM	日本語実習 3A	中級文法
JPN 310.06	Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目標	Objective		To learn function words and grammatical items focusing on the N2 level of the Japanese language proficiency Test (JLPT N2).		
授業内容	Description		Through class discussions, to learn grammatical rules for how to use similar function words of JLPT N2 level. Composition of short sentences as well as practice exercises will follow.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
ハンドアウトを配布 Handouts		友松悦子他著『新完全マスター文法 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワークグループ・ジャマシイ『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版	日本語能力		
			平常点 (50%)、課題 (50%) Grade will be based upon class participation (50%), and assignments (50%).		
			評価方法		
			Manner of Assessment		

授業題目	レポートを書くための日本語文法			Japanese Grammar for Academic Writing	
担当講師名	小森 万里	KOMORI			
Course No.	JPN 310.08	Fri. 4	実習 Rec.	J/MM SP	日本語実習 3A 中級文法 Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar
目標 Objective	日本語でレポートを書くために必要な日本語文法を学び、読み手に誤解なくわかりやすいレポートが書けるようになることを目標とする。		In this class, students learn Japanese grammar for academic writing and how to write papers in Japanese that are easy to understand.		
授業内容 Description	日本語でレポートを書く際に重要な文法を取り上げる。 1. 「書き言葉の文体」 2. 「複文の作り方」 3. 「『こと』『の』の使い分け」 4. 「名詞化」 5. 「言葉の選び方」 6. 「文を首尾一貫させる」 7. 「助詞相当語の使い分け」 8. 「『は』と『が』の使い分け」		We take up Japanese grammar for academic writing. 1. Style of Written Language 2. Complex sentence 3. "Koto""No" 4. Nominalization 5. Selection of Words 6. Consistent Sentence 7. "Niyotte""Niyoreba""Nitaitsite""Nitotte""Toshite" 8. "Wa""Ga"		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウトを配布 Handouts		石黒圭・筒井千絵 (2009) 『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』 スリーエーネットワーク Ishiguro Kei, Tsutsui Chie (2009) "yugakusei no Tame no Koko ga Taisetsu Bunsho Hyogen no Ruru" 3A Corporation	授業参加 50%、小テスト 20%、期末試験 30% Class Participation 50%, Quizzes 20%, Final Examination 30%		

授業題目	漢字語彙を広げよう Enriching Kanji-Vocabulary		
担当講師名	久保田 ゆかり	KUBOTA	
Course No.	実習	J/MM	中級漢字
JPN 313.02	Rec.	K	Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji
目標	この授業の目的は、形、読み、意味の各点から漢字を体系的に学ぶことにより、漢字の読み書き能力を向上させることである。また、用法についても学び、漢字の運用能力を高める。教育漢字(1,000字)を中心に学習する。		
Objective	This course is designed to develop students' ability to read and write Kanji by systematically approaching to it from figures, reading, and meanings. It also aims to enable students to acquire proficiency in the usages of Kanji. We will focus on the "Kyoiku Kanji" or basic Kanji (about 1,000 characters) in this class.		
授業内容	The schedule of this course is as follows: Week 1-5: Figures Kanji with the same racial; Kanji with the same structural part Week 6-9: Reading Kanji with the same reading; Chinese reading of Kanji; Japanese reading of Kanji; Kanji with plural readings Week 10-13: Meanings Related Kanji; Paired meaning of Kanji; Similar meaning of Kanji Week 14-15 Term examination and comments		
Description	A review quiz will be given at the beginning of every class.		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
Textbook (s)	『中学漢字ドリル1945字』 教学研究社、1994年。 近藤政美、濱千代いづみ『漢字ハンドブック』 和泉書院、2006年。 松本節子、菅野章子『実力アップ！日本語能力試験2級漢字単語ドリル』 エニコム、2005年。		Manner of Assessment
コピーを配付。 Handouts			授業への出席と参加度(20%)、小テスト(30%)、学期末試験(50%)。 Grade will be based on class participation (20%), quizzes (30%), and term examination (50%).

授業題目	Title			日常生活のための漢字を身につけよう		Kanji for everyday life in Japan	
担当講師名	Instructor (s)		吉村 大樹 YOSHIMURA				
Course No.	Mon. 4	実習 Rec.	J/MM K	日本語実習 3B	中級漢字	Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji	
目標	この授業では、日常的な場面でよく使われる漢字 (700-1000 字) を正確に使うことができるようになることを目標にします。これらの漢字が使えるようになることで、より多くの語彙・語句の習得ができるようになります。						
Objective	この授業では、主に4つのタイプの活動を行います。						
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「思い出す」。前回の授業で学習した漢字、宿題で学習した漢字について小テストを行います。 2. 「わかる」。新しい漢字の読み方や書き方を理解します。 3. 「覚える」。わかるようになった漢字を、いろいろな練習をしながら覚えます。 4. 「使う」。覚えた漢字が、日常生活でどのように役に立つかを確かめます。 						
Description	<p>Four main activities will be conducted in each class:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To review: A quiz in kanji characters which students learned in the previous class will be given. 2. To understand: Students understand how to read and write kanjis newly introduced. 3. To learn: Students learn new kanjis by doing class activities. 4. To use: Students confirm how kanjis learned in the class will be useful in our daily life. 						
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment		
佐藤尚子、佐々木仁子 (著) 『留学生のための漢字の教科書 中級 700』国書刊行会 (2008) Naoko, Sato and Hitoko, Sasaki (2008) "Ryuuugakusei no tame no kanji no kyokasho chuukyuu 700" (The kanji textbook for international students: 700 characters	彦坂佳宣 (監修)、旺文社 (編) 『日本語能力試験ターゲット 1000 N2 漢字』旺文社 (2011) Yoshinobu, Hikosaka (supervised), Obunsha (ed. (2011)) "JLPT Target 1000 N2 Kanji". Obunsha.	平常点 : 30% 小テスト : 30% 定期試験 : 40% Participation: 30% Quizzes: 30% Final examination: 40%					

授業題目 Title	常用漢字 JOYO KANJI
担当講師名 Instructor (s)	國方 栄二 KUNIKATA
Course No. JPN 313.06	実習 Rec. Wed. 3
目標 Objective	J/MM K 日本語実習 3B 中級漢字 Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji
授業内容 Description	この講義は常用漢字（およそ 1000）を習得し、日本語の読解および作文能力を育成することを目標とします。 ◎毎回 40 個の漢字を学習します。 ◎毎回前回学習分の小テストがあります。
テキスト Textbook (s)	参考書 Bibliography
『漢字の実践練習』（第一学習社） KANJI NO JISSEN RENSU (DAIICHI GAKSYUSHA)	『日本語能力試験 1・2 級試験問題と正解』（凡人社） Japanese language proficiency test. Level 1 and 2 Questions and correct answers (Bonjinsha)
	評価方法 Manner of Assessment
	定期試験 (50%)・平常点 (50%) examination (50%) & participation (50%)

授業題目	日本語能力試験 N2 レベルの漢字			Kanji for Japanese Language Proficiency Test Level N2	
担当講師名	廣川 直幸	HIROKAWA			
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3B	中級漢字	
JPN 313.08	Wed. 5	Rec.	Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji		
目標	日本語能力検定試験 N2 に必要な漢字約 1000 字の習得。				
Objective	この授業では毎週およそ 40 字の漢字を学習します。				
授業内容	学習に応用できるように、漢字や熟語のなりたちを説明します。				
Description	よりよく覚えるために、書く練習を宿題にします。				
	毎回授業のはじめに小テストをして、どれだけ身についたかを確認します。				
	To check the mastery, a quiz will be given at the beginning of every class.				
	To fix Kanji firmly in mind, Kanji writing practice will be assigned as homework.				
	The basic structures of Kanji and Kanji compounds will be explained in order that the students may apply them to their learning.				
	In this course about 40 Kanji will be learned every week.				
	The aim of this course is to master about 1000 Kanji required for Japanese Language Proficiency Test Level N2.				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
かたくり日本語教師会『完全マスター漢字 日本語能力試験 2 級レベル』スリーエーネットワーク (2002)。	アルク日本語出版編集部編『日本語能力試験漢字ハンドブック』アルク (1994)。			平常点 : 70% と試験 : 30% Participation: 70% & Examination: 30%	

授業題目	ことばと文化の読解			Reading Japanese Texts on Language and Culture	
担当講師名	ヴォーゲ・ヨーラン			VAAGE	
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3C	中級読解	
JPN 314.02	Rec.	RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading		
目標	社会言語学を通して、言語と文化についての分かりやすいテキストを読み、論文によく使われている表現を学ぶ。加えて、ディスカッションで日本の文化と社会への理解を高めることを目的とする。			The purpose of this course is to learn to read and understand Japanese texts about language and culture, to acquire words and phrases used in academic texts, and - through discussions on topics such as sociolinguistics and anthropology - get a deeper understanding of Japanese culture and society.	
Objective	毎回授業で日本語と日本文化に関連する分かりやすい文章を読みます。読むとともに、文章に出てくる難しいことばや表現をいくつかピックアップして解説し、現代日本社会に注目して、文章の内容についてディスカッションを行います。			In this course we will read from easy to understand texts about Japanese language and culture. Important keywords and a word list will be distributed together with the test. While reading, we will go through some of the difficult words and phrases used in the text, and discuss the contents of the text in context of modern Japanese society.	
授業内容	学期の前半は、鈴木孝夫が書いた、わたし、ほく、うち、などの日本語の人称詞についてのテキストを読み、後半では、漫画やドラマに使われている特集なことば（役割語）、若者ことば、そしてキャラ語などについての論文を読みます。			We will start by reading Suzuki Takao's famous text about the different Japanese pronouns (watashi, boku, uchi, etc.), and then move on to read about special words used in manga and drama (so-called "role-language"), youth language, and "kyara"-language.	
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
資料配布	Copies of the text, word lists and other materials will be distributed in class.	井出祥子 2006 『わきまへの語用論』 大修館書店 金水敏 2003 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店 定延利之 2011 『日本語社会のぞきキャラくり』 三省堂 鈴木孝夫 1973 『ことばと文化』 岩波新書	評価方法 授業参加 100% Participation in class 100%		
Manner of Assessment					

授業題目	Title			Intermediate Reading: Rapid and Close	
担当講師名	Instructor (s)	HIROKAWA			
Course No.	Wed. 4	実習	J/MM	日本語実習 3C	中級読解
JPN 314.04	Rec.	RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading		
目標	中級レベルの学生が、さまざまなテキストの速読・精読を通じて、柔軟な読解力を獲得することを目指します。		The aim of this course is for intermediate students to acquire flexible reading skills through reading various kinds of texts.		
Objective	この授業は二つの部分で構成されます。すなわち、速読と精読です。		This class consists of 2 sections: rapid reading and close reading.		
授業内容	速読では、初見のテキストを読み、問題を解いて理解度を確認します。		In the rapid reading section, students will read unseen texts and solve questions about them to check their understanding.		
	精読では、あらかじめ与えられたテキストについて発表や討論を行います。テキストには、刺激的なエッセイ等を用いる予定です。		In the close reading section, presentation and discussion will be done about the texts which will be given beforehand. Stimulating essays etc. will be used as our texts.		
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法
					Manner of Assessment
					平常点：70%とレポート：30% Participation: 70% & Final report: 30%

授業題目	Title			Intermediate Japanese Reading -skills for various types of reading-	
担当講師名	Instructor (s)		MASHITA 真下 恭子		
Course No.	Thu. 3	J/MM	日本語実習 3C	中級読解	
JPN 314.06	実習	RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中級レベルの様々な分野の文章を構成や表現に注意し正確に読む力をつける。 ・ 限られた時間で必要な情報をとったり、文章の大意をつかむ技術を学ぶ。 				
Objective	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文やエッセイなど様々な分野の文章をとりあげ、全体の流れや要旨をつかんだ後、言語表現の正確な解釈を練習する。精読で扱うものは、日本語能力試験N2レベルのものを中心にする予定である。 ・ 文章全体の把握から個々の表現の理解まで、段階的にスキミングやスキミングの技術を習得する。文章の構造や機能に 				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ You will read texts on various fields in a manner required by the tasks. Some important expressions will be picked up for better understanding. Texts of Japanese proficiency test N2 level will be mainly used for intensive reading. ・ You will learn the skills of rapid reading with step by step training, which includes the skills of scanning and skimming. 				
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト配布 (以下のテキストや生教材参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三浦昭・岡まゆみ (1998) 『中・上級者のための 速読の日本語』 ジャパンタイムズ ・ 奥田純子他 (2011) 『読む力 中級』 くらしお出版 ・ 松本眞子他 (2013) 『実力アップ！日本語能力試験 N2 読む (文章の文法・読解)』 エニコム ・ 小林ひとみ・桑原里奈・水林理恵 (2011) 『N2 読解スピードマスター』 Jリサーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内田安伊子・内田紀子 (2008) 『構成・特徴・分野から学ぶ 新聞の読解』 スリーエーネットワーク ・ Uchida Akiko, Uchida Noriko (2006) "Kosei Tokucho Bunya kara Manabu Shinbun no Dokkai(Reading skills for News Papers-learning various structures, features and fields)" 3A net co. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点 (出席、授業参加など) 50% ・ 期末テスト 50% ・ Attendance and Participation 50% ・ Final test 50% 		

授業題目	Title		中級作文		Intermediate Writing	
担当講師名	Instructor (s)		李 裕旋	LEE		
Course No.	Tue. 2	実習	J/MM	日本語実習 3D	中級作文	
JPN 315.02	Rec.	Rec.	COMP	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition		
目標	Objective		日本語で小論文を書くために必要な知識を習得し、作文能力を高める。		To improve knowledge and skills of Japanese essay writing	
授業内容	Description		<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙や句読点、記号の使い方 ・小論文に合う文体、文型、語彙 ・文章の構成 ・段落構成 ・意見と事実を分ける ・文章の要約など 添削は個人指導を行う。		<ul style="list-style-type: none"> ・ Basic rule in writing a composition ・ For writing essays in Japanese sentence style, and sentence pattern a vocabulary ・ Construction of a composition ・ Paragraph structure ・ Description of opinions and a fact ・ To summarizing Your composition will be corrected by one to one tutoring.	
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『大学で学ぶための日本語ライティング』 The Japan Times よりコピーして配布			『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク		出席 30%、課題 70% participation 30%, assignment 70%	

授業題目	レポートを書く人の作文コース —中級学習者のための— Japanese Academic Writing —for intermediate level learners—		
担当講師名	小南 淳子	KOMINAMI	
Course No.	JPN 315.04	J/MM COMP	日本語実習 3D 中級作文 Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition
目標 Objective	<p>レポート・小論文を書くために</p> <p>(1) それぞれのテーマに必要な語彙を学ぶ。 (2) レポートに適した文章表現と段落の組み立て方を学ぶ。 (3) 資料や文献を引用する場合に必要な要約のしかたを学ぶ。</p> <p>授業は次の内容で行う。</p> <p>(1) 各自の興味に基づきテーマについて、必要な資料を集めたり、アンケートやインタビューを行う。 (2) 他の人の考えを知るためにクラスディスカッションをする。 (3) 新聞記事、博物館や美術館のリーフレット、和菓子や伝統工芸についてのパンフレットなど実際に使われているものを用いて、要約の練習をする。 (4) レポートに適する文章表現と段落の組み立て方を学び、作文を書く。 (5) クラスメートの作文を読んで、文章を訂正する。</p> <p>添削は、個人指導を多く行う。 毎週、作文や要約の自習課題がある。</p> <p>* 授業での積極的な活動と課題提出が重要である。</p>		
授業内容 Description	<p>The aim of this course is to develop your writing ability for academic papers.</p> <p>(1) You will increase your vocabulary on various topics. (2) You will learn how to make coherent papers with proper structure. (3) You will learn how to summarize in limited words.</p> <p>The activities in this class are</p> <p>(1) to gather materials on self-interested topics and send out questionnaires (2) to discuss various topics and listen to other classmates (3) to summarize real leaflets and brochures (4) to learn how to make proper structure for an academic paper (5) to read and analyze papers written by others or yourselves.</p> <p>Your composition will be corrected by one to one tutoring. Weekly writing and summarizing assignments will be given.</p> <p>* Positive attitude is very important.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
倉八順子『日本語表現の教室中級—語彙と表現と作文』古今書院 (2005) Junnko Kurahachi. Nihongohyouden no Kyoushitsu, Kokonsyoin, 2005	木下是雄 ちくま学芸文庫『レポートの組み立て方』筑摩書房 (1994) Koreo Kinoshita. Report no kumitatekata, Chikumasyobo, 1994		学期末試験：20% 平常点：80% (授業参加と課題提出) Term examination (20%) Participation (80%); Class attendance, Exercises and Assignments
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	日本語作文 (中級後期)			Japanese Writing (Intermediate: advanced)	
担当講師名	藤家 智子	FUJIE			
Course No.	Fri. 3	J/MM COMP	日本語実習 3D Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition	中級作文	
目標	①社会現象、文化的なテーマなどについて800字程度で説明できるようになる。 ②事実となる客観的根拠を示して800字程度の意見を書くことができるようになる。	1. Social phenomena and cultural topics will be used as themes for compositions of about 800 characters 2. Description of facts, objective evidence and expressing one's opinion on a subject will be practiced			
Objective	中級後期の日本語学習者を対象に、モデル文を見ながら論理的な文の展開の仕方を学ぶ。 ・社会的な仕組み、現象、問題を取り上げて説明文や意見文を書く。 ・授業では、以下のようなテーマについて書くための活動を数回に分けて行う。	・ Targeted at students of intermediate advanced level. Model sentences will be used as a point of reference for writing logically structured papers ・ Social phenomena and various topics will be discussed and written on The following topics will be covered in this course:			
授業内容	①論理的な文の展開の仕方を、モデル文を見ながら学ぶ。 ②社会的な制度や仕組みの説明、社会現象の説明、引用や要約の仕方を学ぶ。 ③明確な根拠を示して意見文を書く練習をする。 ④宿題で、600～800字の作文を4、5回書き、その書き直しなども宿題となる。	1. Learning how to write in a logical order (with the help of model texts) 2. Providing explanations on social systems and frameworks, social phenomena; practicing citing and summarizing			
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
留學生のためのここが大切 文章表現のルール』石黒圭・筒井千絵著 (スリーエーネットワーク)	『大学・大学院留學生の日本語②作文編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著 (アルク) 『留學生と日本人學生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 二通信子他著 (東京大学出版会)			評価は出席率、課題、授業中の参加状況などを基準にする。 Grading will be based upon regular attendance, active participation, homework and tests.	

授業題目	「フォーマルな日本語」と「カジュアルな日本語」 両方の聞き取り The Formal and The Colloquial, Listening Comprehension of Both Styles of Japanese Speech		
担当講師名	十川 理絵 SOGAWA		
Course No.	JPN 316.02	実習 Rec.	J/MM LIS
日 標 Objective	<p>会議やニュースなどで使用される「フォーマルな日本語」と、日常生活の中で日本人同士が実際に話している速い速度の「カジュアルな日本語」、これらが両方とも聞き取れるようになること</p> <p>① 日本の文化や習慣に関する会話教材で、「フォーマルな日本語」と「カジュアルな日本語」の両方が使用 されている少し長めのものの、概要を理解する練習をする。</p> <p>② 日常生活の中で日本人同士が実際に話している「会話」で使用される日本語表現のルールを学習し、聞き 取り練習をする。</p> <p>③ 短いテレビ番組（アニメなど）を使用し、速い速度の会話を聞き取る練習をする。</p> <p>④ 話せないことは聞き取れない。よって、講師とできるだけ多く「カジュアルな日本語」で会話をする。</p>	日本語実習 3E Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension	<p>To improve listening skill so as to follow and understand the formal style of Japanese speech at a meeting and in news broadcasta, and the colloquial style of Japanese speech used by Japanese native speakers in daily conversations.</p> <p>① Listening longer conversation materials on Japanese cultures and customs,in which both of the formal and the colloquial style of Japanese speech are used, students will practice catching the mail point of the materials.</p> <p>② Students will learn commom linguistic and cultural rules in daily conversations and practice listening conversations between native Japanese speakers.</p> <p>③ Useing short audio-visual materials,such as animated cartoons, students will practice listening to get used to the Japanese spoken in the natural and rather faster speed.</p> <p>④ One cannot hear and catch what he cannot say by himself. Therefore,students will be provided with opportunities to speak Japanese and talk with the instructor in Japanese as often as possible in the class.</p>
授業内容 Description			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
以下のテキストよりプリント配布 ① 富坂容子『新装版 なめらか日本語会話』(2005) アルク ② 梶本総子・宮谷淳美『日本語生中継 中～上級編』(2011) くろしお出版 Handouts from		『日本語能力試験 N1・N2 28 日完成 試験に出る聴解』(2010) 桐原書店	<p>評価方法 Manner of Assessment</p> <p>授業参加 (80%) と学期末試験 (20%) Attendance (80%), Final examination (20%)</p>

授業題目	Title			Listening Comprehension for intermediate Japanese learners.		
担当講師名	Instructor (s)			NISHIMURA		
Course No.	Wed. 3	実習	J/MM	日本語実習 3E	中級聴解	
JPN 316.04	Rec.	Rec.	LIS	Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension		
目標	Objective			The aim of this class is helping intermediate Japanese learners to improve Japanese listening comprehension.		
授業内容	Description			We will practice listening Japanese using the following materials;		
				以下のような教材を用いて日本語を聞きとる練習を行います。 1. テレビ番組 (ドキュメンタリー、アニメ、バラエティ番組など) 2. 映画 3. 聴解練習用の CD		
				1. TV programs (e.g. documentary, anime, variety show) 2. movies 3. CDs for listening exercise		
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト	handouts			代表・松本節子『実力アップ 日本語能力試験 N2 聞く』ユニコム (2011) 宮城幸恵・太田淑子・柴田正子・牧野恵子・三井昭子『新毎日の聞き取り 50 日 上・下』凡人社 (2007)		
				授業参加 50%、課題 50% Class participation (50%), assignments (50%)		

授業題目	Title			Listening Comprehension for Intermediate Learner	
担当講師名	Instructor (s)	新 聖子	ATARASHI		
Course No.	Thu. 5	実習 Rec.	J/MM LIS	日本語実習 3E 中級聴解	Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	生活場面における一般的な事項について、話の流れを理解したり、ポイントがつかめるようにする。		Learners to follow the ideas and understand the essential points of the materials about general matters in everyday situations		
授業内容 Description	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な会話やニュース教材などを使って、内容を聞き取る力をつける。 ・聴解練習を通して日本語力を向上させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ to build up listening comprehension by using materials such as conversations spoken at a natural speed and easy styled news reports ・ to improve Japanese proficiency through listening tasks 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
ハンドアウト配布 handouts		宮城幸枝 他 (2013) 『新毎日の聞き取り 50 日上』 凡人社 瀬川由美 他 (2013) 『中級から始めるニュースの日本語聴解 40』 スリーエーネットワーク ボイクマン総子 他 (2006) 『日本語生中継 初中級編 1、2』 くろしお出版	授業出席 (60%)、学期末試験 (40%) class participation (60%), final examination (40%)		

授業題目	多聴—スピーチから会話まで— Extensive Listening -from Speech to Conversation-		
担当講師名	田中 真衣	TANAKA. M	
Course No.	実習 Rec.	J/MM LIS	日本語実習 3E 中級聴解 Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	さまざまなタイプの日本語を聞き、その特徴を理解しながら日本語聴解能力を高める	To develop listening skills to comprehend Japanese at natural speed	
授業内容 Description	以下のようにスピーチ、ニュース、インタビュー、会話などの聴解練習を行う。 1) 短い内容のものを聞き、その特徴を見つけ出す 2) 長めの聴解を行い、その内容を理解する 3) 聞いた内容について意見交換する	You will do listening exercises using speech, news, interviews and conversation etc. 1) To listen short content and figure out the features 2) To listen longer content for further comprehension practice 3) To exchange opinions based on those activities	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
授業時にプリントを配布する Materials distributed in the class		瀬川由美他 (2013) 『中級からはじめる ニュースの日本語 聴解 40』 スリーエーネットワーク 大飼康弘 (2007) 『聴解・発表ワークブック：アカデミック・スキルを身につける』 スリーエーネットワーク他、授業で扱うテーマに合わせて指示する。 Segawa, Yumi et al. (2013). Chukyu kara hajimeru nyusu no nihongo choukai 40. 3A Corporation. Inukai, Yasuhiro (2007). Chokai, happyou work book: academic skill wo mi ni tsukeru The other reference introduced in the class depending on topics.	評価方法 Manner of Assessment 出席 (50%)、課題 (40%)、小テスト (10%) participation (50%), assignments (40%) and quizzes (10%)

授業題目	Title			Intermediate Japanese Conversation		
担当講師名	Instructor (s)	日比 伊奈穂				
Course No.	Wed. 1	実習	J/MM	日本語実習 3F	中級会話	
JPN 317.02	Rec.	CONV	Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation			
目標	Objective	<p>相手や場面に応じて適切な表現で話せるようになることを目的とする。</p> <p>The aim of this class is to speak Japanese in appropriate expressions according to given situations.</p>				
授業内容	Description	<p>日常生活の中で遭遇するさまざまな場面で用いられる会話表現を学ぶ。そして、学んだ表現を使って会話の練習を行い、適切な表現で意思疎通できる技術を身につける。</p> <p>In this class, you will learn various expressions which are used in daily life. You will acquire appropriate communication skills by practicing conversation.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
ボイクマン総子他 (2006) 『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初級編 1』 ころしお出版	ボイクマン総子他 (2006) 『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初級編 2』 ころしお出版			平常点 (60%) + 学期末試験 (40%)	Participation (60%) + Examination (40%)	

授業題目	日本語発音レッスン			Japanese Pronunciation Exercises	
担当講師名	古江 尚美	FURUE			
Course No.	Wed. 3	実習	J/MM	日本語実習 3F	中級会話
JPN 317.04	Rec.	CONV	Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation		
目標	日本語の正確で自然な発音を身につけて、コミュニケーション能力を高める。		To improve communicative skills in Japanese through pronunciation exercises.		
Objective	日本語の音韻について体系的に学び、正確で自然な日本語が話せるように、実践的な練習をします。日本語の拍やアクセント、イントネーションなどについて学びながら、自分の考えや気持ちを的確に相手に伝えられるよう、練習を重ねます。		In this class you study systematically the sounds of the Japanese language and practice to speak Japanese naturally. Also you learn Japanese mora, accent and intonation, for communication.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法
ハンドアウト配布。 戸田貴子『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク (2004) Handouts.		中川千恵子他『さらに進んだスピーチ・プレゼンのための日本語発音練習帳』ひつじ書房 (2009) 金田一春彦監修『新明解日本語アクセント辞典』三省堂			平常点 50%、学期末試験 50% Participation 50%, Final test 50%
Manner of Assessment					

授業題目	スピーチ & ディスカッション			Speech & Discussion
担当講師名	菅 ひろみ	KAN		
Course No.	実習 Rec.	J/MM CONV	日本語実習 3F 中級会話	Intermediate Japanese: Conversation
目 標 Objective	Thu. 2	<p>The aims of this class are:</p> <p>1) To be able to speak on specific topics using content and organized structure.</p> <p>2) To learn basic skills and useful expressions of discussion.</p>		
授業内容 Description	以下の活動とそのために必要な練習をします。	<p>In this class, we have the activities below:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Make a speech on a specific topic. ・ Discuss various topics. ・ Present a topic of your choice and exchange opinions with the other students. 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
授業内容に合わせてプリントを配布 Handouts		黒崎典子編著 (2012)『中級 日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』凡人社 黒崎典子編著 (2013)『もっと 中級 日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』凡人社		平常点 (60%)、口頭発表 (40%) Participation (60%), Presentation (40%)

授業題目	話し言葉と書き言葉 Spoken Japanese and Written Japanese		
担当講師名	原田 佳代子	HARADA	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4A 上級文法
JPN 410.02	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標	<p>(1) 日本語文法の重要事項を整理、再確認する。 (2) 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、より高度な表現を習得する。</p>		
Objective	<p>まず、これまでに習得した日本語文法についての知識を確認しながら重要な文法事項を整理する。特に話し言葉と書き言葉の違いを理解し使い分ける能力を養う。</p>		
授業内容	<p>主な学習項目は次の5つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙 2. 文体 3. 省略のルール 4. 助詞と助詞相当語 5. 自動詞と他動詞 		
Description	<p>Topics covered in this class are below.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Vocabulary 2. Style 3. Grammar of Omission 4. Particles and Compound Particles 5. Transitive Verbs and Intransitive Verbs 		
テキスト	ハンドアウトを配布 アカデミック・ジャパニーズ研究会『大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』アルク、2001年 富阪容子『なめらか日本語会話』アルク、2005年	参考書	成山重子『日本語の省略がわかる本』明治書院、2009年 吉田妙子『たのしい日本語作文教室 I 改訂版』大新書局 (台北)、2008年 吉田妙子『たのしい日本語作文教室 II 改訂版』大新書局 (台北)、2007年
Textbook (s)	Bibliography		評価方法
	Manner of Assessment		<p>期末試験(50%)、小テストおよび課題(50%) Grade will be based on final examination (50%) and assignments (50%).</p>

授業題目	Title	Advanced Japanese Grammar		
担当講師名	Instructor (s)	田中 恵子		
Course No.	Wed. 1	J/MA	実習	日本語実習 4A 上級文法
JPN 410.04	Rec.	SP	Rec.	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標	Objective	日本語能力試験 N1 レベルの文法の習得		
授業内容	Description	<p>文法が実際にどのようなに使われているかを学習した後、練習や短文作成を行う。</p> <p>日本語能力試験の出題形式に合わせた問題を解き、文法項目の再確認をする。</p> <p>毎週、確認のための小テストを実施する。</p>		
目的	Objective	To learn advanced level grammar for N1 of the Japanese Language Proficiency Test.		
内容	Description	Practice some exercises and making sentences, after learning how the grammar is actually used.		
確認	Confirmation	Review the grammar points in answering the questions which follow the same format as those that appear in the JLPT.		
評価	Evaluation	A review quiz will be given in every class.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト	Handouts	ABK 公益財団法人アジア学生文化協会『TRY! 日本語能力試験 N1 文法から伸ばす日本語』アスク出版 (2013)	友松悦子他『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク (2010)	授業参加 (30%) 小テスト (30%) 期末試験 (40%) Participation (30%) Quizzes (30%) Examination (40%)

授業題目	Title			上級日本語 - 言葉から文化を学ぶ -		Advanced Japanese: Words and Phrases concerning Japanese Culture	
担当講師名	Instructor (s)		SYOJI 莊司 育子				
Course No.	Wed. 4	実習 Rec.	J/MA SP	日本語実習 4A	上級文法	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar	
目標	Objective			To learn more specified words and expressions, which sometimes seem to be against grammatical rules. Students will get to know that Japanese cultural background lies behind the utterances.			
授業内容	Description			We will pick up curious and unfamiliar expressions from Japanese newspapers, magazines, commercial catch phrases and so on. Students will recognize that such words and phrases are derived from some evidence and knowledge in a specific field. The key words which will be introduced in this class are given as under.			
				<ol style="list-style-type: none"> 1. Word Formation (Compound Word, Derivative Word) 2. Onomatopoeia 3. Proverb 4. Dialect 5. Literary Style 6. Classic Japanese 7. Words and Phrases concerning Japanese Culture 			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment		
莊司育子 / 上級日本語 - 言葉から文化を学ぶ - CJLC 叢書 No.2 / 大阪大学日本語日本文化教育センター Ikuko SHOJI/JOKYU NIHONGO/CJLC Osaka University		金田一春彦『日本語（新版）上 / 下』岩波新書		授業参加（80%以上）及び学期末試験 Class participation and a final examination			

授業題目	Title		日本語言語学		Japanese Linguistics	
担当講師名	Instructor (s)		稲垣 和也	INAGAKI		
Course No.	Wed. 5	実習	J/MA	日本語実習 4A 上級文法		
JPN 410.08	Rec.	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	Objective		日本語の構造・体系を分析する力をやしなう。		This class aims to develop your academic skills for analyzing structures/systems of Japanese.	
授業内容	Description		この授業は日本語の文法を体系的に学ぶためのものである。日本語の音韻、形態、統語、統語、意味、運用について考えていく。		This class is designed for students who wish to study Japanese grammar systematically. We will consider phonology, morphology, syntax, semantics, and pragmatics of Japanese.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts		Tsujimura, Natsuko. 2014. An Introduction to Japanese Linguistics (3rd ed). Oxford: Wiley-Blackwell.			授業参加 (60%)、課題提出 (40%) Participation (60%) and assignment (40%)	

授業題目	Title	Advanced Japanese Grammar		
担当講師名	Instructor (s)	KAN		
Course No.	Thu. 1	実習	J/MA	日本語実習 4A 上級文法
JPN 410.10	Rec.	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標	Objective	<p>語彙を増やし、上級レベルの文法の定着を目指す</p> <p>記事やエッセイなどを読み、その中でどのような語彙や表現が使われているかを学ぶ。その上で、文章の内容を正確に理解できるようににする。また、練習問題や短文作成を通し、語彙や文法を正しく使えるようにする。</p>		
授業内容	Description	<p>The purpose of this class is to increase vocabulary and usage of advanced grammar.</p> <p>In this class students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> Learn how certain vocabulary and expressions are used and understand the meaning of the context through reading articles, essays and other texts. Practice making appropriate sentences using advanced grammar. 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
授業内容に合わせてプリントを配布 Handouts		友松悦子他 (2010) 『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』 アルク		平常点 (35%)、小テスト (15%)、中間 + 期末試験 (50%) Participation (35%), Quizzes (15%), Midterm & Final exam (50%)

授業題目	Introduction to Classical Japanese & Literature		
担当講師名	古文入門 足立 幸子	ADACHI	
Course No.	実習 Rec.	J/MA SP	日本語実習 4A 上級文法 Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標 Objective	この授業の目的は、日本古典文法の基礎を学び、やさしい古文を読むことによって、日本語及び日本文化への理解を深めようとするものである。		
授業内容 Description	この授業で扱う文法事項は以下の通りである。 (1) 第1週～第2週 導入と歴史的かなづかい (2) 第3週～第4週 品詞分解 (3) 第5週 - 第7週 動詞・形容詞・形容動詞の活用変化 (4) 第8週～第11週 助動詞 (5) 第12週～第14週 助詞 (6) 第15週 敬語など 授業は講義が中心となるが、適宜、理解確認のための課題が与えられる。また古文のリズムに慣れ、内容理解の一助ともなるよう、作品の音読にも配慮する予定である。		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
	古文入門 (本センター教材叢書No.41) CJLC textbook series No.41	・中村幸弘著『生徒のための古典読解文法』右文書院 (1989) ・国語教育プロジェクト編著『シグマ新国語便覧』文英堂 (2000) ・秋山虔他編『日本古典読本』筑摩書房 (1988)	評価方法
			Manner of Assessment
			授業参加 (60%)・学期末課題 (40%) class participation (60%), final assignment (40%)

授業題目	Title			もっと自由に自己表現 Make your Japanese more colorful!		
担当講師名	Instructor (s)		三登 由利子 MITO			
Course No.	Thu. 3	実習 Rec.	J/MA SP	日本語実習 4A 上級文法	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar	
目標 Objective	<p>使える表現や語彙の幅を広げること 話したり書いたりする上での文法的な正確さを高めること</p>			<p>In this course, students will be able to ; Broaden lexical repertoire including idiomatic expressions and colloquialisms. Acquire a high degree of grammatical accuracy in both speaking and writing.</p>		
授業内容 Description	<p>この授業では、今の日本社会のさまざまな話題を取り上げたテレビ番組を視聴し、それに関する本や新聞記事あるいは番組のスクリーンショットなどを読みます。そして、それらで使われている表現や語彙を学びます。さらに、番組の内容について意見を言ったり、書いたりすることで、学習した表現や語彙を正確に使えるようになることを目指します。</p>			<p>The activities in class will include watching TV programs portraying current Japanese society, reading related materials, discussion and writing. Useful expressions and vocabulary from the TV clips will be introduced, then students will have a chance to practice them in a discussion and/or by writing short comments on the topics raised in the TV programs.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
ハンドアウト配布 Handouts		石黒 圭・筒井千絵『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』（スリーエーネットワーク、 2009)	<p>評価方法 Manner of Assessment</p> <p>平常点 (30%)、中間試験 + 学期末試験 (70%) Class participation (30%) Midterm examination + Final examination (70%)</p>			

授業題目	Introduction to Classical Chinese		
漢文入門	MANDA		
担当講師名	茨田 通俊	J/MA SP	日本語実習 4A 上級文法 Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
Course No.	Fri. 1		
JPN 410.16			
目標	中国古典を原形を生かしながら日本語として読む方法（訓読）に習熟し、いくつかの作品に触れることで広く漢文に親しむことを目的とする。		
Objective	The purpose of this course is to learn the traditional way of rendering classical Chinese into Japanese, and to familiarize students with the Chinese literary heritage through selected classical works.		
授業内容	Topics covered in the course are as below.		
Description	<p>授業で扱う項目は以下の通りである。</p> <p>(1) 第1週 - 2週 訓読法（中国古典を日本語として読む方法）</p> <p>(2) 第3週 - 4週 返読文字（下から返って読む文字）</p> <p>(3) 第5週 - 6週 再読文字（二度にわたって読む文字）</p> <p>(4) 第7週 - 8週 置き字（読まない文字）</p> <p>(5) 第9週 - 12週 故事（昔から伝えられる言葉のいわれ）</p> <p>(6) 第13週 - 14週 漢詩（中国の古典詩）</p> <p>(7) 第15週 試験</p> <p>授業は、まず教科書に従って各項目の解説が行われる。受講生は、漢文作品を繰り返し読み返して読むことが求められ、項目ごとの練習問題が宿題として課される。</p>	<p>(1) Weeks 1-2 method of Kundoku</p> <p>(2) Weeks 3-4 Hendoku-character (later read characters)</p> <p>(3) Weeks 5-6 Saidoku-character (twice read characters)</p> <p>(4) Weeks 7-8 Okiji-character (not read characters)</p> <p>(5) Weeks 9-12 stories handed down from ancient times</p> <p>(6) Weeks 13-14 classical Chinese poems</p> <p>(7) Week 15 examination</p> <p>Every topic is explained according to the textbook. Students are required to practise reading the texts in class and assigned some homework.</p>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
『漢文入門』 大阪外国語大学留学生日本語教育センター (2002)	馬場武次郎著 『句形整理 基礎からわかる漢文』 日栄社 (1975)		
Kanbun Nyumon. Center for Japanese Language, Osaka University of Foreign Studies (2002)	Baba, Takejiro Kukei Seiri Kiso kara wakaruru Kanbun. Nichieisyu (1975)		
		評価方法	Manner of Assessment
		試験 (90%) 平常点 (出席と宿題) (10%) examination (90%) participation (attendance & homework) (10%)	

授業題目	Title			Verbs for expression-rich Japanese	
担当講師名	Instructor (s)		ATSUTA		
Course No.	Fri. 4	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法
JPN 410.18	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	より豊かな表現力を身につけるために、既に日常的に使っている動詞を、形・意味・機能という点から整理し、使い方の幅を広げる		To review the verbs already used on a daily basis regarding their form, function and meaning and to acquire an even broader set of skills for expression-rich usage.		
Objective	①このクラスでは主に次の文法項目を学習する。 ・自動詞・他動詞 ・受身 ・使役 どんなルールがあるのかいっしょに考えながら、効果的に使えるように練習する		1) This class mainly focuses on the following three grammatical topics: - transitive and intransitive verbs - passive form of verbs - causative form of verbs Class participants will discuss together which grammatical rules apply and practice how to effectively use these verbs.		
授業内容	②よく知っている動詞にどんな表現や連語があるのか、また、形や意味の似ている動詞の使い分けと使い方を、辞書を使って主体的に学ぶ。		2) Using a dictionary, students will actively investigate expressions and phrases containing well-known verbs as well as the different usage of verbs similar in form or meaning.		
Description					
ハンドアウト Handouts	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
			安藤節子・小川誉子美『自動詞・他動詞・使役、受身ーボイスー』スリーエーネットワーク (2001)		授業参加 (40%)、課題提出 (60%) Participation (40%), Assignments (60%)

授業題目		Advanced Level Kanji for Japanese Proficiency Test Level N1			
日本語能力試験に向けた漢字練習		日本語能力試験に向けた漢字練習			
担当講師名	Instructor (s)	KITAGAWA			
Course No.	Tue. 2	実習	J/MA	日本語実習 4B 漢字研究	
JPN 413.04	Rec.	Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標	この授業では間違いやすい漢字の使い方を学習する。 日本語能力試験 N1 に備える。	The aim of this class is to prepare for Japanese Language Proficiency Test Level N1 through mastering the usage of kanji.			
Objective	毎回、間違いやすい同音異義語や同訓異義語を中心に漢字の由来・意味・用法を学ぶ。	Every week we will learn origins, meanings and usage of the advanced level kanji, studying chiefly difficult homonyms.			
授業内容	新聞記事を読んで、漢字の実際的な使われ方を確認する。	To master the reading of kanji, we will read some articles of newspapers.			
Description	また同時に、現在の日本で話題になっている事象に触れ、現代日本社会の一面について考察する。	Through reading them, we can also know what's now hot in Japan and think about some aspects of modern Japanese society.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
佐々木仁子、松本紀子『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N1 漢字』アスク (2010) 日本経済新聞：日経 Plus1 Nikkei Plus1	日	JLPT [編]『日本語能力試験公式問題集』凡人社 (2012)		平常点 (50%)、期末テスト (50%) Participation (50%), final examination (50%)	

授業題目	Title	表外漢字		NON-JOYO-KANJI	
担当講師名	Instructor (s)	國方 栄二		KUNIKATA	
Course No. JPN 413.06	Wed. 1	実習 Rec.	J/MA K	日本語実習 4B 漢字研究 Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標 Objective	この講義は日常生活において使われる表外漢字（およそ 1000）を習得し、日本語文の読解および作文能力を育成することを目標とします。		The purpose of this course is to better understand NON-JOYO-KANJI used in everyday life (about 1000) and to extend your ability of reading or writing Kanji.		
授業内容 Description	◎毎回 40 個の漢字を学習します。		Every week you learn 40 Kanji and some quizzes are		
	◎毎回前回学習分の小テストがあります。		given in order to check your mastery.		
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography	
ハンドアウト handouts		『中・上級学習者のための漢字と語彙』（ジャパントイムズ） A study system for intermediate & advanced learners kanji in context, The Japan Times		評価方法	
				Manner of Assessment	
				定期試験 (50%)・平常点 (50%) examination (50%) & participation (50%)	

授業題目	上級漢字 (日本語能力試験 N1 レベル) Advanced Level Kanji for the Japanese Language Proficiency Test		
担当講師名	田中 恵子	TANAKA. K	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4B 漢字研究
JPN 413.08	Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目 標 Objective	日本語能力試験 N1 レベルの漢字に備える To prepare for Level N1 of the Japanese Language Proficiency Test		
授業内容 Description	日常生活で目にする文章を読み、漢字の意味と用法を学習する。 Learn the meaning and usage of kanji through reading various documents in daily life. 毎週、前回の復習テストを行う。 A review quiz will be given in every class.		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
Handouts	佐藤尚子 『留学生のための漢字の教科書 上級 1000』 国書刊行会 (2011) 石井怜子他 『新完全マスター漢字 日本語能力試験 N1』 スリーエーネットワーク (2010)		授業参加 (30%) 小テスト (30%) 期末試験 (40%) Participation (30%) Quizzes (30%) Examination (40%)
Textbook (s)			Manner of Assessment

授業題目	Title			上級漢字 (日本語能力検定 N1 レベル) Advanced Level Kanji for Japanese Proficiency Test Level N1			
担当講師名	Instructor (s)			西村 多恵 NISHIMURA			
Course No.	Wed. 4	実習	J/MA	日本語実習 4B	漢字研究		
JPN 413.10	Rec.	Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji			
目標	Objective			The aim of this course is to master advanced level kanji (Japanese Proficiency Test Level N1).			
授業内容	Description			We will learn writings and usage of kanji, focussing on homonyms and kanji with special readings. A review quiz will be given every week.			
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography	評価方法	
ハンドアウト	handouts			<p>松本節子・星野恵子『日本語能力試験まともて覚える! 漢字単語ドリル1級』ユニコム (2008)</p> <p>星野恵子・辻和子『ドリル&ドリル日本語能力試験 [N1 文字・語彙]』ユニコム (2012)</p>			<p>授業参加 20%、小テスト 40%、期末試験 40%</p> <p>Class Participation 20%, weekly quizzes 40%, final examination 40%</p>

授業題目	Title	上級漢字	Kanji for advanced level	
担当講師名	Instructor (s)	山中 延之	YAMANAKA	
Course No.	Thu. 1	実習	J/MA	日本語実習 4B 漢字研究
JPN 413.12		Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目標	N2～N1レベルの重要な漢字・熟語の意味を理解することができ るようになる。さらに、それらの漢字・熟語を文体に合わせて適 切に使えるようになる。		Our goal is to learn the compounds and characters of Kanjis for The Japanese-Language Proficiency Test N2-N1 level. It is also to use kanjis correctly adjusting to situations.	
Objective	N2レベル (1000 字、8000 語)・N1レベル (2000 字、10000 語) の漢字語彙を学ぶ。現代日本語の漢語語彙は、語彙全体の約 40～ 50%とされる。したがって、N2レベルで4000 語程度、N1レベ ルで5000 語程度の漢語語彙を学ぶ必要がある。もちろん、この授 業でそのような語彙全体を学ぶことはできない。重要な漢字・熟 語を効率よく学ぶ。		We learn vocabulary formed of kanjis for The Japanese-Language Proficiency Test N2 level (1,000 characters, 8,000 words), or N1 level (2,000 characters, 10,000 words). The kanji-vocabulary seems to be about 40-50% of the whole vocabulary. So You need to learn about 4,000 words in N2, and 5,000 words in N1. Of course, we will learn important words efficiently.	
授業内容	Description			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト		アルク日本語書籍編集部編『改訂版 日本語能力 試験漢字ハンドブック』(2011年4月、アルク)		授業内活動 (小テスト等) (30%)、期末テスト (70%) Works in class (Quiz, etc.) 30%, Final Examination 70%
Handouts				

授業題目	Title		上級漢字		Advanced Kanji
担当講師名	Instructor (s)		伊藤 智博		
Course No.	Fri. 1	実習	J/MA	日本語実習 4B 漢字研究	
JPN 413.14	Rec.	Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標	Objective		漢字を読む能力と書く能力の向上を目指します。		
授業内容	Description		その漢字を使った言葉やよく使う表現を学びます。		
			The purpose of this course is to extend your ability of reading or writing Kanji.		
			You will acquire useful expressions,vocabularies in Kanji.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
加納 千恵子 他 (2001) 『INTERMEDIATE KANJI BOOK VOL.2』	Kano Chieko (2001) 『INTERMEDIATE Kanji Book vol.2』				
		評価方法	Manner of Assessment		
		平常点 (50%) 試験 (50%)	participation (50%) examination (50%)		

授業題目	Title			上級漢字 (N1 レベル) Advanced Japanese Kanji(Level N1)		
担当講師名	Instructor (s)			樋口 尊子 HIGUCHI		
Course No.	Fri. 2			実習 J/MA		
JPN 413.16	Rec.			漢字研究 K		
目標	Objective			The aim of this course is to master advanced level kanji. (JLPT N1)		
授業内容	Description			<p>日本語能力試験N1レベルの漢字の習得を目指す。</p> <p>①よく似ている漢字、同音異義語、間違えやすい漢字、特別な読み方の漢字などを整理する。</p> <p>②日常生活で使用するパンフレットや雑誌などを用いて使われ方を確認する。</p> <p>③日本語能力試験N1レベルの問題を宿題とする</p>		
				<p>1. To master the Kanji of various kinds.</p> <p>2. To master the reading of Kanji, we will read magazines and poster.</p> <p>3. Exercises for the JLPT Level1 will be assigned as homework.</p>		
	テキスト			評価方法		
	Textbook (s)			Manner of Assessment		
プリントを配布 Handouts	<p>参考書 Bibliography</p> <p>石井怜子他(2010)『新完全マスター漢字日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク、佐々木仁子他(2010)『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N1 漢字』アスク</p>			<p>授業参加及び課題(30%)、小テスト(30%)、期末テスト(40%)</p> <p>Participation and Assignments (30%), weekly quizzes (30%), final examination (40%)</p>		

授業題目	日本文明の鍵を読み解く The Civilization of Japan		
担当講師名	久保田 ゆかり	KUBOTA	
Course No.	Mon. 2	J/MA RDG	日本語実習 4C 上級読解 Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目標 Objective	<p>この授業では、日本文明に関するエッセイを講読する。これにより、高度の日本語読解能力を習得するとともに、日本社会への見識を深めることを目的とする。語彙力を鍛え、表現技法を学びながら、論理展開を効率よく把握する訓練を行う。また、日本の主要都市の成り立ちや役割を通して、現代日本文明の諸相を歴史的な展望の中で考察する。</p> <p>Through reading essays on the civilization of Japan, this course is designed to help students not only acquire advanced their reading comprehension, but also broaden their knowledge about contemporary Japanese society. Enriching their vocabulary and acquiring useful expressions, students will try to effectively grasp logic and structure of Japanese texts. They will also examine various aspects of the civilization of Japan from the viewpoint of "Japanese cities" in the historical context.</p>		
授業内容 Description	<p>授業で扱うトピックとスケジュールは次の通り。</p> <p>第1週：群馬 第2週：四季 第3週：奈良 第4週：京都 第5週：自由都市 第6週：江戸 第7週：大坂 第8週：鎮国 第9週：長崎 第10週：旅行 第11週：東京 第12週：札幌 第13週：広島 第14週：学期末テスト 第15週：テスト返却・解説</p> <p>The schedule of this course is as follows: Week 1: Japanese archipelago Week 2: Four seasons Week 3: Nara Week 4: Kyoto Week 5: Free city Week 6: Edo Week 7: Osaka Week 8: Isolation Week 9: Nagasaki Week 10: Travel Week 11: Tokyo Week 12: Sapporo Week 13: Hiroshima Week 14: Term examination Week 15: Comments</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
コピーを配付。 Handouts		梅棹忠夫編著『日本文明 77 の鍵』文春新書（2005年）。 宮原彬編『留学生のための時代を読み解く上級日本語』スリーエーネットワーク（2006年）。	授業への出席と参加度（40%）、学期末試験（60%）。 Grade will be based on class participation（40%）and term examination（60%）.

授業題目	日本文化を読み解く To learn the cultural aspects of Japan through the reading.		
担当講師名	取屋 淳子	TORIYA	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C 上級読解
JPN 414.04	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目標	<p>ポピュラーカルチャーなどを含む日本文化に関する論文やエッセイ、小説などを読み、日本文化のより深い理解につなげていく。</p> <p>Designed to improve reading skills through the various types of readings (articles, essays, short stories, and popular songs). This course aims to improve student's understandings of Japanese popular culture including ANIME, Japanese pop music, and movies.</p>		
授業内容	<p>授業では、日本文化に関する論文などを読み、そこから日本人の習慣や価値観などを考えていく。日本文化の論文をはじめ、日本の歌、アニメや日本映画に関するものを中心に取り上げていく。意見発表やディスカッションなども積極的にこなしていく。</p> <p>This course looks at the way Japanese society and popular culture formed. Through reading papers and discussing social and cultural elements, students will create a picture of Japan as it is today.</p>		
Description			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
教材配布	Handouts and copies	<ul style="list-style-type: none"> ○西原・井上・吉田 著『上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む』（財）京都日本語教育センター（2008）アルク ○平野供余子 著『日本の映画史ー10のテーマ』（日本研究シリーズ2）（2014）くろしお出版 	<p>評価方法</p> <p>平常点 (50%) とレポート (50%) Participation (50%) and Final report (50%)</p>

授業題目	近代日本の絵はがきを読む			Reading the Picture Postcards of Modern Japan	
担当講師名	乾 由紀子		INUI		
Course No.	実習		J/MA		
JPN 414.06	Rec.		RDG		
目標	1. 学術的な著作としても一般読者を対象とした著作としても優れたエッセイを読み、日本語の読解力と感性をさらに磨く。 2. 絵はがきを通じて近代日本の文化、歴史、社会についての見識を深める。				
Objective	絵はがきの収集家であり建築史・都市文化論の専門家による、新聞に掲載された短いエッセイや関連のエッセイを精読・速読する。 19世紀末から20世紀初頭にかけての世界的な絵はがきの流行のなかに位置づけられる日本の絵はがきの意匠を鑑賞する。 関西を中心とする祭りや季節の行事(時代祭、運動会など)、災害、万国博覧会、戦争等のテーマの絵はがきを取り上げる。それらの背景にある文化や社会情勢について、映像資料も参考にしながらディスカッションを行い理解を深める。希望により博物館見学も取り入れたい。				
Description	Students will practice reading both rapidly and closely using the collected short essays on picture postcards which first appeared in the newspaper. The essays were written by an academic expert of Architectural History and Urban Culture. Most of the postcards treated in the course were published in Japan between the late 19th and early 20th century, in the period that the world-wide craze for picture postcards sprang up. They show distinctive designs of the age. Audio materials and discussions will help understand the functions of postcards depicting festivals and other seasonal events, disasters, wars, expositions, etc. and their social and cultural backgrounds. A museum visit is optional.				
テキスト	Textbook (s)		参考書		Bibliography
教材配布。	Handouts and copies		橋爪紳也『絵はがき100年 近代日本のビジュアルメディア』朝日新聞社 2006年。 橋爪紳也『絵はがきで読む大正』創元社、2010年。 細馬宏通『絵はがきの時代』青土社、2006年。 乾由紀子『イギリス炭鉱写真絵はがき』京都大学学術出版会、2008年。 ・HASHIZUME Shinya, Ehagaki Hyakunen (A Hundred Years of Postcards: Modern Japan's Visual Media), Asahi Shimbun Company, Tokyo, 2006. ・HASHIZUME Shinya, Ehagaki de Yomu Dai-Osaka (Reading Great Osaka in Picture Postcards), Sogensha, 2010. ・HOSOMA Hitomichi, Ehagaki no Jidai (The Golden Age of Picture Postcards) Seidosha, Tokyo, 2006. ・INUI Yukiko, Igrisu, Tanko Shashin Ehagaki(Photographic Postcards of British Coal Mining in the Early 20th Century) Kyoto University Press, 2008.		評価方法 Manner of Assessment
			授業参加(50%) 最終レポート(50%) Class participation 50%, Final essay 50%		

授業題目	Title	言語学入門	Introduction to linguistics	
担当講師名	Instructor (s)	藤原 敬介	FUJIWARA	
Course No.	Thu. 1	実習 Rec.	J/MA RDG	日本語実習 4C 上級読解 Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目標 Objective	この授業では、言語学にかかわる教科書をよむことをとおして、言語学の基礎的な知識を身につけ、日本語読解能力の向上をはかることを目標とします。		This course aims to provide students with a basic knowledge of linguistics.	
授業内容 Description	言語学とは、ことばについて研究する学問分野です。この授業では、哲学者と言語学者の対話をよみとく作業をとおして、認知言語学的なかんがえかたをまなびつつ、日本語読解能力の向上をはかります。留学生のみなさんの言語とも比較しながら、ことばの不思議を学びたいとおもいます。		Linguistics is the scientific study of language. In this course, you will learn basic ideas of cognitive linguistics through dialogue between a philosopher and a linguist. Intensive reading of the text will improve your reading skills too. You are also encouraged to provide relevant examples found in your mother tongue.	
テキスト	Textbook (s)	参考文献		評価方法
野矢茂樹・西村義樹・2013.『言語学の教室』中公新書. Noya Shigeki and Nishimura Yoshiki. 2013 Gengogaku no kyoositu. Tyuukoosinsyo.	なし None	Bibliography		Manner of Assessment
				授業への参加度 (50%) および試験 (50%) により評価します。 Class participation (50%) and examination (50%).

授業題目	日本政治における時事問題				Current events in Japanese Politics		
担当講師名	カルモナ・ダニエル・ウイリアム				CARMONA		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解			
JPN 414.10	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading				
目標	この授業の目的は日本の政治における時事問題について理解を深めることである。			The purpose of this class is to better understand current events in Japanese politics.			
授業内容	過去10年間にわたって、日本の政界は不安定になったと言われる。この不安定さは頻繁な首相交代や政治課題の変化などの中に見られる。この授業ではこういった変化の原因や歴史的な背景を探求し、日本政治思想の知識を養うことを目指す。授業で扱うテーマは、政党の間にある内部抗争、国際関係、環境問題、ヘルスケア制度改革、少子高齢化社会などの現在日本が抱える時事問題である。			Over the past ten years, the political world of Japan has been what some call unstable. This instability can be seen in repeated changes of Prime Ministers and political agendas. This course will explore the reason for these changes, as well as the historical backgrounds for them, and hopes to provide a better understanding of Japan's political thought. Our topics will concern issues that Japan is currently trying to handle: internal conflicts between political parties in Japan, international relations, environmental issues, health care reform, a fast aging society with a falling birthrate, and more.			
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
新聞の記事に基づくプリントやコピーを配布する。 Handouts and copies of newspaper articles will be provided.		読売新聞 朝日新聞 毎日新聞 The Japan Times Yomiuri Shimbun Asahi Shimbun Mainichi Shimbun The Japan Times		授業参加 (30%) 学期末試験 (70%) Class participation 30% Final examination 70%			

授業題目	日本語表現の方法と実践			Method and practice of Japanese expression	
担当講師名	坂田 達紀	SAKATA			
Course No.	Mon. 2	実習 Rec.	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標 Objective	<p>(1) 日本語文法の重要事項を整理・再確認する。 (2) より高度な日本語の表現のしかたを習得する。 (3) できるだけ多く日本語の文章を書く練習をする。</p>		<p>(1) To help students review and reconfirm important points in Japanese grammar. (2) To help students learn advanced Japanese expressions. (3) To help students practice writing as many Japanese sentences as possible.</p>		
授業内容 Description	<p>まず、これまでに習得した日本語文法についての知識を確認しながら、重要な文法事項を整理する。ついで、句読点の打ち方やレトリック、文章構成法等、日本語表現に必要な知識とスキルを、テキストの例文を参照しながら説明する。さらに、そうしたより高度な日本語表現を用いて実際に文章を書く機会をできるだけ多くもうけたい。</p>		<p>The course is designed to help students review and correct the Japanese grammatical knowledge which they already have. At the same time, students will study important Japanese grammar further. Moreover, students will be able to acquire the knowledge and skill necessary for Japanese expression, such as punctuation, rhetoric, composition, and so forth. We will refer to the textbook to aid in the mastery of many advanced expressions. The course will give students many opportunities to write in Japanese using these expressions correctly.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
吉村 穉編著『新訂 日本語と表現の工夫』 双文社 出版 (2005) Yoshimura, S. (ed.) Shintei Nihongo to Hyougen no Kufuu. Soubunshashuppan. (2005)		参考書は特に使用しない。 No bibliography will be used.		学期末試験 (50%)、平常点 (50%)、出席点を重視する。 Grades will be based on final examination (50%) and class participation (50%). Regular attendance is essential.	

授業題目	Title	アカデミック・ライティング Academic Writing		
担当講師名	Instructor (s)	出口 雅也 IDEGUCHI		
Course No. JPN 415.04	Mon. 4	実習 Rec.	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文 Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標 Objective	日本語で小論文を書くために必要な知識を習得し、作文能力を高める。	To improve knowledge and skills in Japanese essay writing.		
授業内容 Description	・原稿用紙の使い方、パラグラフの構成方法、ブレインストーミング、小論文によく使われる表現など、小論文を書くために必要な基礎知識を学習する。	You will learn basic knowledge and skills needed for writing essays in Japanese, such as how to use writing paper, how to organize a paragraph, brainstorming, expressions frequently used in essays.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
『小論文への12のステップ』からコピーして配布する。 Handouts from "Syooronbun e no 12 no suteppu".	友松 (2008). 『小論文への12のステップ』、東京、スリーエーネットワーク。 Tomomatsu (2008). Syooronbun e no 12 no suteppu, Tokyo: 3A Network.			平常点 (40%)、課題 (60%) Class participation (40%), Assignments (60%).

授業題目	レポートと論文を書く人のための上級作文コース			Japanese Academic Writing	
担当講師名	小南 淳子	KOMINAMI			
Course No.	JPN 415.06	実習	J/MA	日本語実習 4D	上級作文
	Wed. 3	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition	
目標	レポート・論文を書くために (1) 文献を引用するための要約の技術を身につける。 (2) 論理的で無駄のない文章表現と構成を学ぶ。			The aim of this course is to develop your writing ability for academic papers. (1) You will learn how to summarize in limited words. (2) You will learn how to make coherent papers with proper structure.	
Objective					
授業内容	授業は次の内容で行う。 (1) テキストを用いて、要約練習を行う。 (2) 各自のテーマについて必要な資料を集めたり、アンケートやインタビューを行う。 (3) 映画・ドキュメンタリー映像・新聞記事・資料・統計から、自分の考えをまとめる。 (4) 鋭い視点を身につけるために、討論を行う。 (5) 論文・レポートに適する文章構成を学び、作文を作成する。 添削は、個人指導を多く行う。 授業中に書く作文に加えて、毎週、要約や作文の自習課題がある。 * 授業での積極的な活動と課題提出が重要である。			The activities in this class are (1)to make summaries with textbook. (2)to gather materials on self-interested topics,and send out questionnaires (3)to get your ideas into shape by analyzing materials and satistics (4)to discuss various topics and acquire sharp eyes (5)to learn how to make proper structure for an academic paper. Your composition will be corrected by individual instruction. Weekly writing and summarizing assignments will be given. * Positive attitude is very important.	
Description					
テキスト	『上級作文のための要約トレーニング』 大阪大学日本語日本文化教育センター (2008) Atsuko Kominami.Summary Training for Advanced Learners,CJLC Osaka University,2008			参考文献	木下是雄 ちくま学芸文庫『レポートの組み立て方』筑摩書房 (1994) 保坂弘司 講談社学術文庫『レポート・小論文・卒論の書き方』講談社(1978) 高月喜美・小南淳子『一中・上級学習者のための一マスメディアの日本語読解』大阪大学日本語日本文化教育センター (2010) 西村多恵・高月喜美・小南淳子『一中・上級学習者のための一マスメディアの日本語読解(2)』大阪大学日本語日本文化教育センター (2012) Koreo Kinoshita. Report no kumitatekata. Chikumasyobo, 1994 Hiroshi Hosaka. Report shorobun soisuron no kakikata. Kodansha, 1978 Kimi Takatsuki. Atsuko Kominami. Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai. CJLC, Osaka University (2010) Tae Nishimura. Kimi Takatsuki. Atsuko Kominami.Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai (2). CJLC, Osaka University (2012)
テキスト	Textbook (s)	参考文献	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
				平常点：授業参加 (75%) 提出課題 (25%) Participation:Class attendance (75%) Exercises and Assignments (25%)	

授業題目	日本語でレポートや論文をかく			Academic Japanese	
担当講師名	Instructor (s)	FUJIWARA			
Course No.	Thu. 2	実習	J/MA	日本語実習 4D	上級作文
JPN 415.08	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition		
目標	この授業では、大学のレポートや論文でもちいられる学術的な日本語表現を身につけることを目標とします。				
Objective	This course aims to provide students with a practical knowledge of writing an academic paper in Japanese.				
授業内容	Literary Japanese is quite different from its colloquial counterpart. In this course, we will first focus on writing mistakes which foreign students tend to make and then, by correcting them, try to write Japanese in an academic style as much as possible.				
Description	書き言葉（文語体）の日本語は話し言葉の日本語（口語体）とかなりちがいます。 この授業では、留学生がまがえやすい日本語表現に留意しながら、学術的な場面でもちいられる日本語作文の練習をします。 ほぼ毎回課題をだす予定です。				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
プリントを配布します。 Handouts.	石黒圭・筒井千絵. 2009. 『留学生のためのここが大切文章表現のルール』 スリーエーネットワーク. 佐々木瑞枝ほか. 2001. 『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』 ジャパンタイムズ. ISHIGURO Kei and TSUTSUI Chie. 2009. Ryugakusei no tame no koko ga taisetu bunsyoo hyoogen no ruuruji. 3A Corporation. SASAKI Mizue et al. ~ 2001. Academic Japanese for International Students. The Japan Times.	評価方法	Manner of Assessment		
		授業への参加度 (50%) および課題提出 (50%) により評価します。 Class participation (50%) and writing assignments (50%).			

授業題目	映像を見て、文章を書く Watching Videos & Writing Compositions		
担当講師名	山本 一也	YAMAMOTO	
Course No.	Thu. 3	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文 Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目 標	ドキュメンタリー、映画、アニメーションなど、様々な映像を見てもらった上で、それらを描いたり論じたりする、比較的高度な文章を書いてもらいます。		
Objective	それによって、「話しことば」と「書きことば」の構文の構成力を高めることを目指します。さらに、「話しことば」と「書きことば」の違いや、「書きことば」特有の表現をきちんと習得してもらったことも目標としています。また、ただ文章を書くだけでなく、各トピックスを切り口にして、日本文化の特質についても考えてみたいと思います。		
授業内容	授業で扱う人物・素材は次のようなものを予定しています。		
Description	<ul style="list-style-type: none"> ①大植英次 ～奇蹟を起こす指揮者 ②水谷修 ～“夜回り先生” ③鉄拳 ～驚愕のパラパラマンガ・アーティスト ④陰陽座 ～“妖怪ハゲイメタル・バンド” ⑤山田風太郎 (作家) ～小説『甲賀忍法帖』を読み、アニメ『バジリスク』を見る ⑥伊坂幸太郎 (作家) ～映画「アヒルと鴨のコインロッカー」を見る ⑦岩井俊二 (映画監督) ～映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」を見る ⑧アニメ「もやしもん」～「癒し系」について考える ⑨映画「東海道四谷怪談」、映画「リング」、ドラマ「怪談新耳袋」～Jホラーについて考える ⑩映画「DOCUMENTARY of AKB48 少女たちは傷つきながら、夢を見る」～日本のアイドルについて考える ⑪映画「バトル・ロワイアル」(深作欣二監督)～暴力表現の問題について考える ⑫TV番組「探偵ナイトスクープ」～関西人のユーモアについて考える ⑬アニメ「しばわんこの和のころ」～日本の伝統文化を柴犬に習う 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
講師作成のテキスト	『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』(アルク、2001年) “Japanese for International College/Graduate Students ② Composition” ALC(2001)		
		評価方法	Manner of Assessment
		出席 (70%)+ レポート (30%) Participation (70%) + Reports (30%)	

授業題目	上級作文 Advanced Composition		
担当講師名	熱田 万美	ATSUTA	
Course No.	実習 Rec.	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文 Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標 Objective	Thu. 5 話しことばと同様、書きことばにもさまざまなバリエーションがあるが、目的、話題、相手などに応じて、柔軟に文体の使い分けができるようになることを目指す。そして書く作業を通じて「読みたくなくなる文章とは何か」ということを一緒に考える。	In the same way as the spoken language, the written language shows variations depending on purpose, topic and the kind of reader it is addressed to. This course intends to develop a good command of several writing styles and the ability to use them appropriately. Through the action of writing, students jointly explore what it means to create a text which is interesting for its readers.	
授業内容 Description	<p>* 次のような観点で、異なるスタイルの文章を読みそれぞれの文体的特徴を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書きことばらしい書きことば —— 論文らしい文体とは？ ・ 話しことばのように見える書きことば —— 生活の実感を伴った書きことば ・ 「読みやすい文章」とは何？ ・ 実際に書いてみよう —— 読み手が誰かを意識して書く練習 <p>えて書く練習</p> <p>* 授業内で映像、写真、文章などから得た情報を人に伝える文章、それについて自分の意見を述べる文章を書いてもらう</p>	<p>* Investigating various writing styles from the following points of view, students familiarize themselves with the properties of the different styles.</p> <ul style="list-style-type: none"> + What are the characteristics of academic writing (articles, essays, etc.)? + What are the characteristics of everyday writing (letters, emails, etc.)? + What makes a text easy to read ? + Writing practice: <ul style="list-style-type: none"> ++ composing a text intended for a specific kind of reader ++ composing a text for a specific purpose <p>* Students practice to compose texts with the purpose of conveying information and expressing their own opinions with respect to various sources and media, like videos, photographs and other texts.</p>	
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts		石黒圭・筒井千絵 『留学生のためのここが大切文章表現のルール』 スリーエーネットワーク (2009) アカデミック・ジャパニーズ研究会編著 『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』 アルク (2001)	授業参加 (50%)、課題提出 (50%) Participation (50%), Assignments (50%)

授業題目	Title			Misuse is reduced Advanced Japanese Composition		
誤用を減らす上級作文						
担当講師名	Instructor (s)	HIGUCHI				
樋口 尊子						
Course No.	Fri. 3	実習	J/MA	日本語実習 4D	上級作文	
JPN 415.14	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition			
目標	Improvement in the power to write is aimed at. When Writing a text in Japanese, a lesson is advanced paying attention to reducing the "misuse" acting as an obstacle.					
Objective	<p>書く力の向上を目指します。日本語で文章を書くときに障害となる「誤用」を減らすことに注目し、授業を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな種類の文章に挑戦します。(論文・作文・感想文・その他) ・毎回、講師が間違いを指摘します。 					
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ We will write various types of sentences. (essay, composition, report, others) ・ A lecturer points out a mistake every time. 					
Description						
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
プリントを配布	アカデミック・ジャパニーズ研究会編(2001)『大学・大学院留学生の日本語②作文編』(2002)『大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』アルク					
Handouts	佐々木他(2006)『日本語ライティング』ジャパントライムズ Academic Japanese Kenyukai(2001)『Japanese for International College/Graduate students 2 Composition』(2002)『Japanese for International College/Graduate students 4 Writing Essays』ALC.Sasaki et al.(2006)『Japanese Writing』The Japan Times					
評価方法	授業参加 (30%)、課題提出 (70%)		Participation (30%), Assignments (50%)		Manner of Assessment	

授業題目	上級日本語聴解			Advanced Listening		Comprehension
担当講師名	川渕 節子	KAWABUCHI				
Course No.	Mon. 2	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN 416.02	Rec.	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension				
目標	選択的聞き取りや大意聞き取り等の有効な聴解ストラテジーを身につける。さらに、日本語教材を通して、日本語・日本文化への理解を深める。			Develop the listening ability to follow natural Japanese and acquire listening strategy. Expand the knowledge about Japanese language and culture.		
Objective	以下の教材を使用して聴解タスクに取り組みむとともに、その内容について意見交換を行う。			You will work on some listening tasks and exchange views on the following texts.		
授業内容	① ダイアログやモノログ（中上級及び上級日本語教材、NHKラジオ高校講座などから抜粋） ② テレビ番組（「しばわんこ和のころ」「ことばおじさんのナックトク日本語塾」その他）			① dialogue / monologue ② TV programs		
Description	教材は、日本語・日本文化に関するものをはじめとし、時世のトピックなどを取り入れたものを扱う予定である。			Texts are concerned with Japanese language, culture, current trends, and others.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
講師が作成したハンドアウトを使用 Materials prepared by the instructor		川崎良枝 (2002) 『しばわんこの和のころ』 白泉社 川渕節子 (2014) 『日本語・日本文化を題材とした日本語上級聴解』 大阪大学日本語日本文化教育センター	川崎良枝 (2002) 『しばわんこの和のころ』 白泉社 川渕節子 (2014) 『日本語・日本文化を題材とした日本語上級聴解』 大阪大学日本語日本文化教育センター			
			評価方法	Manner of Assessment		
				期末試験 (70%) と平常点 (30%) examination 70% participation 30%		

授業題目	Title			Listening Comprehension for Intermediate to Advanced Learners		
担当講師名	Instructor (s)		出口 雅也 IDEGUCHI			
Course No.	Mon. 5	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN 416.04	Rec.	Rec.	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目標	Objective			To develop listening skills necessary for the Japanese Language Proficiency Test, Level 1.		
授業内容	Description			<ul style="list-style-type: none"> ・ You will do listening exercises for the Japanese Language Proficiency Test, Level 1. ・ You will watch Japanese movie to improve ability to comprehend natural conversation. You will also talk about the content of the movie. 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』からコピーして配布する。 Handouts from "Zituryoku appu! Nihongo nooryoku siken 1 kyuu tyookai mondai".	『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』か Matumoto et al. (2004). Zituryoku appu! Nihongo nooryoku siken 1 kyuu tyookai mondai. Tokyo: Unicom.	松本他 (2004). 『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』、東京、ユニコム。	平常点 (40 %)、課題・小テスト (60 %) Class participation (40%), Assignments and quizzes (60%).			

授業題目	Title			上級聴解		Advanced listening comprehension	
担当講師名	Instructor (s)		李 裕旋	LEE			
Course No.	Tue. 1	実習	J/MA	上級聴解			
JPN 416.06	Rec.	日本語実習 4E	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension			
目標	<p>1. 日常生活で話される自然な会話を正確に聞き取れるようになる。</p> <p>2. ニュースが聞き取れるようになる。</p>			<p>1. To improve listening to follow natural Japanese conversation in daily life.</p> <p>2. To improve your news listening skill.</p>			
授業内容	<p>1. 日常会話を聞いて、内容だけではなく、場面や人間関係なども正確に把握する練習をする。また、ここで用いられている表現について学び、会話練習も取り入れる。</p> <p>2. ニュースを聞き取るためのキーワードやポイントを把握し、ニュースの全体と詳細を理解する練習をする。その後、聞き取った内容を要約し、発表する。</p>			<p>1. In this class, you practice listening daily conversation and learn the useful expressions. Also, you practice conversation using these expressions.</p> <p>2. You practice to grasp keywords and key points, and understand whole meaning as well as details of the news.</p>			
Description							
	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
	『聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級編』くろしお出版 からコピーして配布				出席 (40%)、テスト + 課題 (60%) participation 40%, Test & assignments 60%		
	『ニュースの日本語 聴解 50』スリーエーネットワーク からコピーして配布						

授業題目	上級学習者のための聴解 Listening Comprehension for Advanced Learners		
担当講師名	高月 喜美	TAKATSUKI	
Course No.	実習 Rec.	J/MA LIS	日本語実習 4E 上級聴解 Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension
目標	<p>* この授業はすでに中級（おおむね日本語能力試験 N2 相当）と認められる能力があり、さらに上級（おおむね N1 相当）へのステップアップをめざす学生を対象とする。</p> <p>* 日本語能力試験 N1 の聴解試験に必要な聴解力を高める。</p> <p>* 自然な速さの日本語を聞き、重要な情報が聞き取れるようになる。</p>		
Objective	<p>* This class is intended for the students who have already acquired intermediate Japanese ability, such as the Japanese Language Proficiency Test, Level 2 or the equivalent and wish to improve that ability for the advanced Level, Level 1.</p> <p>* To develop the listening skills necessary for the Level 1 Listening Comprehension section of the Japanese Language Proficiency Test.</p> <p>* To learn to glean important information from Japanese spoken at a natural pace.</p>		
授業内容	<p>In this class, you will</p> <ul style="list-style-type: none"> * practice listening to questions from the Japanese Language Proficiency Test, Level 1. * watch TV programs (e.g. news, some short documentary episodes, talk shows and variety shows) and listen to various radio programs for further comprehension practice. * engage in simple conversation based on those programs. 		
Description	<p>In this class, you will</p> <ul style="list-style-type: none"> * practice listening to questions from the Japanese Language Proficiency Test, Level 1. * watch TV programs (e.g. news, some short documentary episodes, talk shows and variety shows) and listen to various radio programs for further comprehension practice. * engage in simple conversation based on those programs. 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
高月喜美・小南淳子『中・上級学習者のためのマスメディアの日本語聴解』大阪大学日本語日本文化教育センター(2010)	高月喜美・小南淳子『中・上級学習者のためのマスメディアの日本語聴解』大阪大学日本語日本文化教育センター(2010)	中村かおり 他『新完全マスター聴解日本語能力試験 N1』スリーエーネットワーク(2011)	中村かおり 他『新完全マスター聴解日本語能力試験 N1』スリーエーネットワーク(2011)
日本語能力試験の過去問等から必要なページをコピーして配布する。	日本語能力試験の過去問等から必要なページをコピーして配布する。	筒井由美子 他『日本語能力試験 1 級・2 級 試験に出る聴解』桐原書店(2005)	筒井由美子 他『日本語能力試験 1 級・2 級 試験に出る聴解』桐原書店(2005)
Kimi Takatsuki, Atsuko Kominami "Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai" CJLC, Osaka University (2010)	Kimi Takatsuki, Atsuko Kominami "Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai" CJLC, Osaka University (2010)	Kaori Nakamura et al. "Shin kanzen master chokai Nihongo noryoku shiken N1" 3A Corporation(2011)	Kaori Nakamura et al. "Shin kanzen master chokai Nihongo noryoku shiken N1" 3A Corporation(2011)
*All necessary texts and reference materials will be provided by the instructor.	*All necessary texts and reference materials will be provided by the instructor.	Yumiko Tsutsui et al. "Nihongo noryoku shiken Ikyu · 2kyu, Shiken ni deru chokai" Kiriharashoten (2005)	Yumiko Tsutsui et al. "Nihongo noryoku shiken Ikyu · 2kyu, Shiken ni deru chokai" Kiriharashoten (2005)
*Practice exercises taken from the Japanese Language Proficiency Tests given in the past.	*Practice exercises taken from the Japanese Language Proficiency Tests given in the past.		
評価方法	Manner of Assessment		
小テスト・課題・平常点 (50%)、出席 (50%)	小テスト・課題・平常点 (50%)、出席 (50%)		
Comprehension quizzes given in class, assignments and active class participation (50%); Attendance (50%)	Comprehension quizzes given in class, assignments and active class participation (50%); Attendance (50%)		

授業題目	上級日本語聴解 Advanced Listening Comprehension			
担当講師名	大橋 晶子	OHASHI		
Course No.	実習 Rec.	J/MA LIS	日本語実習 4E 上級聴解 Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension	
目標 Objective	Thu. 2 日常生活でよく使われる語彙や表現をまとめて覚える。 日本語能力試験N1の聴解問題に必要な能力を高める。	Learn common words together with expressions that are often used in daily life. To develop listening skills necessary for the Japanese Language Proficiency Test N1 Level.		
授業内容 Description	ウォーミングアップとして、「発音に関する聞き取り」「文法に関する聞き取り」などを行う。 N1教材を聞く。 質問に答えたり、内容をまとめてたりして、理解を深める。	Warm-up given at the beginning of classes is as follows: 1) Listen the difference in the speech sound, 2) listen fundamental items of grammar, 3) give more useful tips for listening Listen CDs for N1 exercise etc. At the end of the class, some activities to ensure students understanding are provided.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	
ハンドアウト Handouts		佐々木仁子他著『日本語総まとめ N1 聴解』アスク出版 (2011)、 筒井由美子他著『日本語能力試験 N1・N2 試験に出る聴解』、 小原亜紀子他著『耳から覚える 日本語能力試験 聴解トレーニング N1』アルク (2011)ほか Hitoko Sasaki et al. "JLPT so matome N1 tyoukai" Ask (2011). Yumiko Tsutsui et al. "JLPTN1. N2siken ni deru tyoukai Kirihara syoten (2010). Akiko Obara et al. "Mimi kara oboeru JLPT tyoukai training N1" Alc (2011)..etc.	評価方法	Manner of Assessment 授業参加 (50%) 期末試験 (50%) participation (50%), final examination (50%)

授業題目	日本語聴解力の向上—上級から超級へ— Comprehension of spoken Japanese: progressing from advanced to highly advanced level		
担当講師名	大崎 紀子	OSAKI	
Course No.	JPN 416.12	実習 Rec.	J/MA LIS
目標 Objective	Thu. 4	日本語実習 4E 上級聴解 Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension	
授業内容 Description	1. 大学の講義を聞き取るための技術を身につける。 2. 討論の場など複数の人間が同時に話すような場面でも必要な情報を聞き取ることでできる高度な日本語聴解能力を習得する。	1. To develop your academic listening skills. 2. To learn highly advanced listening skills enough to obtain necessary information even on occasions when several people talk at once.	
	授業では次のような教材を用いて聴く力を養います。		You will learn listening skills using the following materials:
	1. テレビの討論番組、バラエティ番組、ドキュメンタリーなど 2. 『国境を越えて 改訂版』 山本富美子編著 新曜社 (2007)		1. DVDs of television discussion programs, variety shows and documentary programs 2. 『国境を越えて 改訂版』 (2007)
	聞きながらノートを取り、その後で質問に答えて、自分の理解が正しかったかどうかを確認します。教材で用いられる語彙のリストをあらかじめ渡しますから、予習をして授業に臨んで下さい。		You will be encouraged to take notes, and then receive questions about the content of the materials to confirm if your understanding is correct. Vocabulary contained in the material will be provided in advance so that you can prepare for the class.
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布 Handouts.		『国境を越えて 改訂版』 本文編、語彙・文法編、山本富美子編著 新曜社 (2007)	授業参加 (80%) 課題 (20%) Participation (80%) and assignment (20%)
			評価方法 Manner of Assessment

授業題目	上級聴解 Advanced Listening Comprehension		
担当講師名	熱田 万美	ATSUTA	
Course No.	実習 Rec.	J/MA LIS	日本語実習 4E 上級聴解 Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	<p>語彙や文法は既知のものであるのに内容が理解できないといったことに対し、何が理解を妨げているのかを一緒に考えて、聞き取りのこつをつかむ</p> <p>The course focuses on items of vocabulary and grammar which are known, but which for some reason remain difficult to understand. The class will reflect together on the nature of the difficulties.</p>		
授業内容 Description	<p>①あらかじめ語彙を確認した上で、録画されたテレビ番組を毎回視聴し、その中でインタビュアー、ディスカッションを分析的に聞く。それは、新しい語彙や表現を学習することであるとともに、発話者の気持ちや意図を汲み取る練習である</p> <p>②視聴した内容に関して、まとめを行う（内容確認問題、要約、意見文など）</p> <p>1) After confirming the relevant vocabulary, students will watch recorded TV programs and analytically listen to shown interviews and discussions.</p> <p>While studying new vocabulary and expressions, students will practise to grasp a speaker's intent and mood.</p> <p>2) Students will reflect on the content of the shown material and write up summaries or work on exercises confirming their understanding.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		榎本総子、宮谷敦美『日本語生中継・中～上級編』くろしお出版（2004年）	授業参加 (50%)、課題提出 (50%) Participation (50%), Assignments (50%)
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	Title			Advanced Japanese Conversation		
担当講師名	Instructor (s)			SHINOHARA		
Course No.	Mon. 1	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN 417.02	Rec.	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	Objective			The aim of this class is to improve conversation and presentation skills, and to learn pronunciation as advanced Japanese speakers.		
授業内容	Description			This course is designed to practice talking other people some information with TV programs, handouts and data of findings. Training of pronunciation is also performed if needed.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
プリントを配布する Handouts		萩原稚佳子 他『日本語上級話者への道』スリーエーネットワーク 安藤節子 他『トピックによる日本語総合演習』スリーエーネットワーク 犬飼康弘『アカデミックスキルを身につける 聴解・発表ワークブック』スリーエーネットワーク	授業参加 (70%)、期末試験 (30%) Participation (70%), Examination (30%)			

授業題目	通訳者になるための実践コース			Practical Interpretation	
担当講師名	小倉 慶郎		OGURA. Y		
Course No. JPN 417.04	Mon. 2	実習 Rec.	J/MA CONV	日本語実習 4F 上級会話	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目標 Objective	この授業では、英→日・日→英の逐次通訳と同時通訳の技術を学び、将来プロの通訳者になれるよう指導する。			The purpose of this course is to study various skills in consecutive and simultaneous oral translation between Japanese and English for your future career.	
授業内容 Description	音声教材を利用して、シャドウイング・リプロダクションなどさまざまな通訳技術を学習する。受講生は、英語・日本語ともに上級レベルであることが望ましい。なお秋学期と春学期は学習教材が異なる。			Interpretation training will be provided with the help of audio materials. Students must be fluent both in English and in Japanese. Teaching materials change from semester to semester	
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
テキストは特に使用しない。 There is no textbook for this course.			ピンカートン 嘩子・篠田 顕子 著『実践 英語スピーチ通訳——式辞あいさつからビジネス場面まで』大修館書店 Pöchhacker, F. Introducing Interpreting Studies (Routledge)		平常点 (70%)、学期末試験 (30%)、出席を重視。 The course grade will be based on class participation (70%), final exam (30%). Regular attendance is absolutely necessary.

授業題目	日英翻訳者になるための実践コース			Practical Translation (J to E only)	
担当講師名	小倉 慶郎	OGURA. Y			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN 417.06	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目 標	この授業では、日→英翻訳の技術を学び、将来プロの翻訳者になれるよう指導する。		The purpose of this course is to study various skills in written translation from Japanese to English for your future career.		
Objective					
授業内容	朝日新聞の「天声人語」などのほか、文学作品（村上春樹等）、アニメの字幕翻訳（「となりのトトロ」）などを教材として、プロの翻訳者などのように訳しているのかを検討する。特に文化的な語句の翻訳に注目したい。		Students will carefully study how professional translators put culture-specific words into English, using the materials such as the "Vox Populi, Vox Dei" column of the Asahi Shimbun, short stories written by Haruki Murakami, My Neighbor Totoro directed by Hayao Miyazaki and so forth.		
Description	受講生は、英語・日本語ともに上級レベルであることが望ましい。なお秋学期と春学期は学習教材が異なる。		Students must be fluent both in English and in Japanese. Teaching materials change from semester to semester		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
テキストは特に使用しない。 There is no textbook for this course.		『翻訳の原理』平子義男著、大修館書店 Munday, J. Introducing Translation Studies (Routledge)		平常点 (70%)、学期末試験 (30%)、出席を重視。 The course grade will be based on class participation (70%), final examination (30%). Regular attendance is absolutely necessary.	

授業題目	上級日本語会話一様々なバリエーションでの実践ー Successful Communication in Japanese -various oral expressions-			
担当講師名	湯浅 章子	YUASA		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話
JPN 417.08	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation	
目標	1. To acquire Japanese conversation skills expected as an advanced level speaker. 2. Students are required to make short presentation on self-interested topics.			
Objective	・日本語上級者として求められる会話、討論能力を、様々な場面を想定した実践を通じて身につける。 ・各人が関心のある話題について発表を行う。	This class is for the students who already have JLPT Level 1 (N1) or Level 2 (N2). In this class, you will study the social and individual variation of Japanese dialogue with upper-level texts or newspapers, and also practice monologue with short readings.		
授業内容	日本語能力試験1級 (N1) 相当、あるいは2級 (N2) レベルを超える能力を持つ学生を対象とする。 授業では、様々な場面における日本語表現を、上級会話テキストを用いて練習するとともに、ニュースや新聞等から時事問題を把握し、意見を出し合い討論する。			
Description				
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts	萩原稚佳子他 2005『日本語上級話者への道ーきちんと伝える技術と表現』スリーネットワーク Ogiwara, Masuda, Saito, Ito, Advanced Japanese Conversation, Three Net Work		平常点 (50%) 期末試験 (50%) Class Participation (50%) Final Examination (50%)	

授業題目	上級日本語会話 Advanced Japanese Conversation			
担当講師名	林 和子	HAYASHI		
Course No. JPN 417.10	Tue. 2	実習 Rec.	J/MA CONV	日本語実習 4F 上級会話 Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目 標 Objective	<p>社会生活のいろいろな場面で日本人と上手にコミュニケーションできるようになる</p>		<p>The purpose of this course is to become a skillful communicator in Japanese in various social situations.</p>	
授業内容 Description	<p>日本語上級話者は、日本語を「正確に」使えるだけでなく、「適切に」使えるようにもならなくてはなりません。「適切に使う」というのは、相手やまわりの人がいやな気持ちにならないように、会話の場面や相手に合った言い方を選んで話すということです。しかし、「適切さ」は言語や文化によって違います。</p> <p>この授業では「はめる」「誘う」などの会話場面における、場面や相手に合った適切な日本語の使い方方を学びます。</p>		<p>It is essential not only to accurate, but also to be appropriate in the way you communicate, if you wish to become a good communicator. However, it is often the case that languages and cultures possess unique criteria for choosing appropriate expressions in certain situations. In this course, you will be able to learn the means to use Japanese appropriately in various situations such as "Offering compliments", "Extending invitations" and so on.</p>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts		清水崇文『中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク (2013)		授業参加 70% 期末試験 30% Participation 70%, Final examination 30%

授業題目	日本語上級会話			Advanced Japanese conversation	
担当講師名	村上 由記	MURAKAMI			
Course No.	Wed. 3	J/MA CONV	日本語実習 4F	上級会話	
JPN 417.12	実習 Rec.		Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標 Objective	話し手として、意見を的確に表現し情報を正確に伝えるとともに、聞き手として、正確に聞き取り、情報を十分に引き出す技術を学ぶ。		To learn a skill to express an opinion precisely, and to introduce information into exactly as a speaker. As a listener you will learn a skill to get enough information exactly.		
授業内容 Description	<p>授業では、以下のような活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラマや映画を視聴し、会話の展開を観察する。 ・インタビュー番組を視聴し、答えを引き出す質問の方法を観察する。 ・教室内で行ったロールプレイの録音データをもとに、問題点を話し合ったり、必要な表現を考えたりする。また、自分の発音上の問題点に気づき、修正する。 ・グループで計画を立て、インタビューを実施し、その結果を報告する。 		<p>In this course you will do following activities.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ You will watch a drama and a movie and observe the development of the conversation. ・ You will watch an interview program and observe the skill to get enough information exactly. ・ Based on recording data of the role playing in the classroom, you will talk about problems and think about necessary expressions. <p>In addition, you will notice problems in your pronunciation and make modifications.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ You will do interviewing and reporting all by yourself. 		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
必要に応じて、ハンドアウトを配布します。 handout		萩原稚佳子他 (2005年)『日本語上級話者への道～きちんと伝える技術と表現～』スリーエーネットワーク		出席及び、授業内の活動 80% 課題提出 20% participation 80%, assignment 20%	

授業題目	Title			上級会話		Advanced Japanese: Conversation	
担当講師名	Instructor (s)		YOSHIKANE		YOSHIKANE		
Course No.	Thu. 1	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話		
JPN 417.14	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation				
目標	Objective			In this class, you will improve your speech skills with logical and critical thinking.			
授業内容	Description			Class Content			
				(1) To learn and practice to make your speech easy to understand.			
				(2) To learn to debate with logical and critical thinking.			
				※受講生に合わせて、内容を一部変更する場合があります。			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment	
ハンドアウト		・東海大学留学センター口頭発表教材研究会 (1995) 『日本語 口頭発表と討論の技術』東海大学出版会 ・犬飼康弘 (2007) 『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』スリーエーネットワーク			平常点 (30%) 課題提出 (30%) 発表・ディベート参加 (40%) Participation (30%) Assignment (30%) Presentation・Debate (40%)		

授業題目	Title	伝えること（難しいけれど…）	communication (difficult but…)
担当講師名	Instructor (s)	波多野 吉徳	HATANO
Course No.	Thu. 2	実習 Rec.	J/MA CONV
JPN 417.16		日本語実習 4F Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation	上級会話
目標	Objective	このクラスの目的は自分の考えを日本語で伝える力を少しでも伸ばすことです。そのためには、自分の考えをまとめ、どうすれば言いやすいかが聞き手に伝わるかを考えなければなりません。一方、自分の意見をなるべく正確に伝えるためには「どのように」話すかにも注意しなければなりません。人は感情を持つ生き物ですから、あることをどのように伝えるかによって、相手に誤解されることもあるし、ちゃんと理解されることもあるという事です。ここでは、言葉とともに言葉以外の要素についても考える必要があります。	The aim of this class is to learn how to tell your ideas accurately and effectively in Nippongo.
授業内容	Description	大きくこの二つに注意しながら話せるようになることがこのクラスの目的です。 2014年度秋学期は、まず敬語を適切に使えるようになりたいと思います。敬語は、常識ある大人を相手とした会話に不可欠な道具ですから、「おとなの日本語」を話す上で大切です。授業では、日本語学習者のみなさんにとって特に大事なことを選んで学びます。 次に、大阪言葉の簡単な練習をします。ここは大阪で、みなさんが接する人にも大阪の言葉が話す人が多いので、大阪言葉の特徴を語彙とイントネーションを中心に学ぼうと思います。ここで学んだことを使って、みなさんの日常のコミュニケーションが楽しいものになればいいなと思います。 また、話す練習をしながら相手に気づかないことをどうやって伝えるか、会話をつないでいくにはどうすればいいかに気づくことも大事でしょう。 そして、以上と並行して、現代日本のトピックス、特に若者を取り巻く問題についてクラスで話します。 話すテーマは、クラスが始まってからになりますが、テーマ選びの参考に映像資料（日本についてのDVD）を見たり、新聞や雑誌を読む予定です。 みなさん自身の興味関心がどんなものか今はわかりません。いろんなことに興味をもつメンバーが集まれば、おもしろい授業になると思います。 また、同じことでも、人によって見方や考えが違うことを実感できる授業にもなればと思います。 日本語で自分の考えを伝えたいいろいろな国の人と話をしたい日本のことをもっと知りたい方に授業に来てほしいです。	1. Learning practical conversation, especially KEIGO 2. Learning OSAKA-kotoba 3. Talking about JAPAN or JAPANESE people with classmates and Watching DVD to learn JAPAN (people, society, culture)
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト	（担当者作成の資料、参考資料（テキストの一部・新聞・雑誌記事）など） Handouts	菊池康人『敬語』講談社学術文庫など 紹介します。	授業で紹介 積極的な授業参加 80% 筆記試験 20% Participation (positive) 80%, Examination 20%
			評価方法 Manner of Assessment

授業題目	日本語会話 中級から上級へ			Advanced Japanese: Conversation	
担当講師名	大崎 紀子		OSAKI		
Course No.	Thu. 5	実習 Rec.	J/MA CONV	日本語実習 4F 上級会話	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目標 Objective	日本語上級話者として求められる会話の能力を身につけること			To acquire Japanese language skills expected as an advanced level speaker	
授業内容 Description	<p>授業では以下のような話題について会話練習をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介で好印象を与えよう 2. なくした経験を話そう 3. 動作の順序を説明しよう 4. スポーツの面白さを伝えよう 5. 言いかえて説明しよう 6. ストーリーを話そう その他 <p>語彙や表現のリストをあらかじめ渡しますから、予習をして授業に臨んでください。</p>			<p>Topics covered in the class are as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. How to leave a good impression in your self-introduction. 2. Have you ever lost something important? Talk about your experiences. 3. Explaining the sequence of movement. 4. Are there any sports you like to play or watch? Talk about fun of sports. 5. Explaining in other words. 6. Telling a story, etc. <p>Vocabulary and expressions requisite for the class will be provided in advance so that you can prepare for the class.</p>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
ハンドアウト配布 Handouts.		『日本語上級話者への道 現』 萩原稚佳子他著	きちんと伝える技術と表 スリーエーネットワーク (2005)		
			評価方法	Manner of Assessment	
				授業参加 (80%) 課題 (20%) Participation (80%) and assignment (20%)	

授業題目	Title			Advanced Conversation		
担当講師名	Instructor (s)	ITO. TOMO				
Course No.	Fri. 2	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
		Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	Objective			This course is designed to help students improve their conversation abilities.		
授業内容	Description			In this course you will watch the drama,movie,and master effective expressions, you study their usage practised. And you will discuss your impressions of drama,movie.		
				この授業では、会話を向上させることを目標とします。		
				クラス内で、ドラマや映画を見て、効果的な表現を学習し、その使い方を練習します。またその感想を述べ合います。		
	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト handout			萩原稚佳子 他 (2005)『日本語上級話者への道』 Ogihara Chikako(2005)		平常点 (50%) 課題 (50%) participation (50%), assignments (50%)	

MM1

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA CONV (417.02) SHINOHARA	MSPB [300.12] FURUKAWA R (340.06) HISAOKA RDG (414.04) TORIYA.J LIS (416.06) Lee Yousun CONV (417.08) YUASA	MR (331.02) VAAGE GORAN CONV (317.02) HIBI SP (410.04) TANAKA.K K (413.06) KUNIKATA LIS (416.08) TAKATSUKI	MSPB [300.12] HATANO SP (410.10) KAN.H K (413.12) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA CONV (417.14) YOSHIKANE	MR (352.12) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM
MSPA [300.02] SHINOHARA 1301 1312 1303	MR (364.04) WATANABE COMP (315.02) Lee Yousun LIS (316.02) SOGAWA R (352.08) SHIMAMOTO R (352.14) HISAOKA K (413.04) KITAGAWA RDG (414.06) INUI CONV (417.10) HAYASHI	MSPA [300.02] HIBI 1305 1303 1302 1307 1301 1313 1310 1306 1303	MSPA [300.02] YOSHIKANE 1305 1303 1302 1302 1302 1302 1302	MSPA [300.02] TANAKAM 1305 1302 1302 1303 1303
MR (356.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI CONV (417.06) OGURAY	MDR [309.82] KOMORIM 1301 1302 1214	K (313.06) KUNIKATA LIS (316.04) NISHIMURA CONV (317.04) FURUE R (330.06) NAKATA R (352.10) IWALS COMP (415.06) KOMINAMI CONV (417.12) MURAKAMI.Y	RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO COMP (415.10) YAMAMOTO.K	MR (362.02) Carmona Daniel William SP (310.06) SHUTO COMP (315.06) FUJIE R (331.04) YAMAKAWA R (333.04) YAMATO.Y COMP (415.14) HIGUCHI.T LIS (416.14) ATSUTA
K (313.04) YOSHIMURA.D R (330.04) IMAI R (340.02) GONOJI COMP (415.04) IDEGUCHI	MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA 1302 1212 1312 1303	RDG (314.04) HIROKAWA R (356.04) KATO.H R (361.02) INOUE.S SP (410.06) SHOJI K (413.10) NISHIMURA	SP (310.04) ATSUTA R (352.04) INOMO LIS (416.12) OOSAKI	SP (310.08) KOMORIM R (343.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA RDG (414.10) Carmona Daniel William
MR (352.06) FUKUMITSU R (340.04) SEKIMOTO R (364.02) NUKITA LIS (416.04) IDEGUCHI	1313 1301 1302 1303	K (313.08) HIROKAWA R (330.08) SHOJI R (333.02) KADOWAKI R (353.02) SANO SP (410.08) INAGAKI.K	LIS (316.06) ATARASHI.S COMP (415.12) ATSUTA CONV (417.18) OOSAKI	1301 1302 1312

I

II

III

IV

V

MA1

Friday

Thursday

Wednesday

Tuesday

Monday

<p>I</p> <p>K (313.02) KUBOTA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA CONV (417.02) SHINOHARA</p>	<p>R (340.06) HISAOKA RDG (414.04) TORIYA.J LIS (416.06) Lee Yousun CONV (417.08) YUASA</p>	<p>1301 1312 1302 1303</p>	<p>1313 1301 1302 1303</p>	<p>MR (331.02) VAAGE GORAN CONV (317.02) HIBI SP (410.04) TANAKA.K K (413.06) KUNIKATA LIS (416.08) TAKATSUKI</p>	<p>1312 1303 1309 1301 1302</p>	<p>SP (410.10) KAN.H K (413.12) YAMANAKA RDG (414.08) FUJIWARA CONV (417.14) YOSHIKANE</p>	<p>1301 1302 1303 1312</p>	<p>MR (352.12) TAMAS LIS (316.08) TANAKA.M SP (410.16) MANDA K (413.14) ITO.TOM</p>	<p>1312 1302 1304 1303</p>
<p>II</p> <p>R (330.02) MURATA.M RDG (414.02) KUBOTA COMP (415.02) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV (417.04) OGURA.Y</p>	<p>MR (364.04) WATANABE COMP (315.02) Lee Yousun LIS (316.02) SOGAWA R (352.08) SHIMAMOTO R (352.14) HISAOKA K (413.04) KITAGAWA RDG (414.06) INUI CONV (417.10) HAYASHI</p>	<p>1301 1302 1303 1308 1214</p>	<p>1312 1302 1307 1301 1310 1306 1303</p>	<p>RDG (314.02) VAAGE GORAN COMP (315.04) KOMINAMI R (360.02) ITO.TOS K (413.08) TANAKA.K</p>	<p>1312 1301 1302 1303 1309 1302</p>	<p>CONV (317.06) KAN.H R (330.10) YAMANAKA SP (410.12) ADACHI COMP (415.08) FUJIWARA LIS (416.10) OOHASHI CONV (417.16) HATANANO</p>	<p>R (351.02) TAMAS K (413.16) HIGUCHI.T CONV (417.20) ITO.TOM</p>	<p>R (351.02) TAMAS K (413.16) HIGUCHI.T CONV (417.20) ITO.TOM</p>	<p>1312 1302 1303 1303</p>
<p>III</p> <p>MR (356.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI CONV (417.06) OGURA.Y</p>	<p>MDR [409.82] SHIMAMOTO</p>	<p>1301 1302 1214</p>	<p>1307</p>	<p>K (313.06) KUNIKATA LIS (316.04) NISHIMURA CONV (317.04) FURUE R (330.06) NAKATA R (352.10) IWAIS COMP (415.06) KOMINAMI CONV (417.12) MURAKAMI.Y</p>	<p>1303 1312 1304 1306 1307 1310 1311</p>	<p>RDG (314.06) MASHITA SP (410.14) MITO COMP (415.10) YAMAMOTO.K</p>	<p>MR (362.02) Carmona Daniel William SP (310.06) SHUTO COMP (315.06) FUJIE R (331.04) YAMAKAWA R (333.04) YAMATO.Y COMP (415.14) HIGUCHI.T LIS (416.14) ATSUTA</p>	<p>Carmona Daniel William SHUTO FUJIE YAMAKAWA YAMATO.Y HIGUCHI.T ATSUTA</p>	<p>1312 1305 1307 1309 1212 1310 1303</p>
<p>IV</p> <p>K (313.04) YOSHIMURA.D R (330.04) IMAI R (340.02) GONOJI COMP (415.04) IDEGUCHI</p>	<p>MIS [219.82] KATO.H MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA</p>	<p>1302 1212 1312 1303</p>	<p>1517 1516 1503</p>	<p>RDG (314.04) HIROKAWA R (356.04) KATO.H R (361.02) INOUE.S SP (410.06) SHOJI K (413.10) NISHIMURA</p>	<p>1303 1312 1307 1313 1309</p>	<p>SP (310.04) ATSUTA R (352.04) INOMO LIS (416.12) OOSAKI</p>	<p>SP (310.08) KOMORIM R (343.02) SHIBATA SP (410.18) ATSUTA RDG (414.10) Carmona Daniel William</p>	<p>KOMORIM SHIBATA ATSUTA Carmona Daniel William</p>	<p>1308 1312 1303 1310 1303</p>
<p>V</p> <p>MR (352.06) FUKUMITSU R (340.04) SEKIMOTO R (364.02) NUKITA LIS (416.04) IDEGUCHI</p>	<p>K (313.08) HIROKAWA R (330.08) SHOJI R (333.02) KADOWAKI R (353.02) SANO SP (410.08) INAGAKI.K</p>	<p>1313 1301 1302 1303</p>	<p>1301 1302 1312 1303 1308</p>	<p>LIS (316.06) ATARASHI.S COMP (415.12) ATSUTA CONV (417.18) OOSAKI</p>	<p>1301 1302 1312</p>	<p>ATARASHI.S ATSUTA OOSAKI</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>

MA3

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
K (313.02) KUBOTA 1301 R (352.02) MOTOBAYASHI 1312 SP (410.02) HARADA 1302 CONV (417.02) SHINOHARA 1303	R (340.06) HISAOKA 1313 RDG (414.04) TORIYA.J 1301 LIS (416.06) Lee Youstun 1302 CONV (417.08) YUASA 1303	MR (331.02) VAAGE GORAN 1312 CONV (317.02) HIBI 1303 SP (410.04) TANAKA.K 1309 K (413.06) KUNIKATA 1301 LIS (416.08) TAKATSUKI 1302	SP (410.10) KAN.H 1301 K (413.12) YAMANAKA 1302 RDG (414.08) FUJIWARA 1303 CONV (417.14) YOSHIKANE 1312	MR (352.12) TAMAS 1312 LIS (316.08) TANAKA.M 1302 SP (410.16) MANDA 1304 K (413.14) ITO.TOM 1303
R (330.02) MURATA.M 1301 RDG (414.02) KUBOTA 1302 COMP (415.02) SAKATA 1303 LIS (416.02) KAWABUCHI 1308 CONV (417.04) OGURA.Y 1214	MR (364.04) WATANABE 1312 COMP (315.02) Lee Youstun 1302 LIS (316.02) SOGAWA 1307 R (352.08) SHIMAMOTO 1301 R (352.14) HISAOKA 1313 K (413.04) KITAGAWA 1310 RDG (414.06) INUI 1306 CONV (417.10) HAYASHI 1303	RDG (314.02) VAAGE GORAN 1312 COMP (315.04) KOMINAMI 1301 R (360.02) ITO.TOS 1302 K (413.08) TANAKA.K 1303	CONV (317.06) KAN.H 1310 R (330.10) YAMANAKA 1301 SP (410.12) ADACHI 1307 COMP (415.08) FUJIWARA 1303 LIS (416.10) OOHASHI 1309 CONV (417.16) HATANO 1302	R (351.02) TAMAS 1312 K (413.16) HIGUCHI.T 1302 CONV (417.20) ITO.TOM 1303
MR (356.02) TONGU 1301 SP (310.02) ISHIBASHI 1302 CONV (417.06) OGURA.Y 1214	MDR [409.86] MIZUTA 1309 K (313.06) KUNIKATA 1303 LIS (316.04) NISHIMURA 1312 CONV (317.04) FURUE 1304 R (330.06) NAKATA 1306 R (352.10) IWA.I.S 1307 COMP (415.06) KOMINAMI 1310 CONV (417.12) MURAKAMI.Y 1311	K (313.06) KUNIKATA 1303 LIS (316.04) NISHIMURA 1312 CONV (317.04) FURUE 1304 R (330.06) NAKATA 1306 R (352.10) IWA.I.S 1307 COMP (415.06) KOMINAMI 1310 CONV (417.12) MURAKAMI.Y 1311	RDG (314.06) MASHITA 1303 SP (410.14) MITO 1312 COMP (415.10) YAMAMOTO.K 1313	MR (362.02) Carmona Daniel William 1312 SP (310.06) SHUTO 1305 COMP (315.06) FUJIE 1307 R (331.04) YAMAKAWA 1309 R (333.04) YAMATO.Y 1212 COMP (415.14) HIGUCHI.T 1310 LIS (416.14) ATSUTA 1303
K (313.04) YOSHIMURA.D 1302 R (330.04) IMAI 1212 R (340.02) GONOJI 1312 COMP (415.04) IDEGUCHI 1303	MIS [219.82] KATO.H 1517 MIS [219.84] NAKATA 1516 MIS [219.86] MIZUTA 1503	RDG (314.04) HIROKAWA 1303 R (356.04) KATO.H 1312 R (361.02) INOUE.S 1307 SP (410.06) SHOJI 1313 K (413.10) NISHIMURA 1309	SP (310.04) ATSUTA 1303 R (352.04) INOMO 1307 LIS (416.12) OOSAKI 1312	SP (310.08) KOMORI.M 1308 R (343.02) SHIBATA 1312 SP (410.18) ATSUTA 1303 RDG (414.10) Carmona Daniel William 1305
MR (352.06) FUKUMITSU 1313 R (340.04) SEKIMOTO 1301 R (364.02) NUKITA 1302 LIS (416.04) IDEGUCHI 1303	K (313.08) HIROKAWA 1301 R (330.08) SHOJI 1302 R (333.02) KADOWAKI 1312 R (353.02) SANO 1303 SP (410.08) INAGAKI.K 1308	LIS (316.06) ATARASHI.S 1301 COMP (415.12) ATSUTA 1302 CONV (417.18) OOSAKI 1312	LIS (316.06) ATARASHI.S 1301 COMP (415.12) ATSUTA 1302 CONV (417.18) OOSAKI 1312	LIS (316.06) ATARASHI.S 1301 COMP (415.12) ATSUTA 1302 CONV (417.18) OOSAKI 1312

I

II

III

IV

V

MA4

Wednesday

Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday	
K (313.02) KUBOTA	1301	R (340.06) HISAOKA	1313	MR (331.02) VAAGE GORAN	1312	SP (410.10) KAN.H	1301	MR (352.12) TAMAS	1312
R (352.02) MOTOBAYASHI	1312	RDG (414.04) TORIYA.J	1301	CONV (317.02) HIBI	1303	K (413.12) YAMANAKA	1302	LIS (316.08) TANAKA.M	1302
SP (410.02) HARADA	1302	LIS (416.06) Lee Yousun	1302	SP (410.04) TANAKA.K	1309	RDG (414.08) FUJIWARA	1303	SP (410.16) MANDA	1304
CONV (417.02) SHINOHARA	1303	CONV (417.08) YUASA	1303	K (413.06) KUNIKATA	1301	CONV (417.14) YOSHIKANE	1312	K (413.14) ITO.TOM	1303
				LIS (416.08) TAKATSUKI	1302				
R (330.02) MURATA.M	1301	MR (364.04) WATANABE	1312	RDG (314.02) VAAGE GORAN	1312	CONV (317.06) KAN.H	1310	R (351.02) TAMAS	1312
RDG (414.02) KUBOTA	1302	COMP (315.02) Lee Yousun	1302	COMP (315.04) KOMINAMI	1301	R (330.10) YAMANAKA	1301	K (413.16) HIGUCHI.T	1302
COMP (415.02) SAKATA	1303	LIS (316.02) SOGAWA	1307	R (360.02) ITO.TOS	1302	SP (410.12) ADACHI	1307	CONV (417.20) ITO.TOM	1303
LIS (416.02) KAWABUCHI	1308	R (352.08) SHIMAMOTO	1301	K (413.08) TANAKA.K	1303	COMP (415.08) FUJIWARA	1303		
CONV (417.04) OGURA.Y	1214	R (352.14) HISAOKA	1313			LIS (416.10) OOHASHI	1309		
		K (413.04) KITAGAWA	1310			CONV (417.16) HATANANO	1302		
		RDG (414.06) INUI	1306						
		CONV (417.10) HAYASHI	1303						
MR (356.02) TONGU	1301	MDR [409.88] YAMAKAWA	1310	K (313.06) KUNIKATA	1303	RDG (314.06) MASHITA	1303	MR (362.02) Carmona Daniel William	1312
SP (310.02) ISHIBASHI	1302			LIS (316.04) NISHIMURA	1312	SP (410.14) MITO	1312	SP (310.06) SHUTO	1305
CONV (417.06) OGURA.Y	1214			CONV (317.04) FURUE	1304	COMP (415.10) YAMAMOTO.K	1313	COMP (315.06) FUJIE	1307
				R (330.06) NAKATA	1306			R (331.04) YAMAKAWA	1309
				R (352.10) IWAI.S	1307			R (333.04) YAMATO.Y	1212
				COMP (415.06) KOMINAMI	1310			COMP (415.14) HIGUCHI.T	1310
				CONV (417.12) MURAKAMI.Y	1311			LIS (416.14) ATSUTA	1303
K (313.04) YOSHIMURA.D	1302	MIS [219.82] KATO.H	1517	RDG (314.04) HIROKAWA	1303	SP (310.04) ATSUTA	1303	SP (310.08) KOMORI.M	1308
R (330.04) IMAI	1212	MIS [219.84] NAKATA	1518	R (356.04) KATO.H	1312	R (352.04) INOMO	1307	R (343.02) SHIBATA	1312
R (340.02) GONNOJI	1312	MIS [219.88] MIZUTA	1503	R (361.02) INOUE.S	1307	LIS (416.12) OOSAKI	1312	SP (410.18) ATSUTA	1303
COMP (415.04) IDEGUCHI	1303			SP (410.06) SHOJI	1313			RDG (414.10) Carmona Daniel William	1305
				K (413.10) NISHIMURA	1309				
MR (352.06) FUKUMITSU	1313			K (313.08) HIROKAWA	1301	LIS (316.06) ATARASHI.S	1301		
R (340.04) SEKIMOTO	1301			R (330.08) SHOJI	1302	COMP (415.12) ATSUTA	1302		
R (364.02) NUKITA	1302			R (333.02) KADOWAKI	1312	CONV (417.18) OOSAKI	1312		
LIS (416.04) IDEGUCHI	1303			R (353.02) SANO	1303				
				SP (410.08) INAGAKI.K	1308				

I

II

III

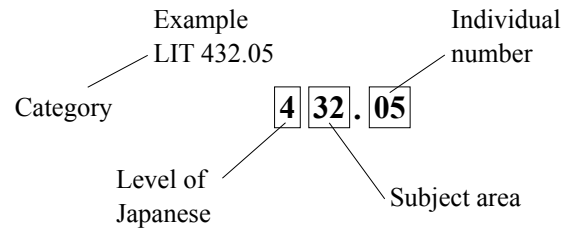
IV

V

科目コード / Course Numbering System

【日本語レベル Levels】

初級 Elementary	100.x -
初中級 Upper-Elementary	200.x -
中級 Intermediate	300.x -
上級 Advanced	400.x -



【科目分野 Subject Categories & Areas】

日本語・日本文化研修科目 (JPN 00-19)

必修科目 Required

SP	00.01 - 01.99
RK	02.01 - 03.99
LIS	06.01 - 06.99
CONV	07.01 - 07.99
JC	09.01 - 09.79
MDR	09.81 - 09.99

選択科目 Elective

SP	10.01 - 11.99
K	13.01 - 13.99
RDG	14.01 - 14.99
COMP	15.01 - 15.99
LIS	16.01 - 16.99
CONV	17.01 - 17.99
CAI	18.01 - 18.99
JC	19.01 - 19.79
MIS	19.81 - 19.99
GS	20.01 - 20.99

文化・歴史系研究科目 (CUL 50-59)

R 芸術学 Arts	50.01 - 50.99
R 民俗・文化 Folklore & Culture	51.01 - 52.99
R 歴史 History	53.01 - 54.99
R 思想・宗教 Thought & Religion	55.01 - 56.99

社会科学系研究科目 (SOC 60-69)

R 経済・経営学 Economics & Business Admin	60.01 - 61.99
R 政治学・法律学 Politics & Law	62.01 - 62.99
R 国際関係 International Relations	63.01 - 63.99
R 社会学 Sociology	64.01 - 64.99
R 教育学 Education	65.01 - 65.99

自然科学系研究科目 (NAT 70-79)

R 自然科学 Natural Sciences	70.01 - 70.99
R 環境問題 Environmental Problems	71.01 - 71.99

言語系研究科目 (LIN 30-39)

R 日本語学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	30.01 - 30.99
R 日本語学 Japanese Linguistics	31.01 - 31.99
R 国語学 Japanese Philology	32.01 - 32.99
R 日本語教育学 Teaching Japanese as L2	33.01 - 33.99
R 古典文法 Classical Japanese	34.01 - 34.99

専門読解・演習 (RS 80/DR 80)

RS 専門読解 Reading in a Specific Field	RS 280.01 - 280.99
DR 専門演習 Directed Research & Reading	DR 480.01 - 480.99

Maple Program 配当科目については、略号の前に「M」を加える

文学系研究科目 (LIT 40-49)

R 日本文学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	40.01 - 40.99
R 近・現代文学 Modern Literature	41.01 - 42.99
R 古典文学 Classical Literature	43.01 - 44.99
R 漢文 Classical Chinese	45.01 - 45.99

りやく
略 号 / **Abbreviations**

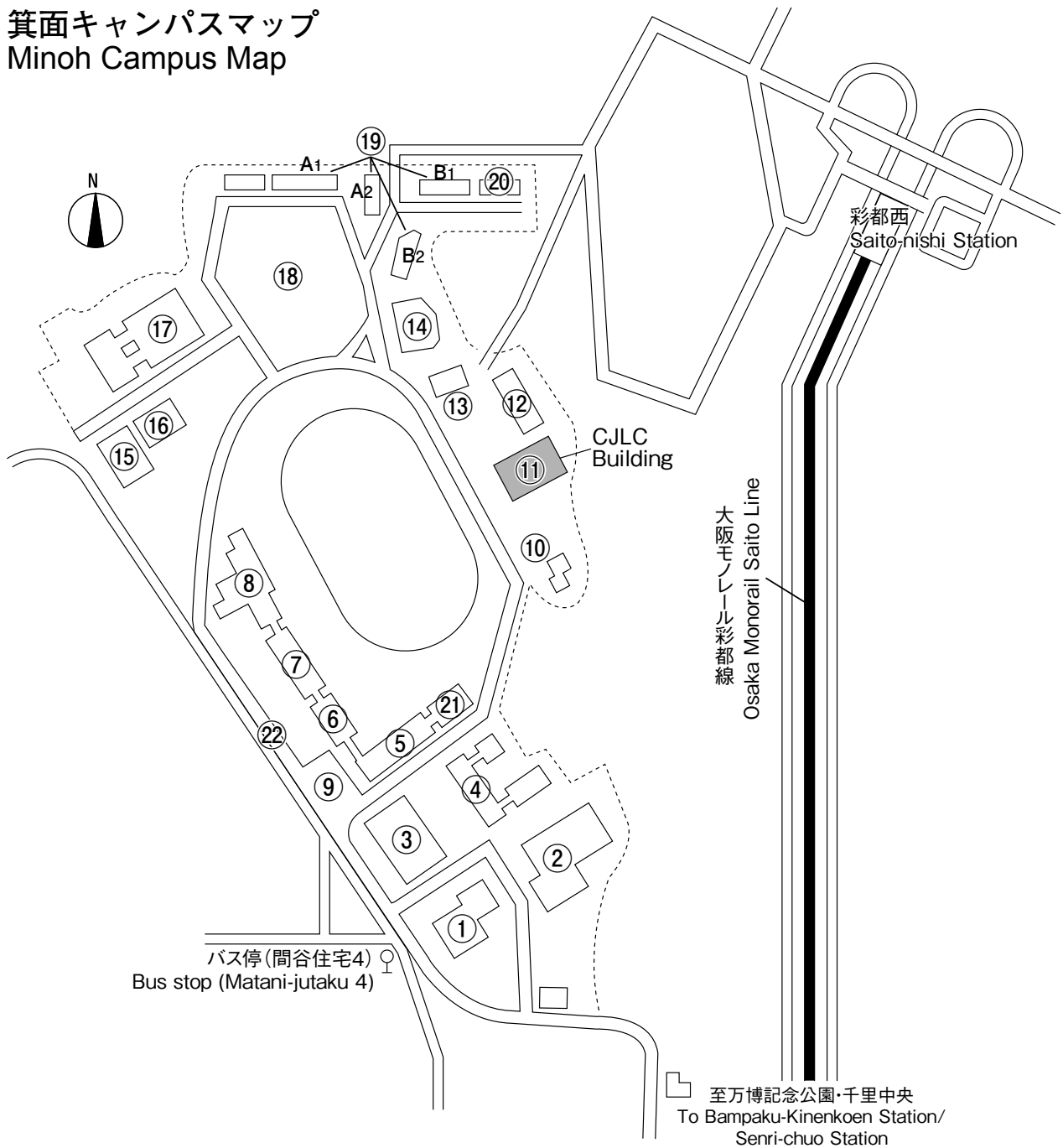
Levels/Programs	
J	Japanese Studies Program
U	Undergraduate Students Program
MM	Intermediate Level in Maple Program
MA	Advanced Level in Maple Program

Types	
Lec.	Lecture
Sem.	Seminar
Rec.	Recitation

Subject	
CAI	Computer-Assisted Instruction
CHEM	Chemistry
COMP	Composition
CONV	Conversation
DR	Directed Research and Reading
ENG	English
GS	General Studies
HIST	Japanese History
JC	Japanese Cultural Background
K	Kanji
LIS	Listening Comprehension
MATH	Mathematics
PHYS	Physics
POLI	Politics and Economics
R	Reading and Research
RDG	Reading
RK	Reading and Kanji
RS	Reading in a Specific Field
SP	Sentence Patterns
MDR	Special Seminar on Japanese Language and Culture
MR	Research Subjects in Japanese Studies
MCR	Research Subjects in Comparative Studies
MIS	Independent Studies
MSP	Modern Japanese : Sentence Patterns

みのお
箕面キャンパスマップ
Minoh Campus Map

箕面キャンパスマップ Minoh Campus Map



○利用交通機関

[モノレール] 大阪モノレール : 彩都西駅下車 徒歩約 15 分

[バス] 阪急バス : 千里中央発「阪大外国語学部前行」、「間谷住宅行」

阪急バス : 北千里発「阪大外国語学部前行」、「間谷住宅行」

阪急バス : 箕面(阪急箕面駅)発「間谷住宅行※」

いずれも、阪大外国語学部前または間谷住宅4下車 徒歩すぐ

なお、土・日・祝日及び春期/夏期/冬期休業期間については、千里中央発(北千里経由)「阪大外国語学部前行」は運休となりますので「間谷住宅行」をご利用ください。

(※印の路線は運行本数が少ないので注意してください。)

○ How to get to Minoh Campus

[Monorail] Osaka Monorail : 15 minute walk from Saito-nishi Station

[Bus] Hankyu Bus (from Senri-chuo Station) : Take the bus bound for “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” or “Matani-jutaku”

Hankyu Bus (from Kita-senri Station) : Take the bus bound for “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” or “Matani-jutaku”

Hankyu Bus (from Minoh Station) : Take the bus bound for “Matani-jutaku” (note 1)

Get off at “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” or “Matani-jutaku 4”, from where it is a short walk to Minoh Campus.

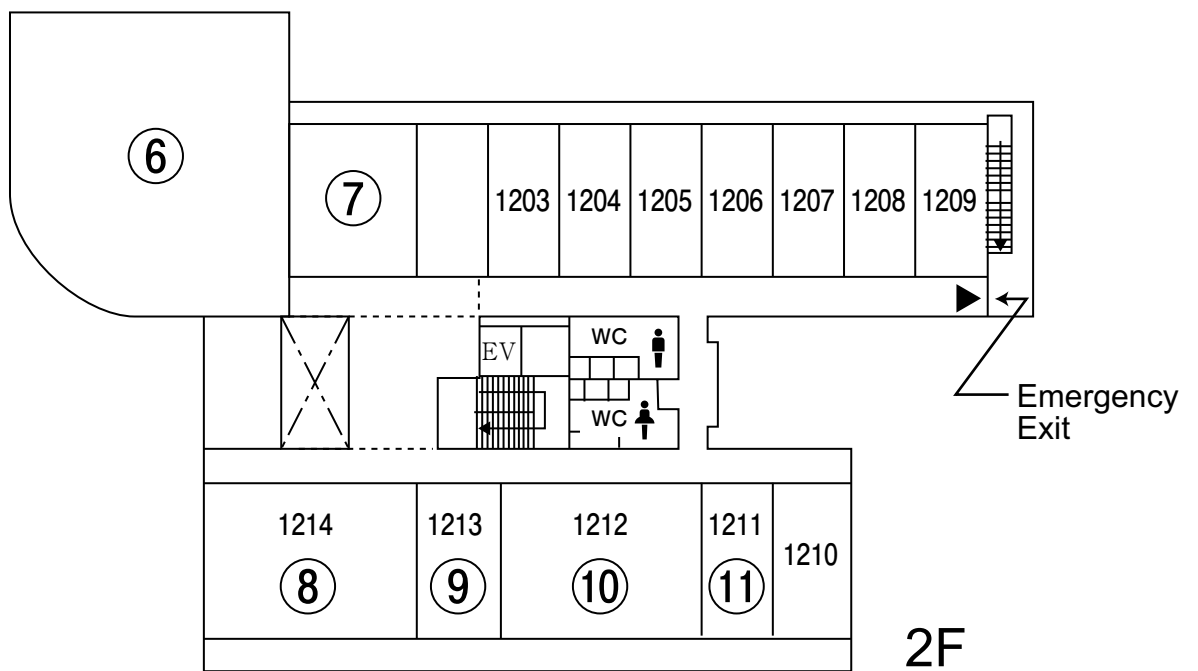
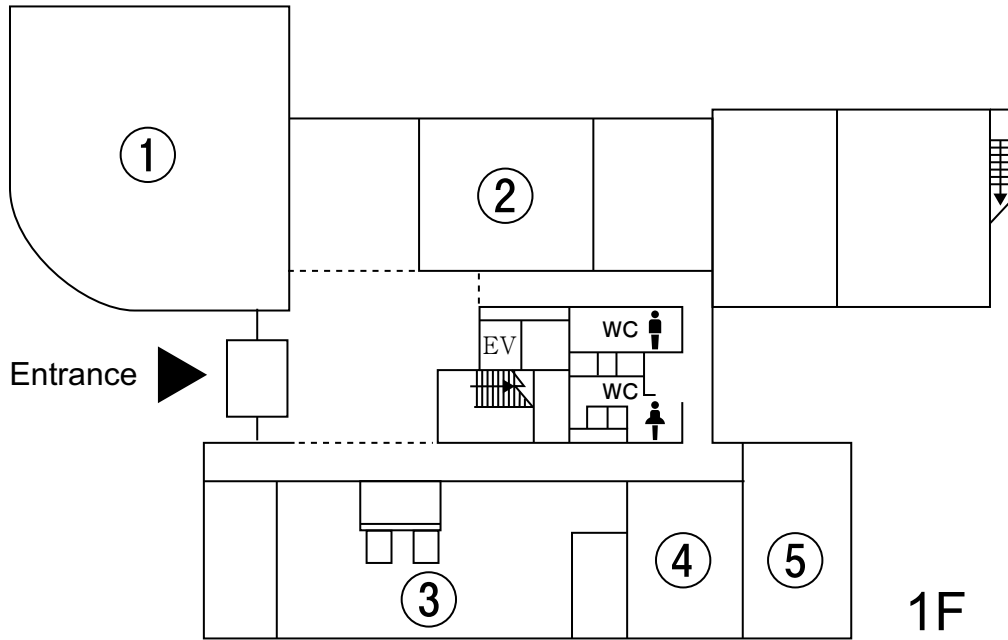
The bus bound for “Handai-gaikokugo-gakubu-mae” from Senri-chuo Station (via Kita-senri Station) does not run on Saturdays, Sundays, holidays and during spring/summer/winter vacation, and so take the bus bound for “Matani-jutaku” to get to Minoh Campus.

(note 1): Please be careful as the number of buses leaving from Minoh Station is very few.

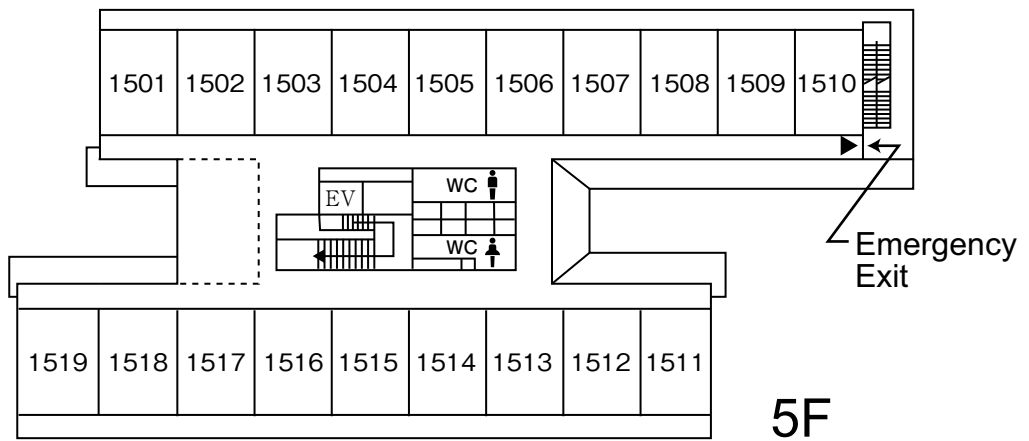
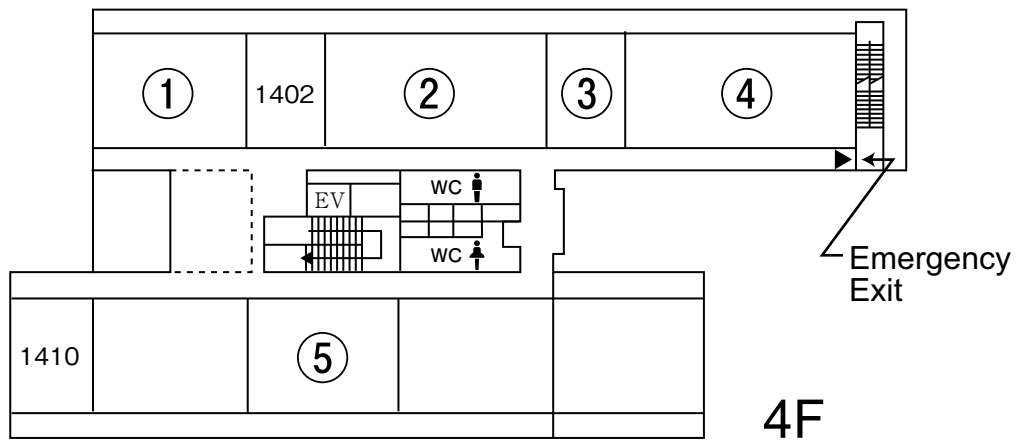
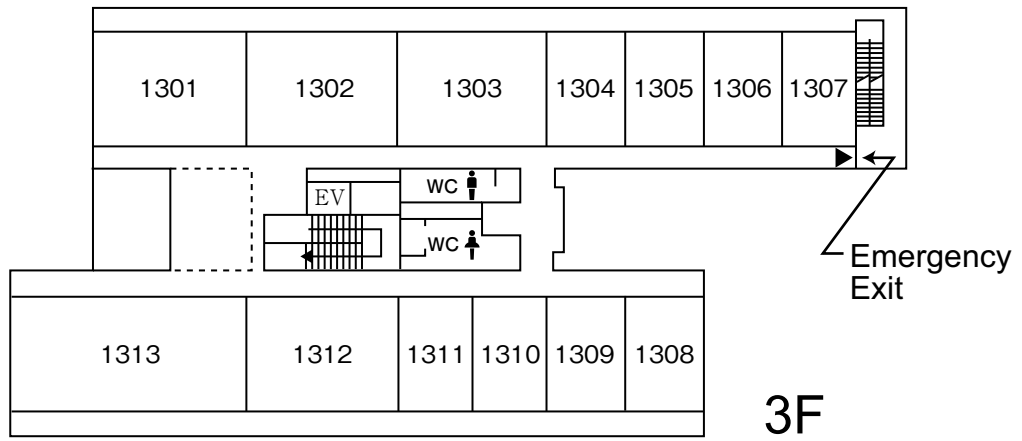
番号 Number	施設 Facility
①	管理棟 Administration Building
②	箕面福利会館 Minoh Cafeteria & University Bookstore
③	外国学図書館 International Studies Library
④	研究・講義棟 (A 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building A)
⑤	研究・講義棟 (B 棟) ※ Classrooms and Faculty Offices (Building B)
⑥	研究・講義棟 (C 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building C)
⑦	研究・講義棟 (D 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building D)
⑧	研究・講義棟 (E 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building E)
⑨	バスターミナル Bus Terminal
⑩	記念会館 Memorial Hall
⑪	日本語日本文化教育センター棟 Center for Japanese Language and Culture Building
⑫	サークル共用施設 Extracurricular Activities Facilities
⑬	箕面留学生会館 2 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 2
⑭	箕面留学生会館 1 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 1
⑮	ハンドボールコート Handball field
⑯	プール Swimming Pool
⑰	体育館 Gymnasium
⑱	テニスコート Tennis Court
⑲	学生寮 (A1, A2, B1, B2) Dormitories for Students
⑳	箕面国際学生宿舎 Minoh International Student House
㉑	総合研究棟 General Research Building
㉒	学内連絡バス停留所 School Bus Stop (Inter-campus Shuttle Bus Service)

※国際教育交流センター箕面分室 (1 階)
Center for International Education and Exchange, Minoh Branch (1st floor)

日本語日本文化教育センター棟
CJLC Building



番号 Number	施設 Facility
①	多目的ホール CJLC Hall
②	講師控室 Instructors' Lounge
③	CJLC 事務室 CJLC Office
④	応接室 Reception Office
⑤	センター長室 Director's Office
⑥	センター図書室 CJLC Library Room
⑦	コンピュータラウンジ Computer Lounge
⑧	LL 実習室 Language Laboratory
⑨	授業見学室 Observation Room
⑩	マルチメディア教室 Multimedia Classroom
⑪	コンピュータ小教室 Computer Room



番号 Number	施設 Facility
①	共同研究室 1 CJLC Faculty Room 1
②	物理実験室 Physics Laboratory
③	実験準備室 Lab Equipment Room
④	化学実験室 Chemistry Laboratory
⑤	共同研究室 2 CJLC Faculty Room 2

※ 教員研究室
Instructors' Offices

部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name	部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name
1410	小森 万里 M. KOMORI	1510	佐野 方郁 M. SANO
1501	五之治 昌比呂 M. GONOJI	1511	今井 忍 Sh. IMAI
1502		1512	莊司 育子 I. SHOJI
1503	水田 明男 A. MIZUTA	1513	岸田 泰浩 Y. KISHIDA
1504	水野 亜紀子 A. MIZUNO	1514	平尾 得子 T. HIRAO
1505	村田 真実 M. MURATA	1515	岩井 康雄 Y. IWAI
1506	蔦 清行 K. TSUTA	1516	中田 一志 H. NAKATA
1507	嶋本 隆光 T. SHIMAMOTO	1517	加藤 均 H. KATO
1508	山川 太 F. YAMAKAWA	1518	岩井 茂樹 Sh. IWAI
1509	大和 祐子 Y. YAMATO	1519	柴田 芳成 Y. SHIBATA

履修届

Subject Registration Form

Fall Semester, 2014-2015

*Submit this form to the CJLC Office by October 21st.

Name

Nationality

Class

Contact Information

Advisor

印

Student No.

*Please write your phone number or e-mail address for emergency contact

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
II	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
III	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
IV	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)
V	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)

Special Class

(.)

ex.

COMP

JPN (214 . 02)

A. SUZUKI

← Subject

← Code

← Instructor

大阪大学日本文化教育センター

Center for Japanese Language and Culture, Osaka University

発 行 平成 26 年 9 月

Published in September, 2014

編 集 大阪大学日本語日本文化教育センター

Edited by Center for Japanese Language and Culture,
Osaka University

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東 8 丁目 1 番 1 号
8-1-1, Aomatani-higashi, Minoh, Osaka

Phone (072) 730-5075, 5076 (学生交流推進課)

Fax (072) 730-5074